

平成 2 6 年 度

植 物 防 疫 事 業 年 報

平 成 2 7 年 3 月

京 都 府 病 害 虫 防 除 所

京 都 府 亀 岡 市 余 部 町 和 久 成 9

T E L 0 7 7 1 - 2 3 - 9 5 1 2

はじめに

病虫害防除所の事業実施に当たりまして、農家や関係機関の皆様には御指導、御協力いただき、厚くお礼申し上げます。このたび、本年度に発表しました病虫害発生予報、注意報、防除所ニュース、月報や毎月の巡回調査結果等をまとめ、平成26年度病虫害防除所植物防疫年報として発行いたしましたので皆様の業務の資料となれば幸いです。

さて、26年の京都府内の気象ですが、昨年と同様、概して変動の大きい年でありました。5月から7月にかけて高温少雨の状態が続き、梅雨期間中、前線や台風の影響で曇りや雨の日が多くありましたが、合計降雨量は少なく、「空梅雨」となりました。そして、梅雨明け後は、太平洋高気圧の勢力が強くなり、7月後半は晴れの日が多く、猛暑日が続きました。ところが、8月に入って一転、太平洋高気圧の勢力が弱まり、南からの湿った気流や台風の影響で大気の状態が不安定になり、大雨による被害が発生しました。特に福知山市では、広い範囲でかん水被害が発生しました。9月に入っても前半は、前線の影響で曇りや雨の日が続きましたが、後半は移動性高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。

次に、病虫害の発生状況ですが、水稻では、8月～9月前半の曇雨天で、穂いもちの発生が多くなり、9月に穂いもちの注意報を発表しました。また、斑点米カメムシ類も多発生し、注意報を2度発表しました。茶樹では、炭そ病、チャノコカクモンハマキ、チャノミドリヒメヨコバイがやや多い発生でした。果樹では、果樹カメムシ類の発生が多くなり、注意報を2度発表しました。そして、野菜では、ネギアザミウマの多発生に伴い、同種が媒介するネギえそ条班病の発生を府内で初めて確認し、特殊報を発表するとともに対策会議や農作物病虫害セミナーを開催して、対策を呼びかけました。

京都府では、「人と環境にやさしい農業プラン」で環境にやさしい農業の生産拡大を目指しており、病虫害発生予察事業の重要性が更に高くなっております。そのため、引き続き迅速な発生予察情報の提供と精度の向上に努めて参りたいと考えています。今後とも、防除所業務に対して御理解と御支援を関係者の皆様をお願いいたします。

京都府病虫害防除所長

天 野 久

目 次

病害虫防除所の概要

沿革・所管業務・体制	1
------------	---

業務の概要

I 農作物病害虫発生予察事業の実施

(I) 発生予察事業の実施概要

1 調査地点及び施設	2
2 調査対象病害虫の種類	6
3 発生予察情報等の概要	9

(II) 病害虫の発生予察と発生状況

1 発生予察調査の結果	
1) 巡回調査の結果	10
(1) 水稻 (2) 麦類 (3) 黒大豆 (4) 小豆 (5) ナシ (6) ブドウ (7) カキ (8) カンキツ (9) 茶樹 (10) キュウリ (11) トマト (12) ナス (13) トウガラシ (14) キャベツ (15) ダイコン (16) カブ (17) ミズナ・ミブナ (18) ホウレンソウ (19) ネギ	
2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果	54
(1) 予察灯の調査結果 (2) 誘引剤トラップの調査結果 (3) 黄色水盤の調査結果	
2 病害虫発生予察情報の内容	69
3 対象病害虫の発生状況	82

II 重要病害虫侵入警戒調査の実施 86

III 調査・試験の結果

1 イネ、エダマメおよびダイズにおけるミナミアオカメムシの発生消長調査	88
2 虫体浸漬法によるミナミアオカメムシ成虫に対する殺虫剤効果試験(室内試験)	90
3 京都府内におけるネギえそ条斑病の発生実態	92
4 京都府内におけるQoI剤耐性イネいもち病菌の発生実態調査	94
5 フェロモントラップによるホソヘリカメムシの発生消長調査	96
6 フェロモントラップによるカキのオオタバコガの発生消長調査	98

IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施 100

V 情報提供サービスの実施 100

VI 病害虫調査協力員の活動状況 102

VII 会議・講演・研修等の実施 103

VIII 普及センター等との連携の推進 106

参考資料

平成26年の半旬別気象表・グラフ	107
------------------	-----

病虫害防除所の概要

I 沿革

- ◎ 昭和27年4月1日
植物防疫法第32条第1項及び京都府条例第18号に基づき、府内13か所（京都府庁及び各地方事務所）に病虫害防除所を設置し、植物防疫業務を開始した。
- ◎ 昭和50年10月1日
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和50年7月18日条例第29号）に基づく機構改革により、山城（田辺町：山城地域5防除所）及び丹波（亀岡市：丹波地域5防除所）、丹後（弥栄町：丹後地域3防除所）の3病虫害防除所に統合設置された。
統合に伴い従来の防除所業務が見直され、農薬取締業務は地方事務所が、農薬安全使用指導は農業改良普及所が分担することとなり、発生予察が防除所の主業務とされた。
- ◎ 昭和61年8月1日
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和61年7月25日条例第22号）に基づく機構改革により、京都府病虫害防除所（亀岡市：農業総合研究所内（現農林水産技術センター））に統合設置され、当面の措置として北部駐在室（弥栄町：丹後農業研究所内）が設置された。
- ◎ 平成5年4月1日
北部駐在室が廃止された。
- ◎ 平成12年4月1日
京都府病虫害防除所の設置根拠条例であった京都府植物防疫法施行条例が廃止され、新たに京都府行政機関設置条例に基づき、設置されることとなった。
- ◎ 平成21年4月1日
農林水産業に係わる試験研究機関の統合・再編に伴い、農林水産技術センター農林センターの環境部植物防疫担当として再編、設置された。

II 所管業務

- 1 農作物病虫害発生予察事業に関すること。
- 2 植物防疫推進事業の実施に関すること。
- 3 緊急防除等に係る協力・指導に関すること。
- 4 情報提供サービスの実施に関すること。
- 5 農薬指導・取締に関すること。
- 6 病虫害調査協力員の活動に関すること。
- 7 病虫害の診断・指導に関すること。

III 体制

(I) 京都府における調査機関等

	京都府病虫害防除所					協力機関名
職名	所長*	主任研究員**	主査**	副主査**	計	農林センター、茶業研究所、丹後農業研究所、農業大学校、流通・ブランド戦略課、農産課
人数	1人	3人	1人	1人	6人	

* 京都府農林センター環境部長（兼務）
** // 環境部植物防疫担当職員

(II) 病虫害調査協力員

所属する団体等	市町村	農業協同組合	農業共済組合	農業者	その他	計	備考
設置人数	—	23人	—	—	—	23人	

業 務 の 概 要

I 農作物病害虫発生予察事業の実施

有害動植物の発生状況を調査し、予察情報を関係機関等に提供することにより適期に、かつ効率的な防除に役立てるとともに、農作物の被害防止と環境保全を図ることを目的とし、植物防疫法及び植物防疫事業実施要領に基づいて病害虫発生予察事業を行う。

(I) 発生予察事業の実施概要

1 調査地点及び施設

1) 予察ほの設置

区 分	対象作物	設 置 場 所	担 当
普通作物	水 稲	亀岡市余部町（農林センター）	防除所 防除所 防除所 防除所 防除所
	〃	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	
	〃	京田辺市薪	
	麦	亀岡市余部町（農林センター）	
	大 豆	亀岡市余部町（農林センター） 京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	
果 樹	ナ シ	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所 防除所 防除所
	ブ ド	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	
	カ キ	京都市西京区大枝	
茶 樹	茶 樹	宇治市白川（茶業研究所）	茶 研 防除所
	〃	京丹後市大宮町口大野	
野 菜	キ ュ ウ リ	京都市伏見区深草	防除所 防除所 防除所 防除所 防除所 防除所 防除所 防除所
	ト マ ト	久御山町東一口	
	ナ ス	京田辺市興戸	
	〃	京都市西京区大原野	
	キ ャ ベ ツ	京都市南区吉祥院	
	ダ イ コ ン	木津川市梅谷	
	ホ ウ レ ン ソ ウ	久御山町坊之池	
	ネ ギ	京都市伏見区淀	

2) 予察灯等の設置

(1) 設置場所及び種類

設 置 場 所	種 類	対 象 病 害 虫	担 当
京田辺市薪 （府営水道ポンプ場）	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ	別表のとおり ハスモンヨトウ、果樹カメムシ 類、タバコガ、オオタバコガ、 シロイチモジヨトウ、ニカメイ ガ、フタオビコヤガ	防除所 防除所

設置場所	種類	対象病虫害	担当者
宇治市白川 (茶業研究所)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	茶 研
亀岡市余部町 (農林センター)	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ 黄色水盤	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、 果樹カメムシ類、タバコガ、 オオタバコガ、ヨトウガ、カ ブラヤガ、ニカメイガ、フタ オビコヤガ アブラムシ類	防除所 防除所 農林セ
綾部市位田町 (農 大)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	農 大
京丹後市弥栄町黒部 (丹後農研)	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、果 樹カメムシ類、タバコガ、オ オタバコガ、ニカメイガ、フ タオビコヤガ	防除所 防除所
京丹後市大宮町 ^{吹野}	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	防除所

[別表] 乾式日別予察灯の調査対象害虫

光源の種類	害虫の区分	対 象 害 虫 名
60W (白熱灯)	ウンカ・ヨコバ イ類	ヒメトビウンカ、セジロウンカ、トビイロウンカ、 ツマグロヨコバイ
	カメムシ類	アオクサカメムシ、ツヤアオカメムシ、ミナミアオ カメムシ、チャバネアオカメムシ、クサギカメム シ、イチモンジカメムシ、イネクロカメムシ、クモ ヘリカメムシ、シラホシカメムシ、トゲシラホシカ メムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジ カスミカメ、ツマグロアオカスミカメ
	蛾 類	フタオビコヤガ、ニカメイガ、コナガ、シロオビノ メイガ
	そ の 他	イネミズゾウムシ
ブラックライト(BL) (蛍光灯)	コガネムシ類	ドウガネブイブイ、クロコガネ、ヒメコガネ、アカ ビロウドコガネ
	カメムシ類	チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオ カメムシ、ミナミアオカメムシ
	蛾 類	ゴマフボクトウ

3) 巡回調査地点

(1) 水稻 (30地区/30か所)

山城地域	南丹地域	中丹地域	丹後地域
京都市伏見区向島 京都市西京区大原野 八幡市内里 木津川市加茂町大野 久御山町佐古 精華町祝園	京都市右京区京北下弓削町 亀岡市本梅町平松 亀岡市余部町 南丹市美山町島 南丹市八木町氷所 南丹市園部町黒田 京丹波町蒲生 京丹波町井脇 京丹波町安栖里	舞鶴市丸田 福知山市半田 福知山市長田 福知山市夜久野町今西中 福知山市大江町河守 綾部市石原町	宮津市日置 京丹後市大宮町森本 京丹後市峰山町長岡 京丹後市網野町木津 京丹後市丹後町竹野 京丹後市弥栄町黒部 京丹後市久美浜町芦原 伊根町本庄上 与謝野町加悦

* 調査地点は、作付面積が概ね500haに1点を設置。

(2) 麦 (7地区/14か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
—	(小麦) 南丹市美山町鶴ヶ岡 福知山市半田、前田 綾部市私市、西坂 (二条) 亀岡市河原林町 亀岡市本梅町平松	—

(3) 豆類 (大豆: 4地区/8か所、小豆: 7地区/12か所)

作物名	山城地域	丹波地域	丹後地域
黒大豆	—	福知山市夜久野町大油子 京丹波町富田、安栖里	京丹後市久美浜町品田
小豆	—	舞鶴市久田美 福知山市半田 綾部市私市 南丹市園部町若森 亀岡市保津町、河原林町、馬路町	—

* 調査地点は、作付面積が概ね50ha以上の市町村に設置。

(4) 果樹 (11地区/21か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
カンキツ	3	—	—	宮津市石浦
ナシ	10	八幡市内里	—	京丹後市網野町俵野 京丹後市久美浜町平、籾石、三分、浦、大井

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
ブドウ	7	京都市山科区勸修寺	—	京丹後市久美浜町一分、三分、平田
カキ	3	京都市西京区大枝	—	—

* 調査地点は、作付面積が概ね10ha以上の市町村に設置。

(5) 茶樹 (16地区/32か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
宇治市白川、伊勢田、五ヶ庄 城陽市上津屋 京田辺市飯岡 木津川市加茂町例幣 宇治田原町湯屋谷、南 和束町石寺、湯船、杣田	舞鶴市志高 福知山市土 綾部市小西町	京丹後市久美浜町永留 京丹後市網野町郷

(6) 野菜 (30地区/57か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
キュウリ	9	(露地) 京都市伏見区深草 宇治田原町禅定寺 (施設) 京都市伏見区向島 久御山町東一口 八幡市内里	—	—
トマト (施設)	5	京都市伏見区向島 久御山町東一口	亀岡市篠町	—
ナス	8	京都市西京区大原野 八幡市野尻、岩田 京田辺市薪、宮津 久御山町坊之池	—	—
トウガラシ (施設)	5	精華町祝園	舞鶴市三日市、地頭 南丹市園部町黒田	—
キャベツ	6	京都市南区吉祥院 京都市西京区牛ヶ瀬	—	—
ダイコン	5	木津川市梅谷	—	京丹後市弥栄町 京丹後市久美浜町
カブ	6	—	京都市右京区京北矢代中町 亀岡市篠町	京丹後市弥栄町 京丹後市久美浜町

ミズナ (施設)	3	—	京都市右京区京北町野 京丹波町安栖里、角	—
ミブナ (施設)	2	—	南丹市日吉町田原 南丹市日吉町殿田	—
ホウレンソウ	4	京都市西京区牛ヶ瀬 久御山町坊之池	—	—
ネギ	8	京都市伏見区淀 京都市西京区牛ヶ瀬	—	—

* 調査地点は、作付面積が果菜類では概ね10ha以上、その他の野菜では概ね20ha以上の産地に設置。

2 調査対象病害虫の種類

作物		指定病害虫	指定外病害虫
普通作物	水稲	いもち病、紋枯病、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、コブノメイガ、ニカメイガ、斑点米カメムシ類、イネミズゾウムシ	苗立枯病、馬鹿苗病、籾枯細菌病、白葉枯病、縞葉枯病、イネクロカメムシ、フタオビコヤガ、イチモンジセセリ、イネドロオイムシ、スクミリンゴガイ、コバネイナゴ
	麦類	赤かび病	
	大豆	吸実性カメムシ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ハダニ類	べと病、葉焼病、モザイク病、フタスジヒメハムシ、サヤムシガ類
	小豆		モザイク病、さび病、炭そ病、うどんこ病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、マメノメイガ、アズキノメイガ、サヤムシガ類、ハダニ類、オオタバコガ
果樹	カンキツ	そうか病、黒点病、かいよう病、ハダニ類、カメムシ類	カイガラムシ類、ミカンハモグリガ
	ナシ	黒斑病、黒星病、カメムシ類、ハダニ類、シンクイムシ類	赤星病、うどんこ病、アブラムシ類
	ブドウ	べと病、ハダニ類	
	カキ	カキノヘタムシガ、カメムシ類	炭そ病、うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病、アザミウマ類、フジコナカイガラムシ

作物		指定病虫害	指定外病虫害
茶	チャ	炭そ病、ハダニ類、ハマキムシ類	もち病、網もち病、輪斑病、灰色かび病、新梢枯死症、チャノミドリヒメヨコバイ、クワシロカイガラムシ、チャノホソガ、チャノキイロアザミウマ、ツマグロアオカスミカメ、コミカンアブラムシ、チャトゲコナジラミ
野菜	キュウリ	べと病、うどんこ病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ハダニ類	斑点細菌病、炭そ病、褐斑病、モザイク病、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類、ワタヘリクロノメイガ
	トマト	疫病、灰色かび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	葉かび病、うどんこ病、モザイク病、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類
	ナス	うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ハダニ類	褐色腐敗病、すすかび病、褐色円星病、アザミウマ類、オオタバコガ、ハモグリバエ類
	トウガラシ		うどんこ病、斑点病、モザイク病、アブラムシ類、ハダニ類、アザミウマ類、ハスモンヨトウ、タバコガ
	キャベツ	菌核病、黒腐病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナガ	べと病、ヨトウガ、モンシロチョウ、ウワバ類
	ダイコン	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナガ	白さび病、黒斑細菌病、モザイク病、ハイマダラノメイガ
	カブ		軟腐病、べと病、黒斑病、白斑病、白さび病、アブラムシ類、コナガ、ハモグリバエ類
	ミズナ ミブナ		コナガ、キスジノミハムシ
	ホウレンソウ	アブラムシ類、ハスモンヨトウ	べと病、ヨトウガ、シロオビノメイガ
	ネギ	さび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	黒斑病、ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ、シロイチモジヨトウ

参考：指定有害動植物発生予察事業の対象とする指定有害動植物

1 指定有害動物（55種類）

- (1)いちご、きく、キャベツ、きゅうり、さといも、すいか、だいこん、大豆、たまねぎ、トマト、なす、にんじん、ねぎ、はくさい、ピーマン、レタス、ばれいしょ及びほうれんそうのアブラムシ類
- (2)イネミズゾウムシ
- (3)カキノヘタムシガ
- (4)かき、かんきつ、キウイフルーツ、なし、びわ及びもものカメムシ類
- (5)カンシャコバネナガカメムシ
- (6)大豆の吸実性カメムシ類
- (7)コナガ
- (8)コブノメイガ
- (9)すもも、なし、もも及びりんごのシンクイムシ類
- (10)セジロウンカ
- (11)ツマグロヨコバイ
- (12)トビイロウンカ
- (13)ニカメイガ
- (14)ハスモンヨトウ
- (15)おうとう、かき、かんきつ、茶、なし、もも及びりんごのハダニ類
- (16)かき、かんきつ、茶、なし、ぶどう、もも及びりんごのハマキムシ類
- (17)斑点米カメムシ類
- (18)ヒメトビウンカ

2 指定有害植物（30種類）

- (1)いちご、きゅうり、トマト、なす及びレタスのはいろいろかび病菌
- (2)いねいもち病菌
- (3)いねもんがれ病菌
- (4)かんきつかいよう病菌
- (5)かんきつこくてん病菌
- (6)かんきつそうか病菌
- (7)きくしろさび病菌
- (8)キャベツ及びレタスのきんかく病菌
- (9)キャベツくろぐされ病菌
- (10)きゅうり、なす及びピーマンのうどんこ病菌
- (11)きゅうりべと病菌
- (12)たまねぎ及びねぎのさび病菌
- (13)茶たんそ病菌
- (14)トマト及びばれいしょのえき病菌
- (15)なしくろほし病菌
- (16)なしこくはん病菌
- (17)ぶどうべと病菌
- (18)むぎあかかび病菌類
- (19)むぎうどんこ病菌類
- (20)ももせんこうさいきん病菌
- (21)りんごはんてんらくよう病菌

3 発生予察情報等の概要

種 類	発表時期	発表内容	主な提供方法・提供先 (提供数)
予 報	4月～10月、2月～3月の各月1回	本誌のⅠの(Ⅱ)の2に記載	<ul style="list-style-type: none"> ・府行政支援ネット送信(約30) 広域振興局・普及センター、研究機関 ・J P P ネット送信(一) 国・他府県関係 ・F A X 送信(約110) 市町村・農業協同組合・その他 ・冊子送付(約100) 国出先機関、報道機関、定点農家 ・メール送信(約5) ・ホームページに掲載
警 報	発表なし		
注意報	6月6日 7月4日 7月25日 8月26日 9月1日	第1号：果樹全般 果樹カメムシ類 第2号：水稲 斑点米カメムシ類 第3号：果樹全般 果樹カメムシ類 第4号：水稲(中晩生) 斑点米カメムシ類 第5号：水稲(中晩生) 穂いもち	・予報と同じ
特殊報	7月2日	第1号：ネギ ネギえそ条斑病	・予報と同じ
技 術 情 報 (防除所ニュー ース)	4月11日 6月24日 8月5日 8月20日 8月27日 9月9日 9月19日	第1号：麦類 赤かび病情報 第2号：茶 炭そ病 第3号：豆類・野菜類・花き類 タバコガ類情報 第4号：水稲(中晩生) 穂いもち 第5号：ネギ ネギアザミウマ 第6号：ネギ ネギえそ条斑病 第7号：水稲 トビイロウンカ	<ul style="list-style-type: none"> ・府行政支援ネット送信(約30) ・F A X 送信(約110) ・ホームページに掲載
月 報	4月～11月、2月～3月の各月1回	(病虫害発生予察巡回調査結果等に基づく発生病虫害全般の発生状況)	<ul style="list-style-type: none"> ・府行政支援ネット送信(約10) 普及センター等 ・一部、ホームページに掲載
年 報	3月末	防除所の病虫害発生予察事業等のまとめ	・ホームページに掲載、関係機関等に冊子を配布

(II) 病害虫の発生予察と発生状況

1 発生予察調査の結果

1) 巡回調査の結果

(1) 水稲

生育概要

ア 早植（品種：コシヒカリ 播種期：4月18日 移植期：5月9日）

茎数は平年比89の572本/m²（7月1日）、幼穂形成期は平年比1日早い7月6日、出穂期は平年比4日早い7月27日、成熟期は平年並の9月5日、有効穂数は平年比105の434本/m²であった。

イ 普通植（コシヒカリ、日本晴 播種期：5月7日 移植期：5月26日）

コシヒカリ：茎数は平年比111の635本/m²（7月14日）、幼穂形成期は平年比1日早い7月14日、出穂期は平年比3日早い8月4日、成熟期は平年比2日遅い9月14日、有効穂数は平年比104の407本/m²であった。

日本晴：茎数は平年比111の676本/m²（7月14日）、幼穂形成期は平年並の7月23日、出穂期は平年比4日遅い8月20日、成熟期は平年比1日遅い9月29日、有効穂数は平年比110の420本/m²であった。

（京都府農林水産技術センター農林センター作物部調べ）

病害虫発生状況

ア 苗いもち（指定）

発生を認めなかった。

イ 葉いもち（指定）

丹後地域で6月中旬から発生を確認したが、全体的に平年並の発生で推移した。8月には、日照不足（平年の約4～5割）により、山城地域で平年比やや多い発生となった。なお、中丹及び南丹地域の一部でストロビルリン系薬剤（QoI剤）耐性菌の発生を確認した。

表1 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（5月第3～4半旬）

年次	地域	補植用苗確認数		発病確認率(%)	
		箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック
26年	山城	1	5	0.0	0.0
	南丹	6	11	0.0	0.0
	中丹	3	12	0.0	0.0
	丹後	9	31	0.0	0.0
25年	山城	—	—	—	—
	南丹	6	21	0.0	0.0
	中丹	5	14	0.0	0.0
	丹後	9	34	0.0	0.0

* 巡回調査ほ場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表2 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（6月第3～4半旬）

年次	地域	調査箇所数	補植用苗確認数		発病確認数		発病確認率(%)	
			箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック
26年	山城	5	4	25	0	0	0.0	0.0
	南丹	9	4	15	0	0	0.0	0.0
	中丹	6	3	9	0	0	0.0	0.0
	丹後	9	1	2	0	0	0.0	0.0
25年	山城	6	5	48	0	0	0.0	0.0
	南丹	9	4	10	0	0	0.0	0.0
	中丹	6	1	3	0	0	0.0	0.0
	丹後	9	3	5	0	0	0.0	0.0

* 巡回調査ほ場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表3 本田における葉いもちの発生状況調査（25株見取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度	発病葉率 (%)
山城	6・3～4	26年	5	0.0	0.0	0.0	—
		25年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	0.0	0.0	0.0	—
	7・3～4	26年	6	16.7	1.3	0.3	—
		25年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	26.7	6.7	1.7	—
	*8・3～4	26年	6	50.0	13.3	—	0.33
		25年	6	66.7	7.0	—	0.11
		平年	—	31.7	5.0	—	0.05
南丹	6・3～4	26年	9	0.0	0.0	0.0	—
		25年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	0.0	0.0	0.0	—
	7・3～4	26年	9	33.3	28.0	10.0	—
		25年	9	11.1	10.7	2.7	—
		平年	—	39.7	18.7	5.4	—
	*8・3～4	26年	9	22.2	10.7	—	0.18
		25年	9	33.3	12.0	—	0.38
		平年	—	33.7	7.1	—	0.20
中丹	6・3～4	26年	6	0.0	0.0	0.0	—
		25年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	4.8	0.4	0.1	—
	7・3～4	26年	6	0.0	0.0	0.0	—
		25年	6	16.7	6.0	1.5	—
		平年	—	26.9	6.9	1.9	—
	*8・3～4	26年	6	0.0	0.0	—	0.00
		25年	6	16.7	1.3	—	0.07
		平年	—	16.4	2.5	—	0.05
丹後	6・3～4	26年	9	11.1	1.8	0.4	—
		25年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	0.0	0.0	0.0	—
	7・3～4	26年	9	11.1	0.4	0.1	—
		25年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	13.6	3.0	0.8	—
	*8・3～4	26年	9	0.0	0.0	—	0.00
		25年	9	0.0	0.0	—	0.00
		平年	—	10.3	1.7	—	0.04

* 止葉及び第2葉の調査。

表4 本田における葉いもちの発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	3.3	3.3	10.0	83.3

ウ 穂いもち（指定）

伝染源となる葉いもちの発生量は平年並であった。8月以降の日照不足（平年の約4～5割）により、8月及び9月に山城及び南丹地域で平年比やや多い発生となった。

表5 本田における穂いもちの発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
8・3～4	25	0.0	0.0	0.0	8.0	92.0
9・3～4	10	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0

表6 本田における穂いもちの発病状況調査（25株見取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病葉率 (%)	被害籾率 (%)
山城	8・3～4	26年	1	0.0	0.0	0.00	—
		25年	0	—	—	—	—
		平年	—	0.0	0.0	0.00	—
	9・3～4	26年	6	50.0	8.0	—	0.73
		25年	6	33.3	9.3	0.38	—
		平年	—	12.8	1.8	—	—
南丹	8・3～4	26年	9	22.2	6.7	0.42	—
		25年	9	11.1	9.8	0.29	—
		平年	—	9.7	3.1	0.10	—
	9・3～4	26年	0	—	—	—	—
		25年	4	25.0	5.0	0.27	—
		平年	—	14.2	5.0	—	—
中丹	8・3～4	26年	6	0.0	0.0	0.00	—
		25年	6	0.0	0.0	0.00	—
		平年	—	3.1	0.6	0.04	—
	9・3～4	26年	3	0.0	0.0	—	0.00
		25年	0	—	—	—	—
		平年	—	11.1	0.4	—	—
丹後	8・3～4	26年	9	0.0	0.0	0.00	—
		25年	9	0.0	0.0	0.00	—
		平年	—	3.2	0.3	0.01	—
	9・3～4	26年	1	0.0	0.0	—	0.00
		25年	0	—	—	—	—
		平年	—	14.6	1.0	—	—

エ 紋枯病（指定）

7月から発生を認め、8月までは平年並の発生に推移した。8月に気温は平年比低く、降水量は平年比多く、日照時間は平年比少なく推移したことから、9月には平年比多い発生となった。

表7 本田における紋枯病の発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～4	30	0.0	0.0	3.3	43.3	53.3
9・3～4	10	0.0	0.0	20.0	50.0	30.0

表8 本田における紋枯病の発生状況調査（25株見取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度	
山城	7・3～4	26年	6	0.0	0.0	0.0	
		25年	6	0.0	0.0	0.0	
		平年	—	11.4	2.8	0.4	
	8・3～4	26年	6	6	50.0	4.7	1.3
		25年	6	6	50.0	3.3	0.8
		平年	—	—	43.8	6.9	2.1
	9・3～4	26年	6	6	83.3	28.0	11.5
		25年	6	6	83.3	15.3	6.3
		平年	—	—	68.7	13.0	4.8
南丹	7・3～4	26年	9	0.0	0.0	0.0	
		25年	9	9	0.0	0.0	0.0
		平年	—	—	20.3	2.4	0.5
	8・3～4	26年	9	9	77.8	10.2	3.8
		25年	9	9	44.4	13.8	6.1
		平年	—	—	48.0	8.2	3.1
	9・3～4	26年	0	0	—	—	—
		25年	4	4	0.0	0.0	0.0
		平年	—	—	66.8	16.5	5.0
中丹	7・3～4	26年	6	0.0	0.0	0.0	
		25年	6	6	0.0	0.0	0.0
		平年	—	—	8.6	1.0	0.3
	8・3～4	26年	6	6	16.7	2.0	0.5
		25年	6	6	0.0	0.0	0.0
		平年	—	—	30.0	4.1	1.5
	9・3～4	26年	3	3	66.7	9.3	5.0
		25年	0	0	—	—	—
		平年	—	—	11.1	0.4	0.1
丹後	7・3～4	26年	9	11.1	0.0	0.0	
		25年	9	9	0.0	0.0	0.0
		平年	—	—	11.0	0.3	0.1
	8・3～4	26年	9	9	33.3	4.9	1.9
		25年	9	9	22.2	4.4	1.2
		平年	—	—	14.4	1.3	0.4
	9・3～4	26年	1	1	0.0	0.0	0.0
		25年	0	0	—	—	—
		平年	—	—	27.1	2.0	0.4

オ 苗立枯病
発生を認めなかった。

カ 白葉枯病
発生を認めなかった。

キ 靱枯細菌病
発生を認めなかった。

ク 黄化萎縮病
発生を認めなかった。

ケ 馬鹿苗病

5月に中丹地域で発生を認めた。

コ 縞葉枯病

発生を認めなかった。

サ 稲こうじ病

9月に山城地域で発生を認めた。

シ ヒメトビウンカ (指定)

越冬密度は平年並であった。

本田では6月～9月に発生を確認したが、平年並の発生に推移した。

表9 未耕起田等におけるヒメトビウンカの生息密度調査 (4月第3～4半旬)

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)	成虫比率 (%)
山城	26年	4	50.0	0.8	100.0
	25年	4	75.0	1.5	100.0
南丹	26年	4	25.0	0.3	100.0
	25年	4	0.0	0.0	—
中丹	26年	4	50.0	0.8	100.0
	25年	4	25.0	0.3	100.0
丹後	26年	4	75.0	1.5	100.0
	25年	4	75.0	4.8	94.7

* 虫数は20回振りすくい取りによる1ほ場当たりの平均値。

表10 本田におけるヒメトビウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	26年	5	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		25年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	3.1	0.03	—	0.0	0.0
	7・3～4	26年	6	50.0	1.0	6	50.0	0.8
		25年	6	66.7	2.2	6	100.0	4.5
		平年	—	43.3	1.9	—	32.6	2.0
8・3～4	26年	6	100.0	5.7	6	66.7	9.3	
	25年	6	83.3	11.0	6	100.0	23.3	
	平年	—	41.0	2.5	—	76.0	8.0	
南丹	6・3～4	26年	9	0.0	0.0	9	22.2	0.3
		25年	9	0.0	0.0	9	55.6	0.7
		平年	—	1.0	0.01	—	7.7	0.09
	7・3～4	26年	9	33.3	0.6	9	11.1	0.1
		25年	9	33.3	0.4	9	22.2	0.2
		平年	—	14.7	0.2	—	14.0	0.2
	8・3～4	26年	9	44.4	1.1	9	88.9	6.0
		25年	9	55.6	2.1	9	66.7	55.2
		平年	—	27.2	1.5	—	65.0	13.5
中丹	6・3～4	26年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		25年	6	16.7	0.2	6	16.7	0.2
		平年	—	1.7	0.0	—	6.2	0.1
	7・3～4	26年	6	33.3	0.3	6	50.0	0.8
		25年	6	50.0	1.3	6	16.7	0.2
		平年	—	21.9	0.4	—	11.4	0.2
	8・3～4	26年	6	66.7	3.2	6	83.3	13.8
		25年	6	83.3	3.2	6	100.0	277.8
		平年	—	24.0	0.7	—	67.9	33.2
丹後	6・3～4	26年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.1
		25年	9	11.1	0.1	9	0.0	0.0
		平年	—	3.1	0.03	—	5.1	0.05
	7・3～4	26年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		25年	9	44.4	1.2	9	100.0	6.1
		平年	—	24.3	0.5	—	24.4	0.8
	8・3～4	26年	9	44.4	1.3	9	77.8	19.2
		25年	9	88.9	3.9	9	100.0	151.0
		平年	—	43.9	1.3	—	69.4	22.3

表11 本田におけるヒメトビウシカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	29	0.0	0.0	0.0	10.3	89.7
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	23.3	76.7
8・3～4	30	0.0	13.3	3.3	63.3	20.0

ス ツマグロヨコバイ（指定）

越冬密度は平年並であった。

本田では6月に平年比やや多い発生となったが、7月には平年並の発生となり8月には平年比少ない発生となった。

萎縮病の発生は認めなかった。

表12 未耕起田等におけるツマグロヨコバイの生息密度調査（4月第3～4半旬）

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)	成虫比率(%)
山城	26年	4	100.0	8.8	94.3
	25年	4	100.0	11.0	100.0
南丹	26年	4	0.0	0.0	—
	25年	4	25.0	0.3	100.0
中丹	26年	4	0.0	0.0	—
	25年	4	0.0	0.0	—
丹後	26年	4	25.0	1.3	100.0
	25年	4	25.0	5.3	95.2

* 虫数は20回振りすくい取りによる1ほ場当たりの平均値。

表13 本田におけるツマグロヨコバイの生息密度調査

地域	調査時期(月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)
山城	6・3～4	26年	5	0.0	0.0	5	20.0	0.4
		25年	6	0.0	0.0	6	16.7	0.2
		平年	—	1.4	0.1	—	7.6	0.1
	7・3～4	26年	6	33.3	1.5	6	33.3	0.3
		25年	6	16.7	6.0	6	66.7	8.0
		平年	—	41.2	3.5	—	41.2	4.4
	8・3～4	26年	6	66.7	4.0	6	50.0	7.0
		25年	6	100.0	4.7	6	83.3	6.2
		平年	—	77.6	12.4	—	89.5	85.3
南丹	6・3～4	26年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		25年	9	33.3	1.4	9	11.1	12.9
		平年	—	5.4	0.16	—	7.3	1.4
	7・3～4	26年	9	33.3	1.7	9	0.0	0.0
		25年	9	44.4	6.9	9	22.2	0.7
		平年	—	39.5	4.5	—	32.6	1.5
	8・3～4	26年	9	11.1	0.4	9	22.2	17.7
		25年	9	44.4	4.4	9	55.6	110.8
		平年	—	29.9	2.4	—	59.7	64.5
中丹	6・3～4	26年	6	0.0	0.0	6	33.3	0.7
		25年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	2.9	0.02
	7・3～4	26年	6	50.0	1.8	6	16.7	0.8
		25年	6	16.7	0.7	6	0.0	0.0
		平年	—	32.4	0.8	—	20.7	0.6
	8・3～4	26年	6	16.7	0.5	6	16.7	1.0
		25年	6	16.7	0.5	6	66.7	4.3
		平年	—	23.3	0.9	—	43.1	7.9
丹後	6・3～4	26年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.1
		25年	9	13.3	0.70	9	10.0	3.8
		平年	—	4.1	0.15	—	3.1	0.0
	7・3～4	26年	9	66.7	2.8	9	22.2	0.2
		25年	9	22.2	0.7	9	22.2	1.2
		平年	—	47.1	2.4	—	34.8	2.4
	8・3～4	26年	9	22.2	0.9	9	55.6	9.1
		25年	9	55.6	0.9	9	44.4	48.3
		平年	—	47.3	3.3	—	66.8	43.3

表14 本田におけるツマグロヨコバイの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半月)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	29	0.0	0.0	0.0	13.8	86.2
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0
8・3～4	30	0.0	0.0	6.7	30.0	63.3

セ セジロウンカ（指定）

予察灯への初飛来は、京田辺及び京丹後で平年並、亀岡では誘殺を認めなかった。

本田では6月から山城地域で発生を認めたが、7月～9月にかけて平年比やや少ない発生に推移した。

表15 セジロウンカの予察灯への初飛来日

年次	月・日		
	京田辺	亀岡	京丹後
26年	7.6	飛来なし	7.8
25年	6.17	6.17	6.28
平年	7.6	7.1	7.1

平年値は7月6半月までの飛来日より算出。

表16 本田におけるセジロウンカの生息密度調査

地域	調査時期(月・半月)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	虫数(頭)
山城	6・3～4	26年	5	0.0	0.0	5	20.0	0.4
		25年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	0.0	0.00
	7・3～4	26年	6	83.3	4.7	6	50.0	1.3
		25年	6	83.3	6.0	6	83.3	4.3
		平年	—	75.5	14.2	—	70.0	21.9
8・3～4	26年	6	83.3	5.8	6	50.0	14.2	
	25年	6	83.3	26.7	6	100.0	19.5	
	平年	—	84.0	19.2	—	100.0	87.8	
南丹	6・3～4	26年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		25年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	1.0	0.01
	7・3～4	26年	9	33.3	1.6	9	33.3	0.3
		25年	9	100.0	4.1	9	77.8	2.9
		平年	—	71.1	6.1	—	63.1	5.3
8・3～4	26年	9	77.8	2.9	9	88.9	16.0	
	25年	9	100.0	9.2	9	55.6	9.0	
	平年	—	68.8	10.2	—	88.3	59.8	
中丹	6・3～4	26年	6	0.0	0.0	6	16.7	0.2
		25年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	1.4	0.01	—	0.0	0.0
	7・3～4	26年	6	83.3	4.3	6	33.3	0.5
		25年	6	66.7	7.0	6	33.3	0.8
		平年	—	52.2	3.7	—	47.9	4.6
8・3～4	26年	6	83.3	2.3	6	16.7	5.0	
	25年	6	100.0	13.0	6	100.0	44.8	
	平年	—	70.2	5.7	—	92.9	46.0	
丹後	6・3～4	26年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.2
		25年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	7・3～4	26年	9	44.4	1.4	9	0.0	0.0
		25年	9	77.8	3.0	9	77.8	2.0
		平年	—	73.7	5.6	—	71.1	17.1
8・3～4	26年	9	77.8	6.2	9	66.7	29.8	
	25年	9	100.0	5.6	9	100.0	65.9	
	平年	—	73.9	6.9	—	93.0	45.6	

表17 本田におけるセジロウンカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半月)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	29	0.0	0.0	0.0	10.3	89.7
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	26.7	73.3
8・3～4	30	0.0	0.0	3.3	56.7	40.0

ソ トビイロウンカ（指定）

予察灯への初飛来は、京丹後では平年比やや早かったが、京田辺では平年比遅かった。亀岡では飛来を認めなかった。飛来数は平年並であった。

本田では9月に山城地域と中丹地域で長翅型成虫の発生を認めた。

表18 トビイロウンカの予察灯への初飛来日

年次	月・日		
	京田辺	亀岡	京丹後
26年	(9.1)	飛来なし	7.14
25年	(8.20)	(8.21)	(8.21)
平年	7.16		7.21

* 8月以降の初飛来日は（ ）で記載。
平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表19 本田におけるトビイロウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	7・3～4	26年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		25年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	8・3～4	26年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		25年	6	0.0	0.0	6	16.6	0.3
	9・3～4	26年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		25年	6	66.7	1.7	6	50.0	0.7
南丹	7・3～4	26年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		25年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	8・3～4	26年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		25年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	9・3～4	26年	0	—	—	0	—	—
		25年	4	25.0	0.3	4	50.0	0.5
中丹	7・3～4	26年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		25年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	8・3～4	26年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		25年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	9・3～4	26年	3	0.0	0.0	0	0.0	0.0
		25年	0	—	—	0	—	—
丹後	7・3～4	26年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		25年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	8・3～4	26年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		25年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	9・3～4	26年	1	0.0	0.0	0	0.0	0.0
		25年	0	—	—	0	—	—

表20 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9・3～4	10	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

表21 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合（20回すくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9・3～4	10	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

タ ニカメイガ（指定）

予察灯では5月中旬、6月下旬及び7月上旬に誘殺を認めた。

本田では発生を認めなかった。

チ コブノメイガ（指定）

8月まで発生を確認せず、9月には平年比やや少ない発生となった。

ツ イネミズゾウムシ (指定)

予察灯への初飛来は亀岡及び京丹後で平年並、京田辺で平年比早かった。

予察灯への飛来数は平年並であった。

本田では平年並の発生であった。

表22 イネミズゾウムシ越冬世代成虫の予察灯への初飛来日と総誘殺数

年度	京田辺		亀岡		京丹後	
	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月・日)	総誘殺数 (頭)
26年	5.30	84	5.7	429	5.4	184
25年	5.21	56	5.12	266	5.10	163
平年	6.10	54.4	5.4	173.8	5.5	110.9

表23 本田におけるイネミズゾウムシの生育密度調査 (6月第3～4半旬)

地域	年次	調査ほ場数	被害確認 ほ場率(%)	食害株率 (%)	被害度	虫数 (頭)
山城	26年	5	60.0	7.2	1.8	0.0
	25年	6	100.0	22.0	5.5	0.0
	平年	—	70.2	22.9	6.5	0.5
南丹	26年	9	100.0	54.2	13.8	0.2
	25年	9	100.0	71.1	18.3	0.3
	平年	—	88.5	60.8	20.2	1.7
中丹	26年	6	100.0	68.7	20.0	0.0
	25年	6	83.3	54.0	13.5	0.0
	平年	—	88.1	46.9	12.4	0.8
丹後	26年	9	77.8	40.9	11.4	1.1
	25年	9	66.7	19.6	4.9	0.0
	平年	—	87.5	41.4	11.1	0.7

* 虫数は25株見取りによる1ほ場当たりの平均値。

表24 本田におけるイネミズゾウムシの発生程度別ほ場割合 (25株見取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
5・3～4	19	0.0	0.0	5.3	21.1	73.7
6・3～4	29	0.0	0.0	34.5	51.7	13.8

テ 斑点米カメムシ類 (指定)

本田及び畦畔雑草とも、6月及び8月に平年比やや多く、7月に平年並の発生となった。

優占種は、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、シラホシカメムシであった。

ミナミアオカメムシは、亀岡市以南で発生を確認し、山城地域の一部ほ場では9月に多発した。

表25 本田における斑点米カメムシ類の発生程度別ほ場割合 (20回振りすくい取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	29	0.0	0.0	0.0	6.9	93.1
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3
8・3～4	30	0.0	3.3	6.7	46.7	43.3
9・3～4	10	0.0	0.0	10.0	30.0	60.0

表26 畦畔における斑点米カメムシ類の虫数別ほ場割合 (20回振りすくい取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	31頭≤(%)	11～30頭(%)	4～10頭(%)	1～3頭(%)	0頭(%)
6・3～4	29	3.4	13.8	20.7	20.7	41.4
7・3～4	30	3.3	6.7	16.7	33.3	40.0
8・3～4	30	6.7	0.0	3.3	23.3	66.7

表27 斑点米カメムシ類の生息密度調査（20回振りすくい取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	本田			畦畔		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	26年	5	20.0	0.2	5	80.0	4.0
		25年	6	16.7	0.5	6	83.3	78.2
		平年	—	3.1	0.09	—	46.4	10.3
	7・3～4	26年	6	16.7	0.2	6	50.0	6.8
		25年	6	33.3	1.2	6	100.0	35.8
		平年	—	21.7	0.4	—	71.9	19.5
	8・3～4	26年	6	50.0	1.2	6	83.3	46.3
		25年	6	50.0	0.7	6	100.0	44.7
		平年	—	24.8	0.7	—	63.4	9.9
	9・3～4	26年	6	33.3	5.8	—	—	—
		25年	6	33.3	1.8	—	—	—
	南丹	6・3～4	26年	9	11.1	0.3	9	44.4
25年			9	11.1	0.3	9	88.9	3.0
平年			—	4.2	0.06	—	38.6	1.3
7・3～4		26年	9	44.4	1.0	9	77.8	1.2
		25年	9	0.0	0.0	9	44.4	4.2
		平年	—	11.4	0.3	—	43.5	4.2
8・3～4		26年	9	77.8	2.3	9	22.2	0.2
		25年	9	44.4	1.6	9	44.4	2.6
		平年	—	43.9	1.3	—	36.5	3.0
9・3～4		26年	0	—	—	—	—	—
		25年	4	50.0	1.0	—	—	—
中丹		6・3～4	26年	6	0.0	0.0	6	50.0
	25年		6	16.7	0.7	6	66.7	4.7
	平年		—	8.1	0.2	—	40.7	2.8
	7・3～4	26年	6	0.0	0.0	6	66.7	8.3
		25年	6	33.3	0.5	6	66.7	1.2
		平年	—	24.1	0.5	—	50.7	3.2
	8・3～4	26年	6	33.3	2.3	6	16.7	0.2
		25年	6	66.7	1.8	6	83.3	4.2
		平年	—	56.4	1.3	—	48.3	2.1
	9・3～4	26年	3	33.3	2.0	—	—	—
		25年	0	—	—	—	—	—
	丹後	6・3～4	26年	9	0.0	0.0	9	66.7
25年			9	55.6	1.3	9	88.9	2.9
平年			—	6.7	0.14	—	51.7	2.4
7・3～4		26年	9	0.0	0.0	9	44.4	1.4
		25年	9	11.1	0.3	9	66.7	4.7
		平年	—	11.7	0.2	—	45.6	5.7
8・3～4		26年	9	55.6	1.1	9	22.2	0.4
		25年	9	55.6	2.3	9	55.6	3.0
		平年	—	35.1	0.9	—	30.3	1.1
9・3～4		26年	1	0.0	0.0	—	—	—
		25年	0	—	—	—	—	—

表28 本田と畦畔での斑点米カメムシ類の種別構成割合（8月第3～4半旬）

年次	種構成割合(%)							
	シラホシカメムシ	トゲシラホシ カメムシ	ホソハリカメムシ	クモハリカメムシ	コハ ^ネ ネヒョウタン ナガ ^カ カメムシ	アカヒゲ ^{ホソ} ミドリ ^リ カスミカメ	アカシ ^シ カスミカメ	その他
26年	1.2	2.9	5.0	4.1	0.0	15.9	70.5	0.3
25年	1.3	3.8	18.3	9.4	1.3	8.7	53.7	3.6
24年	2.1	6.9	16.6	2.8	2.8	46.2	19.3	3.4
23年	4.3	24.5	21.3	3.2	0.0	29.8	16.0	1.0

ト イネツトムシ（イチモンジセセリ）

6～8月に丹後地域を中心に発生を確認し、6月及び7月では平年比やや多い発生であった。

ナ フタオビコヤガ

府内広域で、6月～8月に発生を認めた。

ニ イネクロカメムシ
本田では発生を認めなかった。

ヌ スクミリンゴガイ
山城地域で発生を認めた。

(2)麦類
病虫害の発生状況

表1 発生量の平年比較

病名/麦種類	小麦	二条大麦
赤かび病	並(-)	並(-)

(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果(麦類赤かび病、5月)

調査時期 (月・半旬)	年次	小麦			二条大麦		
		発病穂率(%)	発病度	発病ほ場率(%)	発病穂率(%)	発病度	発病ほ場率(%)
5・3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.7	0.3	10.0	4.7	0.8	10.0

注)調査場所:(小麦)綾部市、福知山市、南丹市、(二条大麦)亀岡市

(3)黒大豆 病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	7月	8月	9月	10月(英)	全期間
アブラムシ類	やや多	並(-)	少	—	やや少
吸実性カメムシ類	—	並	並	—	並
ハスモンヨトウ	—	やや少(-)	やや少	—	やや少
モザイク病	多	—	—	—	多
べと病	—	やや多	多	—	やや多
葉焼病	—	やや多	やや多	—	やや多
ハダニ類	やや多	やや多	並	—	やや多
フタジビハムシ	並(-)	並	少	やや少	やや少
サヤムシガ類	やや少	多	やや少	—	並
チョウ目害虫	—	—	—	少	—

—：調査せず、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果(黒大豆、7～9月)

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			吸実性カメムシ類			ハスモンヨトウ			
		寄生株率(%)	25小葉当虫数(頭)	確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25株当虫数(頭)	確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25株当虫数(頭)	寄生株確認ほ率(%)	白変葉箇所数/10a
7・3～4	26年	1.0	0.6	25.0	—	—	—	—	—	—	—
	25年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	平年	0.9	0.5	13.5	—	—	—	—	—	—	—
8・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	2.5	0.6	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	1.5	50.0	0.5
	平年	1.3	1.6	13.8	2.3	0.6	30.0	1.1	0.8	21.3	0.7
9・3～4	26年	5.0	5.0	50.0	2.5	0.9	62.5	0.5	0.1	12.5	1.6
	25年	6.0	6.6	87.5	1.5	0.5	37.5	2.0	0.5	37.5	2.1
	平年	21.2	44.3	81.3	2.1	0.8	25.0	5.9	2.7	43.8	3.6

調査時期 (月・半旬)	年次	モザイク病		べと病			葉焼病		
		発病株率(%)	確認ほ率(%)	発病株率(%)	発病度(指数)	確認ほ率(%)	発病株率(%)	発病度(指数)	確認ほ率(%)
7・3～4	26年	40.1	100.0	—	—	—	—	—	—
	25年	1.3	62.5	—	—	—	—	—	—
	平年	2.0	45.4	—	—	—	—	—	—
8・3～4	26年	—	—	6.0	1.50	37.5	19.0	5.00	87.5
	25年	—	—	0.5	0.13	12.5	9.5	2.50	37.5
	平年	—	—	5.4	0.73	18.8	10.4	2.13	51.3
9・3～4	26年	—	—	50.0	12.50	100.0	95.0	24.00	100.0
	25年	—	—	38.0	9.50	75.0	44.0	12.25	75.0
	平年	—	—	23.8	5.25	45.0	49.3	13.26	83.8

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類			フタジビハムシ			サヤムシガ類			
		寄生株率(%)	25小葉当虫数(頭)	確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25株当虫数(頭)	確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25株当虫数(頭)	200莢当虫数(頭)	被害株確認ほ率(%)
7・3～4	26年	0.5	0.3	12.5	0.0	0.0	0.0	2.5	0.8	—	75.0
	25年	1.5	0.5	37.5	0.0	0.0	0.0	1.5	0.4	—	100.0
	平年	0.3	0.1	8.5	0.9	0.2	15.0	3.8	1.0	—	77.8
8・3～4	26年	10.5	40.4	50.0	1.5	0.4	37.5	3.0	0.8	—	75.0
	25年	10.0	17.1	37.5	0.0	0.0	0.0	3.0	0.9	—	75.0
	平年	5.3	15.1	35.0	2.1	0.7	22.5	2.1	0.6	—	77.5
9・3～4	26年	16.5	120.3	37.5	3.0	0.9	62.5	0.5	—	0.1	12.5
	25年	50.5	204.8	100.0	11.0	3.4	75.0	0.0	—	0.0	0.0
	平年	16.6	63.7	70.0	16.4	6.9	72.5	1.1	—	0.5	21.3

注：サヤムシガ類の確認ほ率は、7月中旬、8月中旬は被害確認ほ場、9月中旬は寄生確認ほ場

表3 巡回調査結果(黒大豆、10月)

調査時期 (月・半旬)	年次	フタジビハムシ		チョウ目害虫	
		食害莢率(%)	確認ほ率(%)	食害莢率(%)	確認ほ率(%)
10・3～4	26年	6.8	100.0	0.4	50.0
	25年	7.9	87.5	1.1	50.0
	平年	15.0	97.5	2.8	85.3

**(4)小豆
病害虫の発生状況**

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	8月	9月	10月(莢)	全期間
モザイク病	やや少	—	—	やや少
アブラムシ類	並(-)	やや少(-)	—	やや少(-)
ハスモンヨトウ	並(-)	少	—	少
うどんこ病	—	並(-)	—	並(-)
炭そ病	並(-)	やや多	—	やや多
さび病	並(-)	多	—	多
ハダニ類	並(-)	やや少	—	やや少
サヤムシガ類	並(-)	並	—	並
アズキノメイガ	—	やや少	—	やや少
マメノメイガ	—	並	—	並
チョウ目害虫	—	—	並	

—：調査せず、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果(アズキ、8～9月)

調査時期 (月・半旬)	年次	モザイク病		アブラムシ類			ハスモンヨトウ			
		発病株率(%)	確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25小葉当虫数(頭)	確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25株当虫数(頭)	寄生株確認ほ率(%)	白変葉箇所数/10a
8・3～4	26年	0.3	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.6	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	平年	1.5	40.5	0.5	0.3	13.3	0.3	0.1	7.0	0.3
9・3～4	26年	—	—	0.0	0.0	0.0	0.7	0.2	16.7	0.1
	25年	—	—	1.1	0.3	28.6	5.7	1.7	100.0	0.1
	平年	—	—	0.8	0.4	16.9	5.3	2.4	53.0	1.2

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病		炭そ病		さび病		ハダニ類		
		発病株率(%)	確認ほ率(%)	発病株率(%)	確認ほ率(%)	発病株率(%)	確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25小葉当虫数(頭)	確認ほ率(%)
8・3～4	26年	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	0.1	1.3	0.3	2.5	0.2	0.1	4.3
9・3～4	26年	0.0	0.0	14.7	83.3	44.3	66.7	0.3	0.6	8.3
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	12.6	42.9	5.1	4.4	42.9
	平年	0.2	3.0	3.5	14.0	8.1	19.3	3.5	6.1	29.8

調査時期 (月・半旬)	年次	サヤムシガ類			アズキノメイガ			マメノメイガ		
		寄生株率(%)	25株当虫数(頭)	被害株確認ほ率(%)	寄生株率(%)	25株当虫数(頭)	被害株確認ほ率(%)	寄生株率(%)	200花・莢当虫数(頭)	寄生株確認ほ率(%)
8・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	25年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	0.8	0.2	10.0	—	—	—	—	—	—
9・3～4	26年	0.3	0.1	33.3	0.3	0.1	16.7	5.7	2.2	25.0
	25年	0.0	0.0	0.0	2.9	0.7	57.1	12.0	3.3	57.1
	平年	0.9	0.2	29.0	1.8	0.5	43.0	14.3	2.6	61.0

表3 巡回調査結果(アズキ、10月)

調査時期 (月・半旬)	年次	チョウ目害虫	
		食害莢率(%)	確認ほ率(%)
10・3～4	26年	15.3	100.0
	25年	14.6	100.0
	平年	20.1	98.9

(5)ナシ
病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
黒斑病	やや少(-)	並	並	並	やや多	やや多	やや多
黒星病	並(-)	並	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
赤星病	並(-)	やや少	並	並	少(-)	並(-)	並
うどんこ病	—	—	—	多	多	多	多
ハダニ類	やや少(-)	やや少	少	並	やや多	少	やや多
シンクイムシ類	—	—	—	並(-)	—	—	並(-)

—：調査せず、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果(ナシ、5～10月) (%)

調査時期 (月・半旬)	年次	黒斑病		黒星病		赤星病	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率
5・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	25.0
	平年	1.4	45.8	0.5	6.5	0.3	6.4
6・3～4	26年	4.5	66.7	0.2	20.0	0.3	16.7
	25年	0.8	20.0	0.0	0.0	1.5	41.7
	平年	3.7	67.9	1.8	28.3	1.7	36.7
7・3～4	26年	1.8	100.0	0.0	0.0	0.9	16.7
	25年	1.2	60.0	0.0	0.0	0.3	16.7
	平年	2.7	49.8	1.9	27.5	1.4	29.2
8・3～4	26年	8.2	83.3	0.0	0.0	0.2	16.7
	25年	3.8	100.0	0.0	0.0	0.2	8.3
	平年	7.9	83.0	0.3	10.0	0.8	20.4
9・3～4	26年	8.2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	20.0	100.0	0.0	0.0	0.3	16.7
	平年	6.6	74.0	0.2	11.7	0.4	16.1
10・3～4	26年	11.8	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	14.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	7.5	78.3	0.6	19.2	0.3	13.2

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病		ハダニ類	
		寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3～4	26年	—	—	0.0	0.0
	25年	—	—	0.7	16.7
	平年	—	—	0.9	17.5
6・3～4	26年	—	—	0.4	8.3
	25年	—	—	4.9	41.7
	平年	—	—	4.2	43.6
7・3～4	26年	1.4	16.7	1.3	33.3
	25年	0.3	16.7	30.4	83.3
	平年	0.4	4.6	21.2	63.8
8・3～4	26年	7.0	25.0	8.3	50.0
	25年	4.6	41.7	19.0	75.0
	平年	1.1	14.5	9.0	50.0
9・3～4	26年	9.4	50.0	18.4	83.3
	25年	8.7	33.3	0.5	16.7
	平年	3.7	26.5	8.2	43.7
10・3～4	26年	36.3	75.0	8.8	33.3
	25年	27.7	91.7	0.1	8.3
	平年	21.5	74.6	5.7	51.7

(6)ブドウ
病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	全期間
べと病	並(-)	多	並	少	少	やや少
ハダニ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)

- : 調査せず、(-) : 発生を認めず

表2 巡回調査結果(ブドウ) (%)

調査時期 (月・半月)	年次	べと病		ハダニ類	
		発病葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	1.0	0.0	1.1
6・3～4	26年	3.0	66.7	0.0	0.0
	25年	1.0	33.3	0.0	0.0
	平年	0.3	9.3	0.2	11.0
7・3～4	26年	1.7	50.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	5.0	36.4	0.3	7.0
8・3～4	26年	1.8	50.0	0.0	0.0
	25年	10.5	83.3	0.0	0.0
	平年	17.4	55.6	1.0	11.0
9・3～4	26年	4.7	50.0	0.0	0.0
	25年	9.5	66.7	0.0	0.0
	平年	27.6	65.0	0.4	11.1

(7)カキ
病虫害発生状況

表1 発生量の平年比較

病虫害名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
うどんこ病	多	やや多	やや多	並	並	やや少	やや多
落葉病	—	—	並(-)	並(-)	やや少(-)	少	やや少
炭そ病	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
カキノヘタムシガ	—	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
カメムシ類	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並	並
チャノキアザミマ	—	—	やや多	並	やや多	多	やや多
カキダアザミマ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
カイガラムシ類	並(-)	並(-)	多	並(-)	多	並	多

—：調査せず、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果(カキ、5～10月) (%)

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病		落葉病		炭そ病	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	被害果率	ほ場率
5・3～4	26年	2.0	66.7	—	—	—	—
	25年	0.0	0.0	—	—	—	—
	平年	0.4	20.7	—	—	—	—
6・3～4	26年	28.0	100.0	—	—	0.0	0.0
	25年	44.3	100.0	—	—	0.0	0.0
	平年	13.6	98.0	—	—	0.0	0.0
7・3～4	26年	35.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	49.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	26.0	100.0	0.2	6.0	0.0	0.0
8・3～4	26年	26.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	31.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	27.6	100.0	0.4	18.7	0.1	6.7
9・3～4	26年	32.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	38.3	100.0	0.0	0.0	0.3	33.3
	平年	27.7	96.0	2.3	34.7	0.3	17.3
10・3～4	26年	32.7	66.7	2.0	66.7	0.0	0.0
	25年	56.0	100.0	4.3	66.7	0.0	0.0
	平年	51.6	98.0	15.6	78.7	0.9	18.3

調査時期 (月・半旬)	年次	カキノヘタムシガ		カメムシ類		チャノキアザミマ	
		被害果率	ほ場率	被害果率	ほ場率	被害葉率	ほ場率
7・3～4	26年	—	—	0.0	0.0	0.7	33.3
	25年	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	0.0	2.0	0.1	5.3
8・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	33.3
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	7.3	100.0
	平年	0.0	0.0	0.3	10.7	1.6	26.7
9・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	100.0
	25年	0.3	33.3	0.3	33.3	6.0	100.0
	平年	0.2	8.7	0.7	16.7	2.9	37.3
10・3～4	26年	0.0	0.0	0.7	33.3	6.7	100.0
	25年	0.0	0.0	0.7	33.3	27.3	100.0
	平年	0.04	2.0	2.4	35.0	5.6	46.7

調査時期 (月・半旬)	年次	カキダアザミウマ				カイガラムシ類			
		被害葉率	ほ場率	被害果率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生果率	ほ場率
5・3～4	26年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—
	25年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—
	平年	0.8	25.3	—	—	0.0	3.3	—	—
6・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	0.6	21.3	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
7・3～4	26年	—	—	0.0	0.0	—	—	2.7	100.0
	25年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	—	—	0.5	13.3	—	—	0.5	9.3
8・3～4	26年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	25年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.7	33.3
	平年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.5	13.3
9・3～4	26年	—	—	0.0	0.0	—	—	5.3	66.7
	25年	—	—	0.3	33.3	—	—	0.3	33.3
	平年	—	—	0.3	15.3	—	—	0.6	23.3
10・3～4	26年	—	—	0.7	33.3	—	—	2.0	66.7
	25年	—	—	0.0	0.0	—	—	2.0	66.7
	平年	—	—	1.6	12.0	—	—	1.7	31.7

**(8)カンキツ
病害虫発生状況**

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	全期間
そうか病	—	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハダニ類	並	並	やや多	並	やや少	やや少	やや少
ヤノネカイガラムシ	やや少(-)	やや少(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並	並
ミカンハモグリガ	並	並	並(-)	並(-)	並	多	並

—：調査せず、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果(カンキツ、4～9月)

調査時期 (月・半月)	年次	そうか病		ハダニ類		ヤノネカイガラムシ			ミカンハモグリガ (%)	
		寄生果率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	寄生果率	ほ場率	被害葉率	ほ場率
4・3～4	26年	—	—	4.0	100.0	0.0	—	0.0	3.0	66.7
	25年	—	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.7	33.3
	平年	—	—	7.8	43.3	1.9	—	46.7	1.7	43.3
5・3～4	26年	—	—	9.0	100.0	0.0	—	0.0	1.7	66.7
	25年	—	—	1.0	33.3	0.3	—	33.3	0.3	33.3
	平年	—	—	18.4	80.0	2.0	—	43.3	2.1	40.0
6・3～4	26年	—	—	37.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	—	—	9.3	100.0	0.0	—	0.0	0.7	33.3
	平年	—	—	14.0	76.7	0.6	0.0	26.7	0.7	16.7
7・3～4	26年	0.0	0.0	12.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	6.0	33.3	0.0	0.0	0.0	3.3	100.0
	平年	0.0	0.0	10.6	73.3	0.4	0.0	20.0	0.6	26.7
8・3～4	26年	0.0	0.0	2.7	100.0	0.0	0.0	0.0	2.3	66.7
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	100.0
	平年	0.0	0.0	14.9	66.7	1.1	0.5	40.0	1.5	40.0
9・3～4	26年	0.0	0.0	9.0	100.0	1.0	0.0	66.7	7.3	100.0
	25年	0.0	0.0	6.7	66.7	1.0	0.3	66.7	5.0	100.0
	平年	0.0	0.0	26.9	90.0	1.8	0.1	50.0	2.7	50.0

(9) 茶 樹

生育状況

本年は、1月から2月の平均気温が低く、3月から4月上旬までの平均気温がやや低かったため、新芽の始動がやや遅くなる傾向となった。そのため、平成26年の一番茶萌芽日は、自然仕立て園で平年比2日遅い4月7日となった。そして、弧状仕立て園でも平年比1日遅い4月10日となった。

萌芽日以降の新芽の生育は、4月中旬から5月上旬まで平均気温が低く経過したことから、平年と比較して緩慢に推移した。最終の生育調査日(5月5日)では、自然仕立て園での新芽長は8.8cm、新葉数は3.6枚、弧状仕立て園での新芽長は5.6cm、新葉数は3.1枚となり、いずれの仕立て園も新芽の伸張は平年よりやや緩慢で、葉数は平年並となった。

(宇治茶部発表の「平成26年一番茶萌芽・生育状況」一部抜粋)

病虫害発生状況

ア 炭そ病(指定)

表1 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや多	やや多	多	並	並	並	やや多
丹波	並	並	多	並	多	やや多	並
丹後	少	やや多	並	並	並	並	並

表2 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3～4	26年	0.9	36.4	0.3	16.7	0.0	0.0
	25年	0.4	19.0	1.7	50.0	0.0	0.0
	平年	0.4	12.8	0.8	20.0	0.0	0.0
5. 3～4	26年	0.6	29.4	0.0	0.0	1.0	50.0
	25年	0.9	47.1	0.2	16.7	0.0	0.0
	平年	0.5	13.6	0.2	8.3	0.3	8.3
6. 3～4	26年	8.3	90.0	8.3	83.3	0.5	25.0
	25年	2.1	36.8	0.7	16.7	0.0	0.0
	平年	2.4	30.6	1.4	38.5	1.4	35.7
7. 3～4	26年	0.4	10.0	1.5	66.7	0.3	25.0
	25年	4.2	59.1	12.5	100.0	0.5	25.0
	平年	0.9	16.9	2.1	42.0	0.5	25.0
8. 3～4	26年	0.2	4.8	26.2	66.7	1.0	50.0
	25年	5.8	59.1	17.2	80.0	3.0	50.0
	平年	1.1	16.6	3.2	29.7	1.0	28.6
9. 3～4	26年	2.5	18.2	5.2	66.7	0.0	0.0
	25年	8.3	76.2	20.0	100.0	4.0	50.0
	平年	1.7	21.5	3.1	46.7	0.6	7.1
10. 3～4	26年	4.6	18.2	0.2	16.7	0.0	0.0
	25年	3.7	42.9	3.2	66.7	4.3	75.0
	平年	1.5	18.7	1.2	26.7	0.9	17.9

イ 輪斑病

表3 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	多	やや多	多	やや多	並
丹波	並	並	並	並	並	並	やや多
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表4 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
6. 3~4	26年	8.3	90.0	8.3	83.3	0.5	25.0
	25年	2.1	36.8	0.7	16.7	0.0	0.0
	平年	2.4	30.6	1.4	38.5	1.4	35.7
7. 3~4	26年	0.1	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.1	4.5	1.5	50.0	1.0	50.0
	平年	0.1	2.7	0.4	9.2	0.1	7.1
8. 3~4	26年	1.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.2	20.0	0.8	25.0
	平年	0.1	1.4	2.7	18.7	0.1	3.6
9. 3~4	26年	0.3	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	2.3	2.3	13.3	0.0	0.0
10. 3~4	26年	0.0	0.0	0.3	33.3	0.0	0.0
	25年	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	2.7	0.6	15.0	0.0	0.0

ウ 灰色かび病

表5 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表6 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	6.8	0.0	3.3	0.0	0.0
5. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0

エ 新梢枯死症

表7 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	やや多	多	並
丹波	並	並	並	並	並	やや少	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表8 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病枝数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病枝数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病枝数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.5	0.1	3.3	0.0	0.0
5. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.1	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3~4	26年	0.1	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	25.0
	平年	0.0	1.8	0.3	8.3	0.1	3.6
9. 3~4	26年	1.6	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	1.5	50.0	0.0	0.0
	平年	0.4	9.1	0.8	21.7	0.0	0.0
10. 3~4	26年	0.6	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	1.3	0.1	6.7	0.0	0.0

オ もち病

表9 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	やや多	多	やや多
丹波	並	並	並	並	並	並	やや多
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表10 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
5. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3~4	26年	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3~4	26年	0.2	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3~4	26年	0.1	9.1	0.3	33.3	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.4	3.3	0.0	0.0

カ 網もち病

表11 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表12 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
5. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

キ カンザワハダニ (指定)

表13 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや少	並	やや多	やや多	並	並	やや多
丹波	やや少	やや多	並	やや少	多	やや多	並
丹後	多	多	多	やや多	やや多	やや多	多

表14 越冬状況 平成25年 2月、3月の越冬状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)
2.5	26年	0.1	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.1	0.0	4.6	0.0	0.0	0.0	-	-	-
	平年	1.3	0.4	32.3	1.4	0.6	21.7	0.0	0.0	0.0
3.5	26年	1.6	1.0	38.1	1.0	0.3	16.7	6.0	2.0	25.0
	25年	1.5	1.0	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	2.5	1.5	33.8	2.8	1.8	40.0	0.0	0.0	0.0

表15 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	成幼虫数 (頭/100芽)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	成幼虫数 (頭/100芽)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	成幼虫数 (頭/100芽)	発生ほ場 率 (%)
4. 3～4	26年	0.6	3.7	22.7	0.0	0.0	0.0	3.5	26.5	50.0
	25年	0.1	1.2	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	2.0	15.9	29.6	3.2	16.5	35.0	0.0	0.0	0.0
5. 3～4	26年	1.2	7.3	19.0	0.7	1.0	16.7	4.0	34.0	50.0
	25年	1.2	2.2	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	2.2	8.2	23.9	3.3	11.7	11.7	0.3	0.8	16.7
6. 3～4	26年	9.7	68.1	72.7	10.0	41.0	66.7	26.0	99.0	75.0
	25年	10.9	52.4	63.2	5.7	31.7	66.7	8.5	31.5	50.0
	平年	9.4	64.1	54.2	9.9	70.6	48.3	2.2	6.2	28.6
7. 3～4	26年	5.5	10.5	40.9	0.3	0.3	16.7	1.5	36.0	75.0
	25年	3.7	5.5	31.8	8.8	25.6	60.0	5.5	8.0	75.0
	平年	2.9	5.6	35.0	3.8	15.0	39.7	3.8	10.7	53.6
8. 3～4	26年	5.1	11.5	28.6	9.0	47.7	100.0	5.5	102.5	25.0
	25年	1.0	1.1	27.3	1.0	1.7	16.7	0.5	0.5	25.0
	平年	3.9	13.7	38.2	1.8	4.1	35.0	6.9	19.4	60.7
9. 3～4	26年	4.8	9.5	54.5	6.3	20.5	66.7	4.5	29.8	75.0
	25年	0.2	0.2	9.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	25.0
	平年	6.3	25.4	43.2	3.0	9.0	36.7	9.4	96.6	32.1
10. 3～4	26年	3.6	8.5	31.8	0.7	1.7	33.3	3.0	8.5	75.0
	25年	0.2	0.2	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.7	7.0	23.7	1.5	4.2	31.7	0.1	0.1	7.1

(参考) 平成27年 2月、3月の越冬状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場 率 (%)
2.5	27年	0.9	0.6	42.9	0.8	0.0	50.0	1.0	0.0	25.0
	26年	0.1	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.1	0.3	26.8	0.5	0.1	13.3	0.0	0.0	0.0
3.5	27年	3.0	0.4	47.6	4.3	0.3	50.0	3.0	0.0	25.0
	26年	1.6	1.0	38.1	1.0	0.3	16.7	6.0	2.0	25.0
	平年	2.0	1.1	33.8	1.6	1.0	31.7	0.9	0.3	3.6

ク チャノコカクモンハマキ (指定)

表16 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	多	やや多	やや多	並	並	並	並
丹波	並	並	並	やや多	並	並	やや多
丹後	並	並	多	多	やや多	やや多	並

表17 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		幼虫・蛹数 (頭/m ²)	綴葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	幼虫・蛹数 (頭/m ²)	綴葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	幼虫・蛹数 (頭/m ²)	綴葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	26年	0.7	3.0	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.2	0.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	0.1	3.7	0.1	0.5	11.7	0.0	0.0	0.0
5. 3~4	26年	0.0	0.1	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	1.8	0.2	0.0	67.0	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	26年	0.2	1.8	25.0	0.2	2.8	33.3	1.3	5.8	25.0
	25年	0.8	1.7	26.3	0.3	5.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	0.4	7.9	0.5	3.8	26.2	0.0	0.0	0.0
7. 3~4	26年	0.1	0.0	5.0	2.0	5.0	83.3	2.5	6.5	25.0
	25年	0.6	1.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	0.5	9.1	1.6	2.5	38.3	0.0	0.0	0.0
8. 3~4	26年	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	22.8	50.0
	25年	0.2	2.2	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.5	1.2	9.6	0.6	1.3	13.3	0.0	0.0	0.0
9. 3~4	26年	0.0	1.0	22.7	0.0	0.2	16.7	0.0	0.8	25.0
	25年	0.2	2.2	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	2.2	20.6	0.2	2.0	21.7	0.0	0.0	0.0
10. 3~4	26年	0.0	0.0	4.5	0.0	1.2	50.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.1	1.0	23.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	1.1	10.3	0.2	0.7	15.0	0.0	0.0	0.0

ケ チャノホソガ

表18 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	やや多	やや少	やや少	やや少	並	並
丹波	並	並	やや多	並	並	やや多	並
丹後	並	並	やや多	並	並	やや多	並

表19 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生芽率 (%)	三角葉巻数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	寄生芽率 (%)	三角葉巻数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	寄生芽率 (%)	三角葉巻数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	26年	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0
	25年	0.0	0.2	9.5	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0
	平年	1.2	0.1	8.7	0.7	0.0	5.0	-	0.1	7.1
5. 3~4	26年	5.4	0.7	35.3	0.0	0.2	16.7	0.0	0.0	0.0
	25年	0.3	0.1	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	2.0	0.4	21.3	0.4	0.9	13.7	1.2	0.0	16.7
6. 3~4	26年	4.0	0.0	10.0	34.0	0.3	33.3	26.0	0.0	25.0
	25年	0.3	0.1	10.5	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0
	平年	12.6	0.1	24.3	28.5	0.4	24.5	38.4	0.0	21.4
7. 3~4	26年	1.7	0.1	20.0	1.5	0.2	33.3	7.5	1.5	100.0
	25年	6.1	0.2	31.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	12.2	1.0	51.1	2.2	0.8	46.8	19.5	7.0	50.0
8. 3~4	26年	0.3	0.4	19.0	0.3	0.0	16.7	1.5	2.5	75.0
	25年	0.7	0.1	13.6	0.0	0.0	0.0	1.0	0.3	25.0
	平年	10.5	2.1	47.4	14.3	0.5	31.7	19.9	1.3	75.0
9. 3~4	26年	14.1	3.6	63.6	1.3	1.3	100.0	0.5	2.3	75.0
	25年	0.7	0.8	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	50.0
	平年	20.0	5.8	57.2	6.7	0.6	40.7	0.6	0.1	21.4
10. 3~4	26年	12.5	5.4	72.7	19.3	2.8	66.7	0.0	11.3	75.0
	25年	9.3	8.0	42.9	3.3	0.8	50.0	0.7	0.0	25.0
	平年	11.8	11.3	51.9	20.9	3.3	40.0	7.6	2.9	32.1

コ チャノキイロアザミウマ

表20 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	-	やや少	やや多	やや少	少	少	やや少
丹波	-	やや多	やや少	並	並	並	やや少
丹後	-	やや少	多	並	並	並	やや少

表21 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	成幼虫数 (頭/100 芽)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (頭/100 芽)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (頭/100 芽)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	26年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25年	2.8	0.2	38.5	0.0	0.0	0.0	-	-	-
	平年	11.2	3.2	69.8	5.4	0.0	50.0	-	-	-
5. 3~4	26年	1.9	1.1	31.3	2.0	1.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	25年	3.9	3.3	57.1	1.0	0.0	33.3	2.5	0.0	75.0
	平年	8.4	24.8	60.3	1.5	0.8	33.8	1.6	0.2	45.8
6. 3~4	26年	45.7	8.9	100.0	12.0	6.0	100.0	20.0	10.0	100.0
	25年	23.0	2.8	100.0	8.0	8.4	100.0	-	-	-
	平年	25.6	18.2	81.9	22.2	13.4	80.0	8.0	1.0	70.0
7. 3~4	26年	38.3	82.4	100.0	21.0	1.5	100.0	2.0	0.5	50.0
	25年	62.4	165.6	100.0	4.0	0.0	100.0	7.0	2.5	75.0
	平年	51.2	162.7	98.5	17.1	21.3	81.7	10.0	5.9	70.8
8. 3~4	26年	22.5	1.8	73.7	19.3	5.0	100.0	48.5	68.5	100.0
	25年	33.7	10.0	90.5	3.2	2.4	60.0	70.0	133.0	100.0
	平年	35.1	52.0	93.6	30.9	32.4	86.0	45.3	134.4	92.9
9. 3~4	26年	5.8	2.5	60.0	15.0	19.0	100.0	8.5	6.5	75.0
	25年	14.4	8.7	81.0	21.0	11.0	100.0	29.0	17.0	100.0
	平年	25.6	34.7	87.9	24.8	13.7	86.3	31.1	20.0	100.0
10. 3~4	26年	15.5	0.7	75.0	3.3	0.0	66.7	16.0	0.5	50.0
	25年	50.2	309.1	100.0	12.3	3.0	100.0	34.7	0.0	100.0
	平年	30.5	77.9	89.2	23.8	11.0	87.5	27.1	13.5	100.0

サ チャノミドリヒメヨコバイ

表22 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	-	やや多	多	多	やや多	並	並
丹波	-	並	並	多	多	やや多	やや多
丹後	-	並	並	並	やや多	やや多	並

表23 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	成幼虫数 (頭/100 芽)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (頭/100 芽)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (頭/100 芽)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	26年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-
	平年	0.5	0.0	10.2	0.4	0.0	16.7	-	-	-
5. 3~4	26年	0.3	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.3	0.4	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	0.2	6.2	0.2	0.2	8.3	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	26年	2.0	2.0	14.3	6.0	5.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	5.6	6.4	100.0	-	-	-
	平年	0.5	0.2	9.7	9.0	12.1	66.7	0.0	0.0	0.0
7. 3~4	26年	15.7	13.7	78.6	39.0	93.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	25年	6.0	7.8	62.5	1.0	1.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.5	1.9	23.5	3.5	4.6	37.3	1.3	1.2	16.7
8. 3~4	26年	4.2	5.7	42.9	28.7	72.3	100.0	2.0	2.0	25.0
	25年	8.7	5.5	33.3	0.8	0.8	40.0	0.0	0.0	0.0
	平年	2.7	2.6	24.9	6.7	5.2	51.3	0.7	0.1	14.3
9. 3~4	26年	4.8	3.5	54.5	17.7	8.7	100.0	24.0	1.5	100.0
	25年	6.7	7.4	57.1	9.0	20.0	100.0	7.5	7.5	75.0
	平年	3.6	5.1	36.1	9.3	12.5	49.3	6.9	8.2	25.0
10. 3~4	26年	7.7	3.6	13.6	20.3	8.3	100.0	0.0	0.0	0.0
	25年	16.7	41.1	54.6	0.3	0.3	16.7	4.7	2.0	66.7
	平年	4.4	8.4	29.8	8.3	9.2	38.3	7.9	8.7	44.4

シ コミカンアブラムシ

表24 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	-	並	並	やや少	並	並	並
丹波	-	並	やや多	やや少	並	並	やや少
丹後	-	並	やや多	並	並	多	やや少

表25 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生芽率 (%)	成幼虫数 (頭/100 芽)	発生ほ場率 (%)	寄生芽率 (%)	成幼虫数 (頭/100 芽)	発生ほ場率 (%)	寄生芽率 (%)	成幼虫数 (頭/100 芽)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	26年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25年	0.5	0.5	7.7	0.0	0.0	0.0	-	-	-
	平年	0.7	6.9	18.1	0.0	0.0	0.0	-	-	-
5. 3~4	26年	1.3	5.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.7	5.4	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	9.4	16.3	0.4	6.5	5.3	0.0	0.0	0.0
6. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	50.0	2.0	2.0	100.0
	25年	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	20.0	-	-	-
	平年	0.9	5.6	17.7	0.8	3.1	23.7	1.2	4.4	20.0
7. 3~4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	7.5	50.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	1.6	8.1	1.7	17.1	35.2	1.2	18.5	33.3
8. 3~4	26年	0.4	1.5	4.8	2.0	7.7	33.3	1.0	1.5	25.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	2.5	17.1	1.1	8.9	22.7	0.4	0.9	14.3
9. 3~4	26年	0.9	8.1	13.6	2.3	7.3	66.7	2.5	21.5	100.0
	25年	1.9	13.0	28.6	9.0	1092.0	100.0	2.5	16.0	50.0
	平年	0.9	5.3	23.3	2.7	117.5	50.7	1.4	5.4	35.7
10. 3~4	26年	0.5	6.6	9.1	0.7	2.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	25年	0.7	4.0	36.4	1.3	7.0	50.0	0.7	28.7	33.3
	平年	0.7	3.1	22.9	3.0	17.9	51.7	4.1	64.6	47.2

ス ツマグロアオカスミカメ

表26 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	多	やや多	やや多	多	並	並
丹波	並	少	やや多	並	多	多	やや多
丹後	並	並	並	並	並	並	やや少

表27 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	被害葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	被害葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	被害葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3~4	26年	-	0.0	0.0	-	0.2	16.7	-	0.0	0.0
	25年	3.5	0.8	4.9	15.3	2.2	66.7	-	4.3	50.0
	平年	0.8	0.1	6.1	7.7	0.8	18.3	-	1.0	21.4
5. 3~4	26年	1.8	3.6	47.1	0.0	0.0	0.0	16.5	7.5	100.0
	25年	1.0	1.1	25.0	1.0	0.2	50.0	9.5	6.3	100.0
	平年	0.4	0.6	14.6	4.2	10.0	71.0	24.8	40.5	91.7
6. 3~4	26年	0.3	0.9	25.0	6.0	1.3	50.0	26.0	41.8	100.0
	25年	1.8	1.2	36.8	3.2	2.0	33.3	-	23.5	100.0
	平年	0.8	0.8	17.2	0.8	2.0	38.2	20.4	92.1	100.0
7. 3~4	26年	0.0	7.3	60.0	7.5	4.3	50.0	32.0	57.3	100.0
	25年	0.0	0.3	13.6	2.0	0.0	50.0	18.5	23.5	100.0
	平年	0.3	0.4	13.4	9.9	14.2	68.5	39.3	59.9	100.0
8. 3~4	26年	4.5	5.1	38.7	29.3	43.2	100.0	3.5	23.5	100.0
	25年	3.0	11.0	40.9	18.0	3.4	100.0	60.0	27.5	100.0
	平年	1.1	1.0	35.7	9.7	11.8	70.0	28.9	32.5	92.9
9. 3~4	26年	0.1	1.3	18.2	3.3	19.0	83.3	9.5	5.5	100.0
	25年	3.7	3.4	57.1	0.0	0.0	0.0	9.0	33.5	100.0
	平年	0.9	0.9	20.8	1.1	1.2	38.3	5.4	31.0	92.9
10. 3~4	26年	0.6	2.7	27.3	3.0	11.5	100.0	4.0	2.5	75.0
	25年	0.0	0.5	28.6	5.0	0.0	83.3	3.3	2.5	75.0
	平年	1.0	0.5	18.9	1.7	2.2	41.7	8.2	15.4	82.1

セ クワシロカイガラムシ

表28 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	やや少	並	並
丹波	並	やや少	並	やや少	少	やや多	並
丹後	多	やや多	やや多	やや多	やや多	やや多	並

表29 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		寄生株率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生株率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生株率 (%)	発生ほ場 率 (%)
4. 3～4	26年	10.7	59.1	1.7	33.3	57.5	100.0
	25年	40.7	76.2	15.8	66.7	40.0	100.0
	平年	18.5	52.6	8.4	46.7	6.4	28.6
5. 3～4	26年	12.6	70.6	0.8	16.7	25.0	50.0
	25年	31.8	76.5	29.2	100.0	58.8	100.0
	平年	17.2	57.5	9.4	48.3	9.8	16.7
6. 3～4	26年	19.0	50.0	14.2	66.7	42.5	50.0
	25年	38.2	73.7	78.3	100.0	57.5	100.0
	平年	20.2	61.3	23.2	66.7	8.2	14.3
7. 3～4	26年	19.3	66.7	3.3	33.3	33.8	75.0
	25年	17.7	54.5	82.5	100.0	55.0	100.0
	平年	17.5	65.1	24.7	65.0	7.9	14.3
8. 3～4	26年	10.9	50.0	2.5	50.0	23.0	100.0
	25年	18.6	72.7	25.0	80.0	72.5	100.0
	平年	16.5	63.2	25.1	68.0	11.8	28.6
9. 3～4	26年	18.0	50.0	10.0	100.0	20.0	100.0
	25年	27.6	71.4	10.0	100.0	26.3	75.0
	平年	19.6	64.0	9.5	51.7	4.8	25.0
10. 3～4	26年	15.5	50.0	28.3	83.3	5.0	50.0
	25年	26.7	71.4	13.3	66.7	46.3	100.0
	平年	21.0	64.4	21.7	65.0	9.1	42.9

ソ チャトゲコナジラミ

表30 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		寄生箇所 率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生箇所 率 (%)	発生ほ場 率 (%)	寄生箇所 率 (%)	発生ほ場 率 (%)
4. 3～4	26年	56.4	81.8	33.3	66.7	96.3	100.0
	25年	55.0	85.7	50.8	66.7	100.0	100.0
	平年	58.3	86.3	11.0	27.8	82.5	83.3
5. 3～4	26年	58.8	76.2	41.7	66.7	98.8	100.0
	25年	57.3	90.0	50.0	83.3	100.0	100.0
	平年	58.3	78.1	10.3	36.1	82.0	100.0
6. 3～4	26年	28.4	68.4	62.5	83.3	95.0	100.0
	25年	63.7	94.7	13.3	50.0	95.0	100.0
	平年	49.3	79.3	4.6	25.0	69.2	100.0
7. 3～4	26年	47.7	68.2	52.5	66.7	93.8	100.0
	25年	52.3	77.3	7.5	100.0	87.5	100.0
	平年	55.9	83.2	8.8	44.4	79.6	100.0
8. 3～4	26年	43.9	86.4	15.8	66.7	87.5	100.0
	25年	33.9	72.7	51.0	80.0	91.3	100.0
	平年	45.2	84.8	13.4	32.8	81.5	100.0
9. 3～4	26年	55.9	90.9	62.5	100.0	100.0	100.0
	25年	31.2	71.4	60.0	100.0	100.0	100.0
	平年	37.2	79.3	19.0	38.9	93.3	100.0
10. 3～4	26年	26.4	72.7	29.2	66.7	68.8	75.0
	25年	25.5	76.2	2.5	25.0	85.0	100.0
	平年	32.4	74.1	8.1	26.4	89.2	100.0

(10) キュウリ

病害虫の発生状況

ア ベと病

露地栽培:5月は平年並の発生であったが、6、7月は平年比やや多かった。

施設栽培:9月、10月は例年並、11月には例年比やや多い発生を認めた。

イ うどんこ病

露地栽培:5月～8月にかけて発生を認めなかった(平年比少ない～並)。

施設栽培:9月は例年比多く発生したが、10月は例年比少なくなり、11月には再び例年比多くなった。

ウ 炭そ病

7月、8月に発生を認めず、平年並であった。

エ 斑点細菌病

発生を認めなかった(例年並)。

オ 褐斑病

露地栽培:8月に平年並の発生を認めた。

施設栽培:発生を認めなかった(9、10月は例年並、11月は例年比やや少ない)。

カ アブラムシ類

露地栽培:5、6月に平年並、7月に平年比やや多い発生を認めたが、8月には発生を認めなかった(平年並)。

施設栽培:発生を認めなかった(例年並)。

キ アザミウマ類

露地栽培:5、6月は平年比やや多く、7月は平年並の発生を認めたが、8月は発生を認めなかった。

施設栽培:発生を認めなかった(例年比やや少ない～並)。

ク ハダニ類

露地栽培:5、8月は発生を認めなかったが、6月は平年比やや多く、7月は平年並の発生を認めた。

施設栽培:発生を認めなかった(例年並)。

ケ ハモグリバエ類

露地栽培:5月は発生を認めなかったが、6月は平年比やや多く、7、8月は平年並の発生を認めた。

施設栽培:9月は例年比少なく、10月は例年並、11月は例年比やや多く推移した。

コ ハスモンヨトウ

発生を認めなかった。

表1 ベと病、炭そ病及びうどんこ病の発生状況（露地栽培）

調査時期 (月・半旬)	年次	ベと病			炭そ病			うどんこ病		
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	1.7	10.0	—	—	—	0.1	0.1	2.5
6・3～4	26年	3.0	23.0	75.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0
	平年	1.5	9.3	37.8	—	—	—	3.0	7.2	39.2
7・3～4	26年	23.3	52.0	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	2.0	8.0	60.0	0.0	0.0	0.0	6.8	24.8	60.0
	平年	17.9	28.4	61.7	0.2	1.5	10.8	13.7	22.5	49.6
8・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	25.6	43.6	78.3	0.2	0.5	7.5	5.3	10.9	29.2

表2 斑点細菌病、褐斑病及びアブラムシ類の発生状況（露地栽培）

調査時期 (月・半旬)	年次	斑点細菌病			褐斑病			アブラムシ類		
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (頭/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.03	2.7	33.3
	25年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.69	48.7	100.0
	平年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.12	9.3	62.5
6・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.05	1.5	50.0
	25年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.00	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.03	1.2	30.7
7・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.94	1.3	33.3
	25年	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.08	0.4	20.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.4	1.0	10.0	0.62	2.1	22.2
8・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	12.5	54.0	100.0	0.00	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	32.0	90.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	16.4	32.8	56.7	4.57	6.2	33.3

表3 アザミウマ類、ハダニ類及びハモグリバエ類の発生状況（露地栽培）

調査時期 (月・半旬)	年次	アザミウマ類			ハダニ類			ハモグリバエ類		
		寄生 虫数 (頭/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (頭/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	26年	0.39	26.7	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.13	11.3	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.27	16.6	72.5	0.08	3.1	20.0	0.1	0.9	12.5
6・3～4	26年	1.43	39.5	75.0	0.07	3.5	50.0	6.0	36.0	100.0
	25年	4.51	96.7	100.0	0.01	1.3	33.3	0.7	5.3	66.7
	平年	1.02	32.1	78.8	0.09	1.8	17.7	4.2	17.0	69.5
7・3～4	26年	0.66	13.7	66.7	0.00	0.0	0.0	6.7	20.0	100.0
	25年	0.32	15.6	40.0	0.02	0.4	20.0	6.4	37.6	100.0
	平年	1.71	21.2	68.3	0.06	2.6	26.4	9.9	26.5	90.9
8・3～4	26年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	13.0	52.0	100.0
	25年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	1.0	6.0	100.0
	平年	0.01	0.6	9.2	0.45	3.6	15.0	16.3	42.1	86.7

表4 ベと病、うどんこ病及び斑点細菌病の発生状況（施設栽培）

調査時期 (月・半旬)	年次	ベと病			うどんこ病			斑点細菌病		
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	7.0	80.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	48.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	例年	0.0	0.4	10.0	0.1	26.1	70.0	0.0	0.0	0.0
10・3～4	26年	0.7	1.3	33.3	2.7	54.7	100.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	25.3	36.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	例年	2.7	6.4	13.3	34.3	65.1	86.7	0.0	0.0	0.0
11・3～4	26年	22.7	25.3	33.3	78.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	25年	3.3	6.7	100.0	49.3	86.7	100.0	0.0	0.0	0.0
	例年	9.5	15.7	80.0	53.6	87.7	100.0	0.0	0.0	0.0

表5 褐斑病、アブラムシ類及びアザミウマ類の発生状況（施設栽培）

調査時期 (月・半旬)	年次	褐斑病			アブラムシ類			アザミウマ類		
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (頭/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (頭/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	例年	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.01	0.7	26.7
10・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	例年	0.0	0.0	0.0	0.02	0.3	6.7	0.00	0.0	0.0
11・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	25年	26.0	34.7	66.7	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	例年	6.5	9.1	26.7	0.13	0.3	6.7	0.03	1.1	13.3

表6 ハダニ類、ハモグリバエ類及びハスモンヨトウの発生状況（施設栽培）

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類			ハモグリバエ類			ハスモンヨトウ	
		寄生 虫数 (頭/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (頭/葉)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	26年	0.00	0.0	0.0	7.0	26.0	100.0	0.00	0.0
	25年	0.00	0.0	0.0	0.0	56.0	100.0	0.00	0.0
	例年	0.00	0.3	16.7	4.8	61.5	93.3	0.00	0.0
10・3～4	26年	0.00	0.0	0.0	10.7	65.3	66.7	-	-
	25年	0.00	0.0	0.0	13.3	34.7	100.0	-	-
	例年	0.00	0.0	0.0	14.0	48.0	80.0	-	-
11・3～4	26年	0.00	0.0	0.0	26.0	66.7	66.7	-	-
	25年	0.00	0.0	0.0	1.3	17.3	66.7	-	-
	例年	0.00	0.0	0.0	14.3	39.7	93.3	-	-

(11) トマト

病害虫の発生状況

表1 発生量の例年比較

病害虫名\調査月	3月	4月	5月	6月	全期間
疫病	(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
灰色かび病	-	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
葉かび病	(-)	並(-)	並(-)	やや少(-)	並(-)
モザイク病	(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
うどんこ病	-	-	-	並	並
アブラムシ類	(-)	並(-)	並(-)	やや少(-)	並(-)
アザミウマ類	(-)	並(-)	多	やや多	やや多
コナジラミ類	(-)	並(-)	並(-)	多	やや多
ハモグリバエ類	(-)	並(-)	並(-)	やや多	やや多

- : 調査せず、(-) : 発生を認めず

表2 巡回調査結果(トマト、3~6月)

調査時期 (月・半 旬)	年次	疫病		灰色かび病		葉かび病			モザイク病		うどんこ病	
		発病 株率 (%)	発 生 ほ場率 (%)	発病 果率 (%)	発 生 ほ場率 (%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発 生 ほ場率 (%)	発病 株率 (%)	発 生 ほ場率 (%)	発病 株率 (%)	発 生 ほ場率 (%)
3・3~4	26年	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	25年	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	*平均	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
4・1~2	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	**例年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
5・1~2	26年	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	25年	0.0	0.0	0.2	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	例年	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
6・1~2	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	20.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	20.0
	例年	0.0	0.0	0.2	16.0	4.6	14.6	36.0	0.2	4.0	5.0	16.0

調査時期 (月・半 旬)	年次	アブラムシ類			アザミウマ類			コナジラミ類			ハモグリバエ類		
		寄生 虫数 (頭/葉)	寄生 葉率 (%)	発 生 ほ場率 (%)	寄生 虫数 (頭/葉)	寄生 葉率 (%)	発 生 ほ場率 (%)	寄生 虫数 (頭/葉)	寄生 葉率 (%)	発 生 ほ場率 (%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発 生 ほ場率 (%)
3・3~4	26年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平均	0.00	0.0	0.0	0.01	0.4	6.3	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4・1~2	26年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.01	0.5	25.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	0.00	0.3	12.5	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5・1~2	26年	0.00	0.0	0.0	0.01	0.8	20.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.004	0.4	20.0	0.00	0.4	20.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	0.00	0.2	12.0	0.00	0.2	8.0	0.00	0.0	0.0	0.0	1.0	8.0
6・1~2	26年	0.00	0.0	0.0	0.05	1.2	20.0	0.00	0.4	20.0	0.0	12.8	20.0
	25年	0.24	5.2	60.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.8	20.0
	例年	0.06	1.4	20.0	0.01	0.5	12.0	0.00	0.0	0.0	0.6	7.5	28.0

*22~25年の平均値、**21~25年の平均値

(12) ナス

病害虫の発生状況

ア うどんこ病

5月～6月には発生を認めなかったが、7月、8月は平年並、9月には平年比やや多くなったが、10月には平年比やや少なくなった。

イ 灰色かび病

発生を認めなかった(平年並)。

ウ 褐色円星病

5月～6月は発生を認めなかったが、7月～10月は平年比やや多い～多い発生で推移した。

エ アブラムシ類

5月、9月の発生は平年比やや多かったが、6月～8月、10月は発生を認めない～平年比やや少ない発生で推移した。

オ アザミウマ類

5月は平年比多く、6月～10月は平年並～やや多い発生で推移した。

カ ハダニ類

5月は平年比多かったが、6月～10月は平年並～やや少ない発生で推移した。発生種は、ナミハダニ、カンザワハダニであった。

キ ハモグリバエ類

5月は平年並、6月はやや少なく、7月～10月は平年比少ない発生で推移した。

表1 うどんこ病、褐色円星病及び灰色かび病の発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	うどんこ病			褐色円星病			灰色かび病	
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 果率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
6・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7・3～4	26年	0.5	1.3	12.5	2.3	13.8	25.0	0.0	0.0
	25年	1.5	7.5	42.9	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0
	平年	1.2	4.9	15.0	0.2	2.4	12.8	0.0	0.0
8・3～4	26年	10.8	32.5	50.0	2.3	25.0	62.5	0.0	0.0
	25年	14.0	42.5	50.0	0.3	2.5	25.0	0.0	0.0
	平年	8.5	24.1	43.2	2.3	15.2	38.2	0.0	0.0
9・3～4	26年	16.0	46.3	75.0	24.3	71.3	87.5	0.0	0.0
	25年	9.5	33.8	62.5	7.3	22.5	50.0	0.0	0.0
	平年	15.0	40.3	68.3	7.3	33.8	63.2	0.0	1.1
10・3～4	26年	13.1	38.6	71.4	22.6	77.1	100.0	0.0	0.0
	25年	33.5	70.0	100.0	20.5	51.3	62.5	0.0	0.0
	平年	23.5	53.1	84.3	11.8	35.3	63.3	0.0	0.0

注：灰色かび病は例年値

表2 巡回調査結果(虫害)

(10株(5葉・5果)調査(%)、害虫個体数は1葉当たり)

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			ハダニ類			ハモグリバエ類		
		寄生 虫数 (頭/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (頭/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	26年	0.43	21.7	83.3	0.17	4.0	66.7	5.7	20.0	66.7
	25年	1.28	40.4	100.0	0.01	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.33	17.9	95.7	0.01	0.8	15.0	8.1	22.4	58.0
6・3～4	26年	0.01	1.3	37.5	0.07	1.5	37.5	0.5	7.5	75.0
	25年	0.07	3.0	50.0	0.11	3.3	62.5	0.8	12.3	50.0
	平年	0.14	5.6	69.4	0.06	1.1	24.5	4.4	25.2	70.4
7・3～4	26年	0.00	0.0	0.0	0.01	0.3	12.5	0.3	2.5	25.0
	25年	0.00	0.0	14.3	0.41	9.0	42.9	11.3	22.5	42.9
	平年	0.05	0.9	14.1	0.28	2.2	20.8	5.2	27.9	66.9
8・3～4	26年	0.00	0.0	0.0	0.01	1.0	25.0	0.3	6.3	25.0
	25年	0.01	0.5	12.5	0.03	1.3	25.0	5.8	22.5	75.0
	平年	0.04	1.2	23.5	0.87	4.1	21.9	12.2	50.6	86.7
9・3～4	26年	0.03	2.0	25.0	0.09	0.8	25.0	4.3	21.3	62.5
	25年	0.00	0.3	12.5	0.04	2.8	12.5	2.8	25.0	62.5
	平年	0.03	0.9	18.0	0.34	3.8	23.6	31.4	74.8	91.3
10・3～4	26年	0.00	0.0	0.0	0.03	1.1	28.6	3.1	17.1	42.9
	25年	0.00	0.3	12.5	3.51	12.8	25.0	24.5	61.3	75.0
	平年	0.24	3.6	22.6	2.26	5.2	23.4	42.2	80.8	89.6

調査時期 (月・半旬)	年次	アザミウマ類			コナジラミ類		
		寄生 虫数 (頭/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (頭/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3～4	26年	0.27	14.3	66.7	—	—	—
	25年	0.02	1.6	40.0	—	—	—
	平年	0.02	1.8	38.0	—	—	—
6・3～4	26年	0.18	12.0	87.5	—	—	—
	25年	1.02	33.3	87.5	—	—	—
	平年	0.25	11.3	66.0	—	—	—
7・3～4	26年	0.11	7.8	37.5	0.000	0.0	0.0
	25年	0.06	2.3	42.9	0.00	0.3	14.3
	平年	0.04	2.5	35.1	0.06	1.8	18.9
8・3～4	26年	0.01	1.0	37.5	0.01	1.0	25.0
	25年	0.01	0.8	25.0	0.00	0.0	0.0
	平年	0.01	1.1	26.4	0.15	4.7	39.0
9・3～4	26年	0.36	12.8	25.0	0.03	2.3	50.0
	25年	0.01	0.5	12.5	0.03	3.0	37.5
	平年	0.03	0.9	14.2	0.76	10.0	49.1
10・3～4	26年	0.03	0.9	28.6	0.03	0.6	28.6
	25年	0.00	0.0	0.0	0.10	8.5	50.0
	平年	0.01	0.5	13.8	0.32	6.1	43.4

注：コナジラミ類は例年値。

(13) トウガラシ 病害虫の発生状況

表1 発生量の例年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	全期間
うどんこ病	並(-)	やや少(-)	やや少(-)	並	やや少(-)	並
斑点病	—	—	並	多	少(-)	やや多
モザイク病	多	並(-)	並(-)	多	並(-)	やや多
アブラムシ類	少(-)	やや少	並	やや少	少(-)	やや少
アザミウマ類	並(-)	多	並	やや少(-)	並(-)	やや多
ハダニ類	並(-)	並(-)	多	少(-)	少(-)	並
タバコガ類	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
コナジラミ類	多	並(-)	並	並(-)	並(-)	並

—：調査せず、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果(トウガラシ)

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病			斑点病			モザイク病		アブラムシ類		
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場率 (%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場率 (%)	寄生 虫数 (頭/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場率 (%)
5・1～2	26年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	2.0	20.0	0.00	0.0	0.0
	25年	1.2	8.0	20.0	—	—	—	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	*例年	0.0	0.0	10.4	—	—	—	0.0	1.5	0.07	1.8	28.0
6・1～2	26年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.40	0.0	20.0
	25年	3.6	12.0	20.0	—	—	—	2.0	0.3	2.00	0.0	40.0
	例年	4.1	7.7	12.3	—	—	—	0.7	0.2	2.22	0.0	41.0
7・1～2	26年	0.0	0.0	0.0	0.8	8.0	40.0	0.0	0.0	0.03	2.8	40.0
	25年	8.4	22.0	40.0	2.0	18.0	20.0	0.0	0.0	0.06	1.2	40.0
	例年	2.1	7.1	26.7	1.1	8.9	25.3	0.0	0.0	0.27	3.0	34.7
8・1～2	26年	1.5	2.5	25.0	8.0	47.5	75.0	2.5	25.0	0.01	0.5	25.0
	25年	0.0	15.0	25.0	9.5	32.5	50.0	0.0	0.0	0.20	5.0	25.0
	例年	2.2	8.7	21.7	4.0	20.3	25.7	0.7	6.7	0.13	3.0	45.7
9・1～2	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	26.7	66.7	66.7	0.0	0.0	0.01	0.7	33.3
	例年	10.1	22.5	35.0	16.0	38.0	50.0	0.0	0.0	0.95	7.1	33.3

調査時期 (月・半旬)	年次	アザミウマ類			ハダニ類			タバコガ類		コナジラミ類		
		寄生 虫数 (頭/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場率 (%)	寄生 虫数 (頭/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場率 (%)	被害 果率 (%)	発生 ほ場率 (%)	寄生 虫数 (頭/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場率 (%)
5・1～2	26年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	—	—	0.02	1.6	20.0
	25年	0.00	0.4	20.0	0.00	0.0	0.0	—	—	0.00	0.4	20.0
	例年	0.002	0.2	8.7	0.04	1.6	15.4	—	—	0.00	0.2	9.1
6・1～2	26年	0.06	4.8	20.0	0.00	0.0	0.0	—	—	0.00	0.0	0.0
	25年	0.00	0.4	20.0	0.00	0.0	0.0	—	—	0.00	0.4	20.0
	例年	0.01	0.6	14.7	0.01	0.7	10.0	—	—	0.02	1.3	12.3
7・1～2	26年	0.02	2.0	20.0	0.22	7.6	20.0	0.0	0.0	0.02	1.2	20.0
	25年	0.04	3.2	20.0	0.00	0.0	0.0	0.4	0.0	0.02	2.4	20.0
	例年	0.02	1.7	29.3	0.03	1.4	21.3	0.1	0.0	0.03	1.8	18.7
8・1～2	26年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	25年	0.06	4.5	25.0	0.03	0.5	25.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	例年	0.02	1.2	14.0	0.04	1.8	29.7	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
9・1～2	26年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	25年	0.01	0.7	33.3	0.06	0.7	33.3	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	例年	0.00	0.1	6.7	0.06	5.1	36.7	0.2	10.0	0.00	0.0	0.0

*2 1～2 5年の平均値

(14) キャベツ

病害虫の発生状況

ア ベと病

発生を認めなかった（平年並）。

イ 黒腐病

10月に平年比多い発生を認めた。

ウ 菌核病

調査ほ場では発生を認めなかったが（平年並）、4月に周辺圃場で発生を認めた。

エ アブラムシ類

3～5月は平年比多い～やや多いで推移した。9月は平年比やや少ない、10月は平年比やや多い、11月は平年並で推移した。

オ モンシロチョウ

3、5月は発生を認めなかったが（平年並）、4月は平年比やや多かった。9月は平年並であったが、10、11月は平年比やや少なかった。

カ コナガ

3月は発生を認めず（平年並）、4月は平年並、5月は平年比やや多い発生で推移した。

9、10月は発生を認めず（平年並）、11月は平年並の発生を認めた。

キ ハスモンヨトウ

発生を認めなかった（平年並）。

ク ヨトウガ

発生を認めなかった（平年並）。

ケ ウワバ類

3月は発生を認めず（平年並）、4月は平年比多い、5月は平年並の発生であった。9月～11月は発生を認めなかった（9月は平年比少ない、10、11月は平年比やや少ない）。

表1 春キャベツにおける病害虫の発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		黒腐病		菌核病		アブラムシ類		
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (頭/10 株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
3・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	8.0	66.7
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.3	2.7	83.3
	平年	0.1	1.7	0.0	0.0	1.1	8.3	0.2	1.8	28.7
4・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	30.7	100.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	34.0	100.0
	平年	0.3	5.0	0.0	0.0	0.3	5.0	1.6	12.4	65.3
5・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	43.3	100.0
	25年	0.0	0.0	8.0	60.0	0.0	0.0	74.9	80.0	100.0
	平年	0.0	0.0	0.9	7.7	0.0	0.0	9.7	22.0	74.0

調査時期 (月・半旬)	年次	モンシロチョウ			コナガ			ウワバ類		
		幼虫数 (頭/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	幼虫・蛹数 (頭/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	幼虫数 (頭/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)
3・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	3.7	0.0	0.0	0.0
4・3～4	26年	0.1	0.7	16.7	0.2	0.7	16.7	0.1	0.7	16.7
	25年	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.3	8.3	0.3	1.8	25.7	0.0	0.0	0.0
5・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	2.7	19.3	100.0	0.1	0.7	16.7
	25年	0.2	2.4	20.0	0.2	1.6	40.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	2.4	20.0	1.3	8.8	56.3	0.1	0.6	8.7

表2 秋冬キャベツの病害虫の発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		黒腐病		菌核病		アブラムシ類		
		発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)	発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)	発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)	寄生虫数 (頭/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)
9・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	2.0	33.3
	25年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年	0.0	0.0	1.4	4.6	0.0	0.0	3.2	5.6	49.8
10・3～4	26年	0.0	0.0	0.7	16.7	0.0	0.0	9.7	10.0	83.3
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	17.0	100.0
	平年	0.0	0.0	0.1	1.7	0.0	0.0	1.5	5.1	44.8
11・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	7.3	50.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.6	6.7	33.3
	平年	5.3	11.7	10.7	30.3	0.9	12.0	9.7	6.0	42.0

調査時期 (月・半旬)	年次	モンシロチョウ			コナガ			ハスモンヨトウ			
		幼虫数 (頭/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	幼虫・蛹数 (頭/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	卵塊数 (塊/10株)	幼虫数 (頭/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)
9・3～4	26年	0.2	2.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年	0.5	4.1	29.8	0.4	2.9	20.2	0.1	1.8	2.8	29.4
10・3～4	26年	0.1	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.6	5.0	75.0	0.2	2.0	25.0	0.0	0.2	2.0	25.0
	平年	0.6	4.4	35.8	0.2	1.8	13.5	0.1	0.7	3.3	27.5
11・3～4	26年	0.4	0.0	0.0	0.5	5.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	2.1	18.7	66.7	0.1	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.4	9.2	47.3	0.7	4.9	26.7	0.0	0.2	1.6	10.0

調査時期 (月・半旬)	年次	ヨトウガ				ウワバ類		
		卵塊数 (塊/10株)	幼虫数 (頭/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	幼虫数 (頭/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)
9・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	-	-	-	-	-	-	-
	平年	0.0	0.0	0.3	6.5	0.9	6.6	34.8
10・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	25.0
	平年	0.0	0.6	1.7	25.0	0.4	3.1	29.2
11・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	6.7	33.3
	平年	0.0	0.0	0.3	5.7	0.9	5.0	37.7

(15) ダイコン

病害虫の発生状況

ア 黒斑細菌病

調査期間を通じて発生を認めなかった（平年並）。

イ 白さび病

9月、10月は発生を認めなかったが（平年並）、11月には平年並の発生を認めた。

ウ モザイク病

11月に発生を認めなかった（平年並）。

エ アブラムシ類

9月、10月は平年並、11月には平年比やや少ない発生で推移した。

オ コナガ

9月、10月は発生を認めなかったが（平年並）、11月には平年並の発生を認めた。

カ ハスモンヨトウ

調査期間を通じて発生を認めなかった（平年並）。

キ ハイマダラノメイガ

9月は平年比少ない発生であったが、10月には発生を認めず（平年比やや少ない）、11月は平年並の発生であった。

表 ダイコンにおける病害虫の発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	黒斑細菌病		白さび病		モザイク病		アブラムシ類		
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (頭/10 葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.3	2.7	66.7
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.8	8.0	66.7
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.3	2.9	36.7
10・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	20.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	3.3	0.3	1.5	20.0
11・3～4	26年	0.0	0.0	16.0	66.7	—	—	0.2	1.6	40.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.9	4.0	33.3
	平年	6.1	16.7	9.9	46.7	—	—	10.4	13.6	73.3

調査時期 (月・半旬)	年次	コナガ			ハスモンヨトウ				ハイマダラノメイガ		
		幼虫・ 蛹数 (頭/10 葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	卵塊 数 (塊/10 葉)	幼虫 数 (頭/10 葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫 数 (頭/10 葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	1.3	33.3
	平年	0.0	0.4	10.0	0.0	0.0	0.1	3.3	0.3	2.8	40.0
10・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.3	33.3	7.7	46.7	100.0
	平年	3.1	8.9	30.0	0.0	0.5	5.2	46.7	2.4	12.5	46.7
11・3～4	26年	0.2	1.6	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	20.0
	25年	0.1	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	14.7	66.7
	平年	2.1	10.5	50.0	0.0	0.1	1.3	20.0	0.9	5.9	36.7

(16) カブ

病害虫の発生状況

ア ベと病

9月は発生を認めず（平年並）、10月は平年比やや少なく、11月は平年並の発生であった。

イ 軟腐病

発生を認めなかった（平年並）。

ウ 黒斑病

9月、10月は発生を認めず（平年並）、11月は平年並の発生であった。

エ 白斑病

9月、10月は発生を認めず（平年並）、11月は平年比多く発生した。

オ 白さび病

9月は発生を認めず（平年並）、10月、11月は平年比やや多い発生であった。

カ アブラムシ類

9月は発生を認めず（平年並）、10月、11月は平年並の発生であった。

キ コナガ

9月、10月は発生を認めず（平年並）、11月は平年並の発生であった。

ク ハモグリバエ類

9月は発生を認めず（平年並）、10月は平年並、11月は平年比やや多い発生を認めた。

表 カブにおける病害虫の発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		軟腐病		黒斑病		白斑病		白さび病	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	6.5	12.5	0.0	0.0	0.3	6.3	1.0	12.5	0.0	0.0
10・3～4	26年	28.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	16.7
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	47.1	57.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	7.5	2.9	7.5
11・3～4	26年	36.0	60.0	0.0	0.0	0.8	20.0	39.2	80.0	3.2	20.0
	25年	1.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	25.0	0.0	0.0
	平年	37.9	60.0	0.1	2.5	1.2	12.5	3.3	10.0	5.0	12.5

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			コナガ			ハモグリバエ類	
		寄生 虫数 (/10 株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫・ 蛹数 (/10 株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.8	8.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	2.5	43.8	0.2	1.5	6.3	3.3	37.5
10・3～4	26年	0.0	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0	2.0	33.3
	25年	0.6	6.0	50.0	0.0	0.0	0.0	17.0	50.0
	平年	0.9	3.4	40.0	0.0	0.2	5.0	5.1	25.0
11・3～4	26年	0.2	1.6	40.0	0.1	0.8	20.0	21.6	80.0
	25年	5.4	14.0	75.0	0.0	0.0	0.0	13.0	75.0
	平年	7.2	6.2	50.0	0.2	1.7	15.7	17.5	50.0

(17) ミズナ・ミブナ
病害虫発生状況

表1 発生量の例年比較

作物名	3月	4月	5月	6月	7月	8月
ミズナ	—	並	並	やや多	多	並
ミブナ	—	多	やや少	並(-)	少	並
作物名	9月	10月	11月	全期間		
ミズナ	少	少(-)	並(-)	並		
ミブナ	やや少	やや少	多	やや少		

—:例年比較できず、(-):発生を認めず

表2 ミズナ巡回調査結果 (キスジノミハムシ) (25株調査)

調査時期 (月・半月)	年次	被害 株率 (%)	被害 葉率 (%)	平均 食痕数 (個/葉)	寄生 虫数 (頭/25株)	平均 葉数 (枚/株)	被害 ほ率 (%)
3・1～2	26年	0.0	0.0	0.00	0.0	4.0	0.0
	25年	8.0	2.6	0.04	0.0	3.8	100.0
	*平均	2.3	0.7	0.01	0.0	4.0	33.3
4・1～2	26年	1.3	0.5	0.02	0.0	4.7	33.3
	25年	0.0	0.0	0.00	0.0	7.4	0.0
	**例年	7.3	1.8	0.03	0.0	6.4	16.7
5・1～2	26年	4.0	1.0	0.01	0.0	3.7	50.0
	25年	0.0	0.0	0.00	0.0	5.9	0.0
	例年	9.1	1.8	0.03	0.0	5.8	63.3
6・1～2	26年	14.0	6.3	0.16	0.0	5.0	50.0
	25年	0.0	0.0	0.00	0.0	5.1	0.0
	例年	6.9	1.4	0.31	0.0	4.3	46.7
7・1～2	26年	42.0	15.8	0.34	0.0	4.6	50.0
	25年	4.0	0.9	0.02	0.0	5.4	50.0
	例年	22.4	7.1	0.80	0.0	4.9	76.7
8・1～2	26年	22.0	5.5	0.23	0.5	7.0	50.0
	25年	12.0	2.7	0.06	0.0	4.7	50.0
	例年	42.4	21.1	1.10	0.0	5.4	83.3
9・1～2	26年	8.0	2.1	0.07	0.0	4.4	0.0
	25年	48.0	20.6	0.69	0.0	5.9	50.0
	例年	36.8	15.3	0.93	0.4	5.3	50.0
10・1～2	26年	0.0	0.0	0.00	0.0	5.2	0.0
	25年	5.3	1.2	0.02	0.0	4.8	100.0
	例年	8.1	2.6	0.32	0.0	4.3	80.0
11・1～2	26年	0.0	0.0	0.00	0.0	3.2	0.0
	25年	20.0	16.0	0.34	0.0	5.5	100.0
	例年	4.0	3.2	0.07	0.0	4.6	20.0

*22～25年の平均値、**21～25年の平均値

表3 ミブナ巡回調査結果 (キスジノミハムシ) (25株調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	被害 株率 (%)	被害 葉率 (%)	平均 食痕数 (個/葉)	寄生 虫数 (頭/25株)	平均 葉数 (枚/株)	被害 ほ率 (%)
3・1～2	26年	0.0	0.0	0.00	0.0	4.5	0.0
	25年	0.0	0.0	0.00	0.0	5.5	0.0
	*平均	1.0	0.5	0.01	0.0	4.7	12.5
4・1～2	26年	28.0	6.0	0.09	0.0	7.3	50.0
	25年	16.0	5.2	0.08	0.0	5.0	100.0
	**例年	10.0	3.0	0.05	0.0	4.7	100.0
5・1～2	26年	10.0	4.6	0.05	0.0	3.1	100.0
	25年	8.0	1.8	0.02	0.0	4.4	50.0
	例年	28.4	10.9	0.17	0.2	4.0	60.0
6・1～2	26年	0.0	0.0	0.00	0.0	2.5	0.0
	25年	4.0	2.4	0.07	0.0	4.1	100.0
	例年	2.0	0.8	0.02	0.0	3.3	30.0
7・1～2	26年	6.0	1.5	0.03	0.0	3.6	50.0
	25年	34.0	18.0	0.52	0.0	4.4	50.0
	例年	22.4	10.8	0.70	0.2	4.0	60.0
8・1～2	26年	14.0	4.5	0.15	0.0	4.1	50.0
	25年	6.0	2.8	0.11	0.0	5.6	50.0
	例年	19.2	9.2	0.98	0.0	4.6	70.0
9・1～2	26年	8.0	2.5	0.06	0.0	3.3	100.0
	25年	34.0	17.4	0.66	1.0	3.4	100.0
	例年	26.0	12.1	0.83	0.2	4.0	80.0
10・1～2	26年	6.0	2.0	0.02	0.0	3.0	100.0
	25年	6.0	2.2	0.03	0.0	3.6	100.0
	例年	10.8	3.1	0.27	0.0	3.9	70.0
11・1～2	26年	40.0	14.1	0.26	0.0	3.6	100.0
	25年	26.0	22.0	0.39	0.0	4.0	50.0
	例年	8.8	5.2	0.09	0.0	3.8	30.0

*22～25年の平均値、**21～25年の平均値

(18) ホウレンソウ
病害虫の発生状況

ア ベと病

発生を認めなかった（平年並）。

イ アブラムシ類

4月、5月は平年並、10月は平年比やや多く、11月は発生を認めなかった（平年並）。

ウ ヨトウガ

発生を認めなかった（平年並）。

エ シロオビノメイガ

10月に平年比やや多い発生を認めたが、11月には発生を認めなかった（平年並）。

表1 ホウレンソウ病虫害の発生状況

調査時期 (月・半 旬)	年次	べと病		アブラムシ類		ヨトウガ		シロオビノ メイガ	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
4・3～4	26年	0.0	0.0	7.0	75.0	0.0	0.0	—	—
	25年	0.0	0.0	7.0	75.0	0.0	0.0	—	—
	平年	2.3	5.0	6.2	45.0	0.0	0.0	—	—
5・3～4	26年	0.0	0.0	43.0	100.0	0.0	0.0	—	—
	25年	0.0	0.0	28.0	100.0	0.0	0.0	—	—
	平年	2.3	4.3	30.9	87.4	0.1	1.4	—	—
10・3～4	26年	0.0	0.0	2.0	25.0	0.0	0.0	1.0	25.0
	25年	0.0	0.0	3.0	50.0	0.0	0.0	4.0	25.0
	平年	0.0	0.0	1.3	20.0	0.2	5.0	0.7	10.8
11・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年	0.0	0.0	1.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	2.6	31.7	0.0	0.0	0.4	10.0

(19) ネギ

病害虫の発生状況

ア さび病

発生を認めなかった（平年やや少ない～平年並）。

イ 黒斑病

調査ほ場では調査期間中に発生を認めなかったが（平年並）、調査ほ場外では4月に発生を認めた。

ウ アブラムシ類

4月は平年比多く、5月は平年比やや多い発生を認めたが、6月～11月は発生を認めなかった（平年並）。

エ シロイチモジヨトウ

発生を認めなかった（平年やや少ない～平年並）。

オ ネギハモグリバエ

4月は平年比やや多く、5月は平年比多い発生を認めたが、6月～11月は平年比少ない～平年並で推移した。

カ ネギアザミウマ

9月は平年比やや少ない発生であったが、4月～8月は平年並～平年比多く、10月、11月は平年比多く推移した。

表 ネギ病害虫の発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	さび病		黒斑病		アブラムシ類		シロイチモジヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
4・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	50.0	0.0	0.0	12.0	75.0	54.0	100.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	50.0	0.0	0.0	15.0	62.5	11.5	75.0
	平年	0.6	5.4	0.0	0.0	1.2	21.6	0.0	0.0	3.8	30.0	7.7	40.9
5・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	50.0	0.0	0.0	94.0	100.0	82.0	100.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	50.0	0.0	0.0	39.5	62.5	74.0	75.0
	平年	0.7	5.4	0.0	0.0	3.3	21.6	0.0	0.0	53.9	30.0	55.2	40.9
6・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.0	100.0	81.0	100.0
	25年	0.0	0.0	0.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	64.0	100.0	99.0	100.0
	平年	5.4	19.7	0.1	1.3	0.8	15.0	0.0	0.0	53.6	85.0	74.3	96.3
7・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.0	100.0	72.0	100.0
	25年	0.0	0.0	1.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	53.5	100.0	46.5	100.0
	平年	0.1	2.2	0.7	6.0	0.0	0.0	0.1	3.5	74.7	98.8	34.6	69.2
8・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	100.0	54.0	100.0
	25年	0.0	0.0	0.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	62.9	100.0	23.4	71.4
	平年	0.0	0.0	0.1	1.4	0.0	0.0	0.1	1.3	66.9	98.6	8.0	37.9
9・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.7	100.0	1.3	33.3
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	100.0	2.3	28.6
	平年	0.0	0.0	0.2	2.5	0.2	2.9	0.6	16.9	80.6	100.0	7.2	25.6
10・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	100.0	32.0	100.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.7	100.0	8.7	50.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.3	0.7	7.9	75.2	100.0	10.1	33.5
11・3～4	26年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	50.0	92.0	100.0
	25年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64.0	100.0	69.0	100.0
	平年	0.0	0.0	0.1	1.3	0.1	2.9	0.8	9.1	41.0	84.5	25.4	61.8

2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果

(1) 予察灯(60W・ブラックライト：BL)の調査結果

対象害虫	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年値等	H26	平年値等	H26	平年値等
ヒメトビウンカ (60W)	0	2.4	0	0.9	33	7.3
セジロウンカ (60W)	7	14.7	0	20.3	115	120.9
トビイロウンカ (60W)	4	8.3	0	10.6	3	53.7
ツマグロヨコバイ (60W)	22	116.0	3	1111.9	54	267.9
イネミズゾウムシ (60W)	84	54.4	429	173.8	184	110.9
アオクサカメムシ (60W)	0	3.3	0	3.4	1	2.4
チャバネアオカメムシ (60W)	51	37.4	20	10.5	51	52.7
チャバネアオカメムシ (BL)	315	196.1	17	31.9	449	264.1
クサギカメムシ (60W)	2	4.2	6	1.6	18	8.6
クサギカメムシ (BL)	22	21.5	5	2.7	119	45.7
イチモンジカメムシ (60W)	0	0.8	1	5.4	2	2.7
イネクロカメムシ (60W)	58	129.1	0	0.2	0	2.0
クモヘリカメムシ (60W)	0	0.2	1	3.1	2	4.8
シラホシカメムシ (60W)	0	0.6	1	0.7	0	0.9
アカヒゲホソドリカスミカメ (60W)	81	17.9	42	48.0	125	160.5
アカスジカスミカメ (60W)	3	3.3	31	104.1	280	182.7
ツマグロアオカスミカメ (60W)	3	30.4	5	13.1	15	30.9
フタオビコヤガ (60W)	28	32.4	17	38.3	144	161.3
ニカメイガ (60W)	0	0.4	3	0.3	2	2.3
コナガ (60W)	32	18.6	40	81.7	16	35.3
シロオビノメイガ (60W)	1	2.4	1	13.2	9	24.8
ドウガネブイブイ (BL)	399	376.1	91	77.9	387	529.3
クロコガネ (BL)	32	69.9	17	15.2	22	26.7
ヒメコガネ (BL)	4,564	3738.2	28	22.4	1,109	1536.2
アカビロウドコガネ(BL)	89	82.6	26	13.9	82	24.6

注: 数字は調査期間内(4~10月)の総誘殺数(頭)

:平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

ヒメビウソウカ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	1	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.3
4	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.3
6	0	0.1	0	0.0	0	0.2
8・1	0	0.4	0	0.0	0	2.5
2	0	0.2	0	0.0	0	0.2
3	0	0.1	0	0.1	20	0.1
4	0	0.2	0	0.0	9	0.3
5	0	0.6	0	0.2	1	0.8
6	0	0.0	0	0.2	1	1.1
9・1	0	0.2	0	0.1	1	0.1
2	0	0.3	0	0.1	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.4
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.1	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	2.4	0	0.9	33	7.3

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

セジロウソウカ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.2	0	0.5	0	0.0
5	0	0.5	0	0.3	0	0.0
6	0	0.0	0	1.1	0	1.7
7・1	0	0.9	0	1.9	0	3.7
2	2	0.2	0	0.3	1	1.2
3	2	0.5	0	0.9	20	2.2
4	0	0.2	0	0.8	0	1.6
5	0	0.9	0	2.2	0	10.9
6	0	1.3	0	1.2	0	2.2
8・1	0	1.3	0	1.1	0	7.1
2	1	0.8	0	0.9	5	3.1
3	0	0.5	0	2.7	14	14.3
4	1	0.4	0	1.7	30	1.8
5	0	2.5	0	1.3	1	11.2
6	0	2.7	0	0.7	38	20.7
9・1	1	0.5	0	0.7	3	4.5
2	0	0.0	0	0.6	2	5.5
3	0	0.3	0	0.2	0	8.5
4	0	0.2	0	0.3	0	6.9
5	0	0.5	0	0.4	1	4.7
6	0	0.0	0	0.2	0	3.6
10・1	0	0.1	0	0.2	0	2.4
2	0	0.0	0	0.1	0	1.5
3	0	0.1	0	0.0	0	0.8
4	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.1	0	0.0	0	0.3
計	7	14.7	0	20.3	115	120.9

トビロウソウカ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	2	0.1
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.2	0	0.2	0	0.0
5	0	0.3	0	0.4	0	0.9
6	0	0.8	0	0.3	0	1.1
9・1	0	0.1	0	0.2	1	1.0
2	2	0.3	0	0.3	0	0.5
3	2	2.1	0	1.2	0	7.7
4	0	0.2	0	1.0	0	9.5
5	0	2.1	0	1.1	0	6.4
6	0	0.1	0	0.8	0	9.3
10・1	0	0.2	0	2.4	0	7.3
2	0	0.7	0	2.8	0	4.5
3	0	0.6	0	0.4	0	3.6
4	0	0.4	0	0.0	0	1.2
5	0	0.1	0	0.0	0	0.5
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	4	8.3	0	10.6	3	53.7

ツマグロヨコバイ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.2	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.3	0	0.0
2	7	0.0	0	0.1	0	0.2
3	3	0.3	0	0.2	0	4.2
4	0	0.2	0	0.6	0	1.4
5	0	0.2	0	0.8	0	1.0
6	0	0.2	0	3.2	0	5.6
7・1	0	0.2	0	3.1	0	11.6
2	0	0.6	1	3.5	0	16.1
3	0	1.6	1	1.5	1	5.4
4	1	2.9	0	2.4	4	7.3
5	2	4.7	1	5.1	9	5.6
6	1	6.6	0	3.3	15	15.9
8・1	1	7.0	0	2.6	6	79.5
2	0	5.0	0	1.8	4	9.4
3	2	5.1	0	1.1	6	2.1
4	2	4.6	0	0.5	1	0.8
5	1	3.8	0	0.3	0	0.4
6	1	5.9	0	1.3	2	1.0
9・1	0	12.1	0	6.0	0	6.4
2	1	15.8	0	25.4	3	67.1
3	0	20.1	0	496.7	3	14.8
4	0	9.7	0	543.6	0	10.5
5	0	8.4	0	5.8	0	1.2
6	0	0.3	0	1.1	0	0.1
10・1	0	0.2	0	0.3	0	0.0
2	0	0.2	0	0.4	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.3	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
計	22	116.0	3	1111.9	54	267.9

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

イネミズゾウムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	1.3	0	1.3
5・1	0	0.0	0	6.3	1	4.3
2	0	0.0	5	17.2	0	8.0
3	0	0.0	12	3.8	29	1.1
4	0	0.2	2	16.0	0	13.3
5	0	1.1	6	12.5	2	2.2
6	1	0.6	8	7.6	0	12.1
6・1	2	0.5	11	2.0	24	2.2
2	2	0.2	2	1.9	14	1.7
3	0	0.7	0	0.5	1	2.7
4	1	0.3	2	0.3	6	1.0
5	0	0.8	2	0.0	5	1.9
6	0	0.0	0	0.4	4	4.2
7・1	0	0.1	1	0.5	3	2.0
2	0	0.3	2	0.7	3	5.0
3	2	0.1	4	2.2	2	2.0
4	1	2.8	35	19.2	9	6.3
5	22	10.8	88	21.2	2	14.5
6	23	9.8	61	26.6	0	12.1
8・1	13	6.2	56	17.7	2	9.7
2	12	6.2	62	5.8	59	1.5
3	1	4.9	44	5.5	10	0.3
4	3	6.9	20	2.5	8	0.6
5	1	1.1	4	0.8	0	0.6
6	0	0.7	0	0.6	0	0.0
9・1	0	0.0	2	0.2	0	0.1
2	0	0.1	0	0.1	0	0.1
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	84	54.4	429	173.8	184	110.9

アオクサカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.3	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.2	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.2	0	0.0	0	0.0
2	0	0.3	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.4	0	0.0
4	0	0.1	0	0.2	0	0.0
5	0	0.3	0	0.1	0	0.2
6	0	0.5	0	0.3	0	0.1
8・1	0	0.3	0	0.3	0	0.0
2	0	0.2	0	0.0	0	0.3
3	0	0.3	0	0.2	0	0.3
4	0	0.0	0	0.2	0	0.3
5	0	0.0	0	0.2	1	0.4
6	0	0.0	0	0.2	0	0.2
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.2	0	0.1
4	0	0.0	0	0.1	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.3	0	0.1	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.3	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	3.3	0	3.4	1	2.4

チャバネアオカメムシ(予察灯60W・BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市(60W)		京田辺市(BL)		亀岡市(60W)		亀岡市(BL)		京丹後市(60W)		京丹後市(BL)	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.2	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.1	1	1.8
2	0	0.0	0	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	3.1
3	0	0.4	3	0.4	0	0.8	0	0.1	2	0.1	4	1.3
4	0	0.3	1	0.7	0	0.1	0	0.0	0	1.2	0	12.2
5	1	2.2	8	6.2	0	0.6	1	0.2	3	0.7	3	2.2
6	2	0.2	27	3.4	0	0.5	1	0.2	1	0.2	3	3.2
6・1	0	0.0	13	1.5	0	0.0	1	0.1	0	0.3	10	0.8
2	0	0.3	4	1.8	0	0.0	0	0.0	0	0.4	1	0.9
3	0	0.3	0	1.1	0	0.0	0	0.1	0	0.5	0	2.2
4	0	0.8	1	8.7	0	0.0	0	0.2	0	1.5	0	17.8
5	3	1.7	11	8.0	0	0.2	0	0.4	0	2.0	1	4.8
6	4	1.3	15	6.9	0	1.0	0	0.5	3	2.0	10	9.3
7・1	6	1.5	27	11.2	1	0.3	0	0.6	6	3.3	14	7.3
2	9	4.2	68	18.7	1	0.2	1	0.8	7	1.5	50	14.4
3	8	1.7	29	27.4	0	0.0	0	1.0	1	7.9	10	21.3
4	7	10.5	30	31.4	1	0.8	0	2.7	4	3.3	38	11.3
5	0	2.0	33	27.1	0	0.2	1	1.4	3	2.8	16	16.6
6	6	1.5	19	16.8	0	0.3	1	6.6	2	2.0	49	15.9
8・1	2	1.7	16	5.7	1	0.3	1	2.5	1	5.1	57	27.4
2	2	2.5	3	7.5	2	0.5	4	4.6	0	3.0	22	18.1
3	0	1.6	4	3.9	4	0.7	0	2.8	5	7.8	26	14.2
4	1	1.9	1	2.2	5	1.6	3	2.6	4	1.7	44	13.6
5	0	0.2	1	1.1	3	0.4	0	0.5	6	0.7	23	5.7
6	0	0.3	0	0.6	2	0.8	0	0.8	1	1.5	10	10.9
9・1	0	0.0	0	0.3	0	0.7	2	0.6	2	0.7	29	10.9
2	0	0.1	0	0.7	0	0.3	1	1.3	0	0.5	8	5.3
3	0	0.0	0	1.0	0	0.0	0	0.4	0	0.4	2	4.4
4	0	0.0	0	1.1	0	0.1	0	0.3	0	0.8	1	4.2
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.2	0	0.2	8	1.4
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.1	0	0.1	5	0.7
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2	0	0.1	3	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.2	0	0.6
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	51	37.4	315	196.1	20	10.5	17	31.9	51	52.7	449	264.1

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

クサギカメムシ(予察灯60W・BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市(60W)		京田辺市(BL)		亀岡市(60W)		亀岡市(BL)		京丹後市(60W)		京丹後市(BL)	
	H26	平年	H26	例年	H26	平年	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.5	0	1.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	1	0.0
6・1	0	0.1	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.2
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3
4	0	0.2	0	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.1	0	0.2	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.1
6	1	0.3	0	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	1	0.8
7・1	0	0.1	2	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.4	1	0.5
2	0	0.1	2	1.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	14	1.3
3	0	1.0	3	2.5	0	0.0	0	0.3	0	0.5	1	4.1
4	0	0.5	1	3.3	0	0.4	0	0.1	0	0.8	4	2.2
5	0	0.4	1	1.8	1	0.0	1	0.0	2	0.5	12	2.2
6	0	0.2	1	3.1	0	0.1	0	0.3	3	0.9	10	5.2
8・1	0	0.5	1	1.8	1	0.2	2	0.5	4	1.1	32	5.3
2	0	0.0	0	1.1	2	0.2	0	0.7	2	1.2	15	3.4
3	0	0.3	1	1.4	0	0.1	0	0.1	3	0.5	12	4.2
4	1	0.2	6	1.1	2	0.4	0	0.1	2	0.3	10	3.2
5	0	0.1	1	0.8	0	0.0	0	0.1	2	0.4	3	2.4
6	0	0.0	0	0.5	0	0.0	1	0.3	0	0.7	1	4.6
9・1	0	0.0	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.2	1	2.0
2	0	0.1	0	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.6
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.3	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	2	4.2	22	21.5	6	1.6	5	2.7	18	8.6	119	45.7

イチモンジカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.2	0	0.1	0	0.0
6	0	0.1	0	0.3	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.2	0	0.0
2	0	0.0	0	0.3	0	0.2
3	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.6	0	0.2
5	0	0.0	1	0.2	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.2
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	1	0.3
3	0	0.0	0	0.2	0	0.2
4	0	0.0	0	0.2	1	0.1
5	0	0.0	0	0.1	0	0.4
6	0	0.0	0	0.7	0	0.1
9・1	0	0.0	0	0.6	0	0.0
2	0	0.1	0	0.3	0	0.1
3	0	0.3	0	0.5	0	0.1
4	0	0.0	0	0.3	0	0.3
5	0	0.1	0	0.1	0	0.1
6	0	0.0	0	0.3	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.8	1	5.4	2	2.7

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

イネクロカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	2	0.6	0	0.0	0	0.0
6	4	3.0	0	0.0	0	0.0
6・1	4	3.0	0	0.0	0	0.0
2	23	8.9	0	0.0	0	0.4
3	5	11.7	0	0.0	0	0.2
4	7	8.8	0	0.1	0	0.1
5	0	9.8	0	0.0	0	0.1
6	3	4.0	0	0.1	0	0.2
7・1	1	3.4	0	0.0	0	0.1
2	2	2.0	0	0.0	0	0.0
3	0	1.4	0	0.0	0	0.0
4	0	3.0	0	0.0	0	0.0
5	2	3.9	0	0.0	0	0.1
6	0	4.7	0	0.0	0	0.1
8・1	1	3.2	0	0.0	0	0.2
2	0	4.3	0	0.0	0	0.2
3	1	2.1	0	0.0	0	0.1
4	0	1.4	0	0.0	0	0.2
5	0	0.4	0	0.0	0	0.0
6	1	4.6	0	0.0	0	0.0
9・1	0	5.8	0	0.0	0	0.0
2	0	6.7	0	0.0	0	0.0
3	0	11.8	0	0.0	0	0.0
4	0	13.1	0	0.0	0	0.0
5	0	4.9	0	0.0	0	0.0
6	0	1.6	0	0.0	0	0.0
10・1	2	0.5	0	0.0	0	0.0
2	0	0.2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	58	129.1	0	0.2	0	2.0

クモヘリカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.3	0	0.1
4	0	0.0	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.1	0	0.1
8・1	0	0.0	0	0.1	0	0.3
2	0	0.0	0	0.3	1	0.8
3	0	0.0	0	0.4	1	0.9
4	0	0.0	1	0.3	0	0.6
5	0	0.0	0	0.1	0	0.1
6	0	0.1	0	0.1	0	0.4
9・1	0	0.0	0	0.4	0	0.2
2	0	0.0	0	0.2	0	0.2
3	0	0.0	0	0.1	0	0.2
4	0	0.0	0	0.2	0	0.4
5	0	0.0	0	0.3	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.2	1	3.1	2	4.8

シラホシカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	1	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.1
5	0	0.3	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.4
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.6	1	0.7	0	0.9

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

アカヒゲホソドリカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.6
3	0	0.0	0	0.5	1	0.0
4	0	0.0	0	0.2	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.6
6	3	0.0	0	0.0	0	0.3
6・1	2	0.1	0	0.0	1	0.2
2	27	0.2	7	0.8	5	2.5
3	13	0.3	10	2.6	5	6.8
4	12	0.8	4	6.9	6	17.3
5	7	1.4	5	6.9	11	23.5
6	0	1.0	4	5.5	7	32.7
7・1	1	1.8	1	5.3	8	16.4
2	0	3.8	2	7.2	5	12.3
3	5	2.9	2	4.3	12	10.8
4	3	2.0	3	2.2	6	10.0
5	3	0.8	3	1.8	13	5.3
6	1	0.6	1	0.1	15	2.5
8・1	3	0.5	0	0.0	2	2.3
2	0	0.4	0	0.0	13	1.4
3	0	0.1	0	0.1	7	1.1
4	0	0.0	0	1.0	4	1.4
5	1	0.0	0	0.3	1	1.3
6	0	0.3	0	0.6	2	1.8
9・1	0	0.0	0	0.3	1	1.3
2	0	0.0	0	0.4	0	1.2
3	0	0.2	0	0.2	0	1.5
4	0	0.0	0	0.0	0	1.7
5	0	0.0	0	0.3	0	0.8
6	0	0.1	0	0.0	0	0.6
10・1	0	0.2	0	0.0	0	0.6
2	0	0.1	0	0.0	0	0.7
3	0	0.2	0	0.2	0	0.5
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.1	0	0.2	0	0.1
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
計	81	17.9	42	48.0	125	160.5

アカスジカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	1	0.0	0	0.7	0	0.0
4	0	0.0	0	0.7	0	0.1
5	0	0.0	0	1.3	1	0.6
6	0	0.0	0	2.1	2	2.7
6・1	0	0.0	1	1.2	15	3.3
2	0	0.0	7	1.9	6	4.9
3	0	0.2	2	1.4	1	4.3
4	0	0.1	2	6.3	5	7.0
5	0	0.0	1	4.8	5	12.9
6	0	0.2	2	10.7	21	26.5
7・1	0	0.2	2	8.5	27	21.5
2	0	0.2	5	8.7	27	19.8
3	0	0.4	1	4.4	10	11.3
4	0	0.1	0	2.9	4	7.9
5	1	0.1	1	1.7	26	5.0
6	0	0.6	1	1.3	30	6.1
8・1	0	0.4	1	1.7	36	5.2
2	0	0.1	0	1.0	29	4.8
3	1	0.1	0	2.1	11	2.6
4	0	0.1	2	4.1	5	4.8
5	0	0.0	0	4.0	8	3.3
6	0	0.0	0	4.2	5	3.5
9・1	0	0.0	1	3.7	5	3.4
2	0	0.0	0	5.6	0	3.4
3	0	0.1	0	5.7	1	4.8
4	0	0.1	0	6.2	0	3.8
5	0	0.1	0	3.5	0	2.3
6	0	0.2	1	0.7	0	2.0
10・1	0	0.0	1	1.6	0	2.3
2	0	0.0	0	1.2	0	1.4
3	0	0.0	0	0.1	0	0.9
4	0	0.0	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.2	0	0.2
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
計	3	3.3	31	104.1	280	182.7

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

ツマグロアオカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.1	0	0.0
5	0	0.3	0	0.3	0	0.5
6	0	0.0	0	0.6	0	0.8
6・1	0	0.0	1	0.5	1	1.3
2	0	0.1	1	0.2	7	1.3
3	0	0.0	1	0.7	0	0.8
4	0	0.1	0	0.1	1	1.2
5	0	0.0	0	0.4	1	1.6
6	0	0.2	0	0.5	3	1.4
7・1	0	0.1	0	0.9	0	1.0
2	0	0.5	0	0.4	0	2.2
3	0	0.1	0	0.4	0	1.4
4	0	0.1	0	0.2	0	2.1
5	0	0.3	0	0.1	0	1.9
6	0	0.2	0	0.2	0	1.8
8・1	0	0.1	0	0.2	0	1.0
2	0	0.1	0	0.2	0	0.2
3	0	0.1	0	0.0	1	0.4
4	0	0.3	1	0.3	0	0.2
5	0	0.4	0	0.0	0	0.4
6	0	0.7	0	0.1	0	0.6
9・1	0	1.1	0	0.5	0	0.3
2	0	2.5	0	0.8	0	0.5
3	0	2.8	0	0.4	0	0.4
4	0	2.5	0	0.6	1	0.5
5	0	4.2	0	0.6	0	1.3
6	0	0.9	0	0.1	0	0.6
10・1	0	3.0	0	0.6	0	0.9
2	0	1.8	0	0.8	0	0.7
3	1	1.4	0	0.9	0	0.8
4	0	1.7	0	0.7	0	0.7
5	0	2.9	0	0.8	0	0.6
6	2	1.8	1	0.4	0	1.5
計	3	30.4	5	13.1	15	30.9

フタオビコヤガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.1
3	0	0.1	0	0.3	1	0.0
4	0	0.1	0	0.2	0	0.0
5	0	0.2	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	1	0.0	0	0.0
6・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	6	0.0	0	0.0	2	0.0
4	3	0.0	0	0.1	0	0.4
5	2	0.1	0	0.2	1	1.2
6	1	0.0	0	0.1	0	1.6
7・1	0	0.1	0	0.3	0	0.6
2	0	0.2	0	0.7	0	0.5
3	0	0.7	0	1.7	0	3.4
4	0	0.7	0	3.1	0	7.6
5	0	1.3	1	4.8	0	10.4
6	0	2.2	1	3.3	0	9.3
8・1	1	2.8	0	3.6	0	8.1
2	1	5.5	0	2.5	2	14.4
3	0	4.5	3	4.6	23	21.3
4	3	4.8	6	6.1	7	27.2
5	3	5.4	3	3.2	33	23.9
6	6	2.3	1	2.6	51	19.6
9・1	0	1.1	1	0.5	16	8.3
2	0	0.1	0	0.1	4	1.8
3	0	0.1	0	0.0	2	0.8
4	0	0.0	0	0.0	0	0.3
5	0	0.0	0	0.0	1	0.2
6	2	0.0	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	1	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	28	32.4	17	38.3	144	161.3

ニカメイガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	1	0.0	0	0.0
4	0	0.0	1	0.0	0	1.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.3
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	2	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
7・1	0	0.0	1	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.2
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.4	3	0.3	2	2.3

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

コナガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.2	1	0.0
2	0	0.2	0	0.2	0	0.1
3	0	0.1	0	0.8	0	0.3
4	0	0.0	0	0.4	0	0.5
5	0	0.1	0	0.5	0	0.4
6	1	0.4	0	0.3	0	0.5
5・1	0	0.7	0	1.0	0	0.1
2	0	1.8	0	2.0	0	0.4
3	0	1.2	1	2.0	0	1.7
4	0	2.4	1	5.2	0	1.1
5	0	1.0	1	5.6	0	1.6
6	4	1.3	1	3.6	0	1.4
6・1	0	1.0	2	2.0	2	1.3
2	4	0.8	2	1.7	2	1.1
3	7	0.9	1	1.7	2	2.7
4	4	1.0	1	6.8	0	2.5
5	2	0.7	1	6.8	2	2.7
6	0	0.8	3	10.0	4	2.5
7・1	1	0.8	4	7.5	0	3.2
2	1	0.1	7	7.4	2	2.0
3	0	0.2	7	4.5	1	0.8
4	0	0.2	4	3.6	0	2.0
5	0	0.2	2	1.8	0	0.4
6	0	0.4	0	1.3	0	0.9
8・1	0	0.1	0	0.9	0	0.6
2	2	0.5	1	0.5	0	0.2
3	0	0.2	0	0.1	0	0.5
4	5	0.5	1	0.8	0	0.4
5	0	0.5	0	0.6	0	0.1
6	0	0.1	0	0.5	0	0.3
9・1	0	0.1	0	0.1	0	0.1
2	0	0.0	0	0.3	0	0.0
3	1	0.0	0	0.1	0	0.4
4	0	0.1	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.1	0	0.4
6	0	0.1	0	0.2	0	0.7
10・1	0	0.1	0	0.1	0	0.2
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.4
4	0	0.0	0	0.3	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.4
6	0	0.0	0	0.0	0	0.2
計	32	18.6	40	81.7	16	35.3

シロオビノメイガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.3	0	0.2
6	0	0.1	1	0.2	0	0.2
8・1	0	0.1	0	0.1	0	0.1
2	0	0.0	0	0.1	0	0.4
3	0	0.2	0	0.7	0	0.8
4	0	0.3	0	0.3	0	0.6
5	0	0.3	0	0.7	1	0.8
6	1	0.4	0	0.7	2	0.6
9・1	0	0.1	0	0.2	0	0.6
2	0	0.1	0	1.0	0	1.4
3	0	0.1	0	1.3	1	2.0
4	0	0.1	0	2.4	2	2.4
5	0	0.0	0	0.9	0	3.1
6	0	0.2	0	0.2	1	3.2
10・1	0	0.1	0	0.8	1	2.6
2	0	0.0	0	1.1	0	2.9
3	0	0.1	0	0.8	0	0.7
4	0	0.1	0	0.8	1	0.6
5	0	0.0	0	0.8	0	0.4
6	0	0.0	0	0.3	0	0.6
計	1	2.4	1	13.2	9	24.8

ドウガネブイブイ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	2	0.7	0	0.0	1	0.0
6・1	4	1.8	0	0.3	5	0.0
2	7	3.9	0	0.5	3	0.6
3	12	7.3	0	0.6	4	2.3
4	10	10.4	6	1.0	4	6.8
5	11	14.7	8	1.7	4	12.9
6	21	22.5	10	4.2	40	23.1
7・1	24	19.8	4	3.2	16	29.3
2	33	35.3	5	8.0	52	50.2
3	40	33.6	11	4.8	30	54.8
4	61	43.3	8	6.2	36	51.4
5	47	36.0	9	7.8	38	47.2
6	33	36.8	7	8.7	38	49.0
8・1	24	27.8	6	7.3	24	44.7
2	12	23.6	2	7.0	20	47.2
3	11	15.0	6	4.9	31	30.4
4	30	13.8	4	4.4	21	30.5
5	11	9.8	2	1.9	9	14.4
6	5	10.4	1	1.4	7	18.0
9・1	0	3.3	1	2.3	4	8.0
2	0	3.6	1	0.9	0	4.1
3	0	1.2	0	0.5	0	2.2
4	0	0.9	0	0.1	0	1.4
5	1	0.3	0	0.0	0	0.4
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.2	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	399	376.1	91	77.9	387	529.3

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

クロコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.1
2	0	0.0	0	0.3	0	0.3
3	0	0.0	2	0.0	0	0.5
4	0	0.0	0	1.2	0	2.7
5	0	0.2	1	1.1	1	2.5
6	1	0.1	6	0.5	1	1.1
6・1	2	0.3	0	0.3	2	2.3
2	2	2.0	2	0.5	1	2.0
3	2	1.8	2	0.3	0	1.7
4	2	3.9	1	0.6	0	0.9
5	0	5.8	1	0.8	0	1.5
6	6	6.0	0	1.3	3	1.8
7・1	3	4.8	0	1.6	5	1.5
2	6	3.9	0	0.9	4	1.5
3	3	6.0	0	1.9	1	1.0
4	1	4.3	2	0.8	0	0.6
5	0	2.8	0	1.4	1	0.7
6	0	15.9	0	0.6	2	0.5
8・1	0	1.7	0	0.2	0	0.4
2	0	2.6	0	0.1	0	0.8
3	2	1.9	0	0.3	0	0.2
4	1	0.4	0	0.0	0	1.1
5	1	2.0	0	0.0	1	0.1
6	0	0.9	0	0.1	0	0.2
9・1	0	1.2	0	0.1	0	0.6
2	0	1.1	0	0.0	0	0.1
3	0	0.1	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	32	69.9	17	15.2	22	26.7

ヒメコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	1	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.9	0	0.0	0	0.1
6・1	2	0.2	0	0.0	4	0.0
2	8	0.8	0	0.0	18	0.1
3	5	4.4	0	0.0	2	0.2
4	7	8.9	0	0.0	0	3.5
5	57	24.8	3	0.3	2	9.5
6	80	46.2	1	0.7	25	22.5
7・1	148	54.9	2	0.6	25	46.1
2	252	98.9	3	1.9	88	98.0
3	288	161.2	4	1.9	128	173.6
4	291	235.4	3	2.3	178	221.0
5	496	305.2	3	3.3	183	229.7
6	448	473.9	4	3.0	181	248.6
8・1	542	435.4	1	2.6	76	178.5
2	281	471.0	1	1.9	60	135.7
3	326	369.6	2	1.4	56	82.5
4	548	307.5	1	0.9	60	44.2
5	409	267.4	0	0.6	17	22.7
6	252	201.5	0	0.3	4	15.1
9・1	44	114.2	0	0.4	1	4.0
2	44	73.4	0	0.1	1	0.3
3	25	52.2	0	0.0	0	0.2
4	6	19.1	0	0.0	0	0.0
5	4	8.2	0	0.2	0	0.0
6	0	2.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.8	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	4,564	3,738	28	22.4	1,109	1,536

アカビロウドコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	1	0.0	0	0.1	0	0.0
3	1	0.0	0	0.0	0	0.5
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.2	0	0.2	0	0.3
6	0	0.0	0	0.0	0	0.4
6・1	0	0.1	0	0.0	4	0.7
2	2	1.0	0	0.1	1	0.4
3	1	0.4	0	0.2	0	0.2
4	2	3.1	0	0.0	0	1.4
5	3	3.1	1	0.9	2	0.5
6	7	5.1	3	1.2	11	1.5
7・1	6	4.7	3	1.3	8	2.3
2	17	8.8	8	1.2	12	2.5
3	8	12.1	1	2.7	15	2.8
4	9	7.9	1	1.2	5	3.9
5	3	7.1	2	1.1	11	1.2
6	8	6.5	0	0.9	4	2.9
8・1	4	5.4	0	0.7	1	0.9
2	1	2.8	0	0.2	1	0.3
3	0	2.9	2	0.1	0	0.2
4	2	1.7	1	0.3	3	0.5
5	1	1.6	4	0.0	0	0.3
6	0	3.6	0	0.4	2	0.3
9・1	1	1.0	0	0.4	1	0.1
2	0	0.6	0	0.1	0	0.0
3	2	0.5	0	0.1	0	0.2
4	0	0.9	0	0.0	0	0.1
5	6	0.9	0	0.1	1	0.0
6	4	0.3	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.2	0	0.0	0	0.1
2	0	0.1	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	89	82.6	26	13.9	82	24.6

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

(2) 誘引剤トラップの調査結果

	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
チャバネアオカメムシ	129.8	64.5	399.9	157.7	67.6	132.1
コナガ	—	—	210.5	567.2	19.7	211.2
ハスモンヨトウ	686.1	1808.0	1042.3	2525.7	439.0	1379.6
タバコガ	64.5	31.2	39.2	73.3	3.0	59.8
オオタバコガ	56.2	33.6	228.5	332.2	3.0	14.5

* 5月～10月の総誘殺数、コナガは4月～10月の総誘殺数。

* 平成22年に亀岡市のハスモンヨトウのフェロモントラップの種類及び設置場所を変更した。

	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
チャノコカクモンハマキ	1746.0	4591.2	4950.7	3295.8	106.9	—
チャノホソガ	4292.0	12348.7	4760.4	9384.3	1394.2	—

* 4月～10月の総誘殺数。

* 平成26年に京丹後市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

チャバネアオカメムシ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
5・1	0.0	0.1	0.0	0.6	1.4	0.2
2	0.6	0.2	0.0	1.4	0.9	0.1
3	0.7	0.1	0.0	1.7	1.0	1.6
4	0.7	0.4	3.6	1.5	1.4	2.1
5	0.0	1.2	8.0	2.5	1.4	1.2
6	3.4	0.8	14.0	1.0	1.7	1.9
6・1	2.9	0.9	12.3	1.2	0.9	1.0
2	0.7	0.1	2.1	1.7	0.0	0.5
3	0.0	0.8	3.6	0.9	0.0	1.5
4	0.4	2.8	2.3	1.5	0.0	2.8
5	1.9	2.9	2.4	2.2	0.7	2.0
6	6.4	1.7	6.4	3.9	3.6	2.0
7・1	21.3	5.7	18.4	4.5	5.3	3.3
2	22.0	6.6	18.9	8.1	6.4	5.4
3	27.5	5.4	30.8	7.7	7.5	6.2
4	16.9	5.1	26.7	7.4	6.1	12.3
5	9.4	3.7	27.1	14.3	3.7	6.7
6	3.1	5.8	31.0	14.1	1.4	12.8
8・1	5.0	3.6	8.6	16.5	3.6	13.4
2	2.1	6.1	24.0	14.9	2.4	11.6
3	0.9	5.5	34.4	12.7	2.1	8.8
4	0.0	3.0	44.3	11.3	2.1	10.6
5	0.8	1.4	30.0	9.6	3.3	10.8
6	0.9	0.6	21.0	4.4	2.8	5.0
9・1	0.3	0.1	9.9	3.0	3.0	2.8
2	0.1	0.0	5.9	2.3	3.0	1.4
3	0.7	0.0	3.6	0.8	0.7	1.4
4	0.1	0.0	3.6	0.9	0.1	0.8
5	0.0	0.0	3.3	0.7	0.0	0.4
6	0.0	0.0	2.9	0.4	0.0	0.4
10・1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.2
2	0.4	0.0	0.4	0.6	0.0	0.1
3	0.6	0.0	0.6	0.9	0.1	0.2
4	0.0	0.0	0.0	1.2	0.7	0.3
5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1	0.3
6	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.3
11・1	0.0	—	0.0	—	0.0	—
2	0.0	—	0.0	—	0.0	—
3	0.0	—	0.0	—	0.0	—
4	0.0	—	0.0	—	0.0	—
5	0.0	—	0.0	—	0.0	—
6	0.0	—	0.0	—	0.0	—
5～10月計	129.8	64.5	399.9	157.7	67.6	132.1

平成16年に京田辺市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

コナガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年
4・1	2.1	6.3	0.4	6.1
2	3.4	8.5	0.6	7.2
3	3.0	6.2	1.4	8.8
4	4.0	4.7	1.4	7.6
5	1.4	4.1	0.6	9.3
6	0.6	6.9	0.1	14.1
5・1	3.2	5.5	0.7	12.1
2	1.4	12.5	1.9	13.2
3	1.4	14.5	1.9	15.8
4	7.7	39.0	1.4	15.2
5	8.5	46.1	2.1	16.2
6	13.2	40.0	0.9	17.1
6・1	15.0	30.5	0.0	7.3
2	13.6	37.4	0.0	6.6
3	11.4	36.6	1.4	4.8
4	9.3	52.5	0.6	5.9
5	7.6	39.5	0.0	5.2
6	6.4	27.0	0.0	6.0
7・1	18.4	28.5	0.0	3.5
2	26.9	19.6	0.0	2.2
3	14.2	9.0	0.0	1.6
4	8.5	5.6	0.0	0.9
5	4.6	5.5	0.0	1.0
6	1.6	5.7	0.1	1.0
8・1	4.3	3.6	0.7	0.4
2	0.9	3.0	0.1	0.5
3	0.0	5.2	0.3	0.6
4	0.0	4.7	0.7	0.5
5	0.0	2.2	0.0	0.6
6	0.7	1.0	0.0	0.6
9・1	0.3	1.5	0.0	0.5
2	0.1	2.0	0.0	0.4
3	0.7	1.7	0.0	0.6
4	1.3	1.2	0.0	0.6
5	2.0	1.6	0.3	0.9
6	2.9	3.1	0.7	1.2
10・1	0.7	2.2	0.7	2.2
2	1.1	1.3	0.3	2.3
3	2.0	2.0	0.0	1.7
4	4.3	2.7	0.0	2.5
5	0.9	2.1	0.0	2.7
6	0.9	1.6	0.4	3.6
11・1	1.4	—	0.6	2.2
2	1.4	—	0.0	3.2
3	0.3	—	0.6	3.4
4	0.3	—	0.4	4.5
5	0.7	—	0.0	4.1
6	0.8	—	1.4	5.1
4～10月計	210.5	567.2	19.7	211.2

ハスモンヨトウ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年(参考)	H26	平年
4・1	0.0	—	0.0	—	0.0	—
2	0.0	—	0.0	—	0.0	—
3	0.0	—	0.0	—	0.0	—
4	0.0	—	1.0	—	0.0	—
5	0.4	—	0.7	—	0.0	—
6	1.0	—	0.3	—	0.0	—
5・1	2.1	2.4	0.8	0.1	0.0	0.6
2	1.6	2.2	0.8	1.7	0.0	1.1
3	1.4	2.0	0.4	1.7	0.0	1.3
4	1.4	3.7	0.8	1.6	0.0	2.0
5	0.7	4.2	4.0	7.6	1.4	3.1
6	1.4	6.7	4.0	7.3	0.6	4.3
6・1	3.1	5.9	3.2	4.4	1.1	4.3
2	5.7	6.4	5.0	5.3	2.9	5.1
3	6.4	9.0	7.1	9.5	16.4	4.9
4	3.9	12.8	4.6	17.7	10.0	6.7
5	1.7	15.2	2.9	7.9	4.6	11.6
6	0.0	19.7	2.9	7.4	0.0	23.1
7・1	0.0	22.4	6.3	9.7	6.3	26.6
2	3.0	22.3	9.3	18.5	14.0	26.5
3	7.5	24.1	20.0	23.2	23.1	27.4
4	18.1	30.0	24.0	35.8	18.9	30.3
5	25.9	28.5	26.7	39.7	10.7	27.4
6	37.3	46.1	34.1	45.1	0.0	34.3
8・1	18.6	37.4	24.3	31.0	0.0	39.1
2	15.1	36.5	34.0	34.6	16.0	31.0
3	12.6	33.1	33.9	39.6	18.0	36.4
4	10.0	38.8	30.0	36.9	15.0	47.4
5	20.8	62.8	34.2	76.3	27.5	52.0
6	29.2	76.4	27.5	107.1	26.2	56.4
9・1	20.3	86.0	42.6	98.5	12.6	45.8
2	18.1	83.5	59.6	129.0	9.1	56.7
3	22.1	79.0	69.3	141.4	17.1	68.9
4	21.6	88.1	65.9	174.4	9.1	83.3
5	18.9	91.5	71.3	239.5	14.9	85.2
6	15.0	104.3	80.7	203.9	26.4	81.4
10・1	37.1	106.2	53.6	145.0	35.7	87.9
2	57.7	111.6	54.4	143.2	34.4	79.1
3	67.9	122.4	54.4	207.6	29.4	82.4
4	53.6	125.6	52.1	208.7	12.9	66.7
5	50.1	107.4	43.6	122.0	10.6	62.2
6	76.3	153.8	54.0	143.2	14.1	77.2
11・1	79.6	72.5	45.9	88.8	13.4	34.0
2	86.4	76.6	35.0	82.2	12.9	35.2
3	33.3	65.2	14.4	50.2	4.9	24.6
4	15.1	33.0	7.6	19.4	2.6	12.0
5	7.9	11.9	5.0	12.0	2.1	7.4
6	10.0	6.4	10.0	8.1	2.9	5.9
5～10月計	686.1	1808.0	1042.3	2525.7	439.0	1379.6

平成22年に亀岡市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

タバコガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0.0	—	0.0	—	0.0	—
2	0.0	—	0.0	—	0.0	—
3	0.0	—	0.0	—	0.0	—
4	0.0	—	0.0	—	0.0	—
5	0.0	—	0.0	—	0.0	—
6	0.0	—	0.8	—	0.0	—
5・1	0.0	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0
2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
4	0.0	0.0	0.2	1.8	0.0	0.2
5	0.7	0.1	1.0	0.9	0.0	0.1
6	0.3	0.1	2.8	0.7	0.0	0.1
6・1	0.0	0.2	5.3	0.2	0.0	0.1
2	0.0	0.1	5.7	0.4	0.0	0.0
3	0.7	0.2	4.3	0.4	0.0	0.1
4	0.7	0.5	2.6	0.9	0.0	0.2
5	0.9	0.2	1.4	1.5	0.0	0.1
6	1.4	0.1	1.4	1.2	0.0	0.1
7・1	0.3	0.1	2.0	0.7	0.0	0.2
2	0.0	0.4	1.3	0.9	0.0	0.4
3	1.7	0.8	1.7	1.0	0.0	0.3
4	1.5	0.9	2.0	1.6	0.6	0.3
5	0.9	0.6	1.3	1.9	0.4	0.5
6	0.0	1.6	0.3	3.4	0.0	0.9
8・1	0.0	1.2	1.4	3.4	0.0	0.8
2	1.7	1.0	0.9	1.6	0.6	0.7
3	2.1	1.2	0.4	2.9	0.4	1.3
4	2.1	3.1	0.0	5.5	0.0	3.6
5	2.5	4.2	0.0	5.6	0.0	7.6
6	11.9	4.3	0.7	7.7	0.7	11.0
9・1	9.3	2.9	0.7	6.5	0.3	8.4
2	6.7	2.1	0.7	4.9	0.0	6.4
3	2.1	1.2	0.7	3.1	0.0	3.9
4	2.7	1.1	0.1	5.3	0.0	5.8
5	2.0	1.1	0.0	4.1	0.0	3.4
6	0.7	0.7	0.0	2.0	0.0	1.4
10・1	3.6	0.6	0.0	1.0	0.0	0.8
2	3.6	0.3	0.0	1.2	0.0	0.5
3	2.9	0.1	0.0	0.4	0.0	0.2
4	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.3
5	0.6	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2
6	0.9	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1
11・1	0.7	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1
2	0.7	0.0	0.7	0.1	0.0	0.1
3	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5～10月計	64.5	31.2	39.2	73.3	3.0	59.8

平成16年に京田辺市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

オオタバコガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0.0	—	0.0	—	0.0	—
2	0.0	—	0.0	—	0.0	—
3	0.0	—	0.0	—	0.0	—
4	0.0	—	0.0	—	0.0	—
5	0.0	—	0.0	—	0.0	—
6	0.0	—	0.8	—	0.0	—
5・1	0.0	0.1	1.1	0.3	0.0	0.0
2	0.6	0.3	6.5	0.7	0.0	0.1
3	1.3	0.7	9.7	2.2	0.0	0.2
4	2.1	1.4	21.2	3.3	0.0	0.0
5	0.0	0.3	11.0	3.1	0.0	0.1
6	0.6	0.2	12.0	1.9	0.0	0.2
6・1	0.7	0.1	7.1	2.1	0.0	0.3
2	0.7	0.1	5.7	1.7	0.0	0.2
3	0.0	0.4	0.0	1.3	0.7	0.0
4	0.0	1.2	0.0	1.5	0.3	0.1
5	0.1	0.6	5.6	2.2	0.0	0.0
6	0.7	0.2	27.9	1.8	0.0	0.0
7・1	0.1	0.3	35.3	3.3	0.0	0.1
2	0.0	0.2	31.3	2.4	0.0	0.0
3	0.0	0.4	17.5	3.3	0.0	0.0
4	0.0	0.5	10.4	2.6	0.0	0.0
5	0.0	0.1	6.6	0.7	0.0	0.0
6	0.0	0.2	5.4	1.7	0.0	0.0
8・1	0.0	0.3	9.3	4.7	0.0	0.0
2	0.0	0.0	3.0	5.4	0.0	0.0
3	0.0	0.0	0.9	6.6	0.0	0.0
4	0.0	0.2	0.0	7.5	0.0	0.0
5	0.0	0.6	0.0	5.9	0.0	0.1
6	0.0	1.0	0.0	8.0	0.0	1.0
9・1	0.0	0.8	0.4	5.9	0.0	0.6
2	0.0	0.4	0.6	10.9	0.0	0.3
3	0.0	0.2	0.0	22.1	0.0	0.1
4	0.0	1.3	0.0	24.4	0.0	1.0
5	0.0	1.1	0.0	21.3	0.0	1.6
6	0.0	0.8	0.0	25.4	0.0	0.9
10・1	6.4	1.6	0.0	26.2	1.4	0.5
2	11.6	1.8	0.0	22.1	0.6	0.9
3	12.1	2.9	0.0	18.7	0.0	0.5
4	0.7	3.7	0.0	28.2	0.0	1.4
5	9.9	4.6	0.0	26.6	0.0	2.1
6	8.6	5.5	0.0	26.4	0.0	2.1
11・1	3.9	7.4	3.3	26.9	0.0	2.1
2	10.7	3.1	16.4	12.4	0.0	1.5
3	5.6	2.1	10.1	6.3	0.0	0.7
4	2.9	1.2	5.7	3.8	0.0	0.0
5	0.7	0.3	1.4	0.5	0.0	0.0
6	0.7	0.2	4.2	0.1	0.0	0.1
5～10月計	56.2	33.6	228.5	332.2	3.0	14.5

平成16年に京田辺市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

チャノホソガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	46	117.6	—	186.8	—	—
2	57	240.0	—	204.8	—	—
3	8	264.7	282.4	277.1	0.0	—
4	88	200.2	774.3	288.4	3.4	—
5	93	172.5	802.9	284.4	3.7	—
6	95	58.2	184.2	171.9	2.9	—
5・1	35	53.9	27.8	56.8	0.0	—
2	27	31.3	1.4	13.3	0.0	—
3	22	11.0	0.6	2.7	0.0	—
4	0	3.8	0.0	1.0	0.0	—
5	0	8.8	0.0	12.2	0.0	—
6	112	291.5	0.0	98.5	10.7	—
6・1	706	1087.4	164.6	337.5	22.1	—
2	408	1283.3	263.4	617.5	39.3	—
3	218	1219.0	220.0	771.0	31.9	—
4	127	551.3	176.6	820.1	25.1	—
5	92	169.9	123.4	847.7	17.9	—
6	44	82.1	60.0	283.1	2.1	—
7・1	34	117.3	362.1	169.5	27.0	—
2	60	771.9	191.1	317.7	46.4	—
3	133	1038.9	63.6	438.1	216.2	—
4	251	1044.4	9.3	321.2	161.5	—
5	100	579.0	35.0	273.5	82.3	—
6	41	214.2	137.1	298.8	20.6	—
8・1	25	102.9	182.6	221.4	32.1	—
2	99	149.7	164.3	153.3	51.4	—
3	85	219.5	36.6	126.3	60.4	—
4	35	257.9	4.6	117.6	45.0	—
5	27	312.3	4.6	157.8	37.7	—
6	33	272.1	18.9	217.5	19.5	—
9・1	89	105.2	6.6	158.9	11.0	—
2	183	123.0	2.8	129.4	17.9	—
3	133	143.2	0.6	144.2	77.9	—
4	119	185.2	32.8	145.1	88.6	—
5	120	237.4	28.8	145.8	89.9	—
6	140	341.6	28.9	125.7	66.4	—
10・1	92	142.5	61.4	125.9	38.4	—
2	110	72.2	81.4	99.4	24.3	—
3	83	31.7	82.1	76.8	13.6	—
4	53	14.0	75.7	67.3	3.6	—
5	48	13.7	35.0	44.4	2.3	—
6	21	12.4	32.9	33.5	1.1	—
11・1	38	7.2	15.0	10.0	0.0	—
2	52	10.0	2.1	4.2	—	—
3	15	7.0	31.4	0.0	—	—
4	0	10.7	19.9	0.0	—	—
5	0	3.0	13.7	0.0	—	—
6	41	2.3	20.0	0.0	—	—
4～10月計	4292.0	12348.7	4760.4	9384.3	1394.2	—

平成26年に京丹後市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

チャノコカクモンハマキ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H26	平年	H26	平年	H26	平年
4・1	0	0.7	—	0.3	—	—
2	0	3.6	—	0.7	—	—
3	0	37.0	0.6	7.8	0.0	—
4	3	72.8	2.9	17.1	0.0	—
5	1	83.6	47.0	35.9	1.1	—
6	38	215.2	80.5	88.3	2.9	—
5・1	118	522.2	86.1	136.7	1.4	—
2	306	672.2	385.0	219.7	1.4	—
3	532	478.8	423.5	223.5	1.1	—
4	44	325.4	301.0	189.3	0.0	—
5	51	135.7	78.8	63.6	0.0	—
6	32	40.2	26.5	14.6	0.4	—
6・1	0	8.4	6.0	2.2	0.6	—
2	0	3.3	14.1	1.0	0.0	—
3	8	16.5	59.3	15.9	1.1	—
4	5	87.6	19.9	89.0	3.4	—
5	21	161.7	8.6	262.6	6.4	—
6	41	179.8	6.4	253.3	5.7	—
7・1	48	157.8	141.4	170.4	4.9	—
2	71	86.0	71.1	79.7	3.9	—
3	46	31.0	20.4	30.7	1.8	—
4	11	12.7	5.0	65.6	0.7	—
5	5	12.1	1.6	46.8	0.0	—
6	0	35.6	23.6	60.1	0.0	—
8・1	16	62.0	31.9	65.4	2.9	—
2	26	42.5	5.0	51.4	2.0	—
3	50	37.0	67.3	38.3	2.0	—
4	23	14.2	82.9	25.5	4.3	—
5	14	5.2	82.9	16.6	0.9	—
6	2	4.5	324.9	17.9	0.6	—
9・1	4	9.4	251.9	62.1	1.9	—
2	2	20.9	185.0	128.9	3.6	—
3	6	89.2	91.9	176.7	7.9	—
4	7	105.0	141.0	156.0	4.9	—
5	9	99.4	257.2	94.4	3.6	—
6	15	119.1	377.7	67.1	6.4	—
10・1	89	138.0	582.9	71.5	10.4	—
2	43	139.2	351.4	60.6	9.4	—
3	25	76.5	209.9	54.7	6.4	—
4	9	96.0	84.3	33.6	0.7	—
5	21	49.1	7.9	23.6	1.1	—
6	4	104.1	5.4	76.9	1.1	—
11・1	1	10.8	1.7	3.4	0.0	—
2	1	21.0	0.0	5.2	—	—
3	0	11.0	2.9	1.8	—	—
4	0	11.2	2.0	0.7	—	—
5	0	4.0	1.3	0.1	—	—
6	0	3.0	0.7	0.4	—	—
4～10月計	1746.0	4591.2	4950.7	3295.8	106.9	—

平成26年に京丹後市のフェロモントラップの設置場所を変更した。

(3) 黄色水盤の調査結果

アブラムシ類誘殺数(黄色水盤)
調査場所: 亀岡市(農林センター)

半旬別推定値

月.半旬	H26	平年	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16
4・1	2.0	3.0	4.0	0.0	1.0	2.0	6.0	—	5.0	0.0	0.0	9.0
2	1.0	6.2	1.0	0.0	1.2	10.3	17.0	—	5.0	0.0	3.0	18.0
3	0.0	9.5	6.0	2.5	5.1	6.8	3.3	8.0	8.0	1.0	7.0	47.0
4	2.0	20.4	14.5	2.5	1.7	5.0	38.7	17.0	6.0	2.0	36.0	81.0
5	3.0	15.8	10.5	2.0	2.0	6.7	38.0	34.0	15.0	2.0	12.0	36.0
6	2.0	34.4	24.0	9.0	5.0	5.3	88.8	132.0	17.0	10.0	29.0	24.0
5・1	1.0	48.7	14.0	0.0	14.0	40.0	107.3	207.0	13.0	10.0	58.0	24.0
2	15.0	55.9	64.0	0.0	16.0	8.0	143.3	217.0	34.0	14.0	52.0	11.0
3	19.0	42.4	124.0	5.0	12.0	5.7	54.8	100.0	35.0	21.0	54.0	12.0
4	28.0	46.8	119.0	9.0	14.0	9.3	47.0	159.0	9.0	18.0	61.0	23.0
5	8.0	56.6	46.0	0.0	9.0	5.0	17.0	284.0	17.0	25.0	127.0	36.0
6	16.5	56.5	138.0	10.0	4.0	3.0	6.9	193.0	27.0	20.0	134.0	29.0
6・1	23.5	46.3	70.8	10.0	10.0	7.0	9.6	83.0	22.0	35.0	179.0	37.0
2	4.0	46.1	61.2	6.0	2.3	11.0	5.6	96.0	20.0	87.0	145.0	27.0
3	6.0	44.2	12.7	18.0	1.7	4.0	2.4	85.0	28.0	85.0	186.0	19.0
4	1.0	39.5	9.3	12.0	2.0	4.3	3.4	104.0	26.0	62.0	149.0	23.0
5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	5.7	2.0	74.0	18.0	72.0	59.0	19.0
6	0.0	18.7	9.0	0.0	1.0	3.0	0.0	39.0	25.0	59.0	41.0	10.0
7・1	0.0	8.3	10.0	0.0	1.0	3.0	0.0	15.0	10.0	30.0	10.0	4.0
2	1.0	9.3	4.0	13.0	0.0	4.0	1.0	35.0	11.0	12.0	7.0	6.0
3	0.7	7.6	2.0	1.0	0.0	5.0	1.0	30.0	9.0	2.0	7.0	19.0
4	1.3	6.3	4.7	0.0	0.0	5.0	2.8	18.0	10.0	1.0	12.0	10.0
5	0.0	5.0	4.3	0.0	0.0	0.8	2.3	7.0	12.0	0.0	12.0	12.0
6	0.0	6.8	6.0	3.0	1.0	0.9	7.0	5.0	13.0	—	14.0	11.0
8・1	3.0	15.6	11.7	8.0	16.0	0.3	4.7	10.0	8.0	35.0	48.0	14.0
2	0.0	19.8	14.3	10.0	80.0	0.0	5.2	23.0	16.0	18.0	22.0	9.0
3	0.6	29.0	9.0	35.0	76.0	7.0	7.0	33.0	29.0	38.0	28.0	28.0
4	0.4	18.1	0.0	28.0	19.0	8.5	7.9	22.0	24.0	42.0	21.0	9.0
5	3.3	16.6	0.0	15.7	3.0	5.5	3.1	20.0	25.0	37.0	26.0	31.0
6	16.7	18.1	0.3	6.3	10.0	2.0	8.6	21.0	16.0	21.0	70.0	26.0
9・1	24.0	19.4	0.7	0.0	0.0	2.0	9.3	70.0	23.0	56.0	20.0	13.0
2	6.0	29.4	7.0	3.0	20.0	2.6	8.4	170.0	19.0	48.0	11.0	5.0
3	0.0	14.4	2.0	0.0	20.0	0.4	6.3	68.0	10.0	24.0	5.0	8.0
4	0.0	14.6	8.0	0.0	1.0	26.7	20.0	41.0	19.0	22.0	3.0	5.0
5	1.0	9.7	0.0	0.0	10.0	7.6	8.0	31.0	7.0	16.0	12.0	5.0
6	7.0	6.6	2.0	0.0	5.0	2.8	3.7	10.0	11.0	17.0	14.0	1.0
10・1	1.0	9.2	12.0	0.0	0.0	17.0	1.0	8.0	14.0	23.0	16.0	1.0
2	0.0	4.7	8.0	0.0	4.0	0.0	0.0	13.0	5.0	6.0	9.0	2.0
3	1.0	5.4	4.0	10.0	0.0	13.0	0.0	5.0	6.0	9.0	6.0	1.0
4	0.0	7.6	2.0	7.7	5.0	17.0	0.0	9.0	8.0	10.0	15.0	2.0
5	1.0	5.6	0.0	19.3	4.0	0.0	0.0	8.0	5.0	6.0	13.0	1.0
6	1.0	7.0	10.0	0.0	3.4	5.0	0.7	15.0	13.0	11.0	12.0	0.0
11・1	0.0	10.5	3.0	0.0	0.6	18.0	7.4	34.0				
2	2.0	13.4	10.0	15.7	10.0	10.0	4.7	30.0				
3	0.0	12.0	2.0	11.3	2.0	31.7	3.0	22.0				
4	1.0	8.8	21.7	10.0	0.0	6.3	2.6	12.0				
5	0.0	9.3	11.3	6.0	1.3	2.0	1.0	34.0				
6	1.0	7.6	5.0	3.0	6.7	0.0	0.0	31.0				
4～10月計	201.0	908.5	850.0	246.0	380.4	278.2	698.8	2519.0	653.0	1007.0	1745.0	708.0

2 病害虫発生予察情報の内容

(1) 水稲

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
葉いもち	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、補植用苗での発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並、日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量 やや多(多)	(1)6月中旬現在、本田での発生を認めている(+)(平年比多い)。 (2)病害虫調査協力員から発生が報告されている(+) (3)BLASTAM(いもち病発生予察システム)によると、感染好適条件が6月中旬に出現している。 (4)長期持続型箱施用剤の普及率が高まっている(-)。 (5)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多く(+)、日照時間は平年並または少ない(+と)予想されている。	
穂いもち (中晩生水稲)	7月23日(6号)	発生量 並(やや少)	(1)7月中旬現在、葉いもちの発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 多(やや多)	(1)8月中旬現在、葉いもちの発生量は山城で平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+),降水量は平年並または多く(+),日照時間は平年並または少ない(+と)予想されている。	
紋枯病 (中晩生水稲)	6月24日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない。 (2)前年8月の発生量は平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多く(+),日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
	7月23日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めている(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(-),降水量は平年並または多く(+),日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
ヒメビウンカ と縞葉枯病	4月22日(3号)	[ヒメビウンカ] 発生量 やや多 [縞葉枯病] 発生量 並	(1)4月中旬現在、ヒメビウンカの虫数は平年並、確認ほ場率は平年比やや高かったことから、発生量は平年比やや多い(+とした)。 (2)昨年は、縞葉枯病の発生は認めていない(平年並)。	
	5月20日(4号)	[ヒメビウンカ] 発生量 やや多 [縞葉枯病] 発生量 並	(1)ヒメビウンカの越冬量は平年比やや多い(+) (2)昨年は、縞葉枯病の発生を認めていない(平年並)。	
セジロウンカ	6月24日(5号)	発生量 多(多)	(1)6月第3半旬現在、予察灯での誘殺を認めていない。 (2)6月中旬現在、本田での発生は平年比多い(+)	
	7月23日(6号)	発生量 やや少(少)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)	
トビロウンカ (中晩生水稲) (晩生水稲)	7月23日(6号)	発生量 やや多(並)	(1)7月14日に京丹後の予察灯で誘殺を認めている(+) (2)7月中旬の巡回調査では、発生を認めていない(平年並)。	
	8月20日(7号)	発生量 並(やや少)	(1)7月14日に京丹後の予察灯で誘殺を認めたが、8月中旬の調査では発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低い(-)と予想されている。	
	9月24日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は山城で平年並。 (2)山城の一部ほ場で発生を確認している(+) (3)向こう1か月の気温は平年並または高い(+と)予想されている。	
ツマグロ ヨコバイ	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1)ツマグロヨコバイの越冬量は平年並。	
	6月24日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は平年比やや多い(+)	
	7月23日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、本田見取り調査での発生量は平年並、本田すくい取り調査では平年比やや少ない(-)	
ニカメイチュウ (第1世代)	5月20日(4号)	発生量 並	(1)前年8月は第2世代幼虫の発生を認めておらず(平年並)、越冬量は平年並と予想される。	
コブノメイガ (晩生水稲)	7月23日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。	
	8月20日(7号)	発生量 並(やや少)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。	
イネミズゾウム	4月22日(3号)	発生量 並(多)	(1)前年の新成虫の予察灯での誘殺数は平年並～平年比やや多い (2)向こう1か月の気温は平年並と予想されている。	
	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1)前年の新成虫の予察灯への誘殺数は平年並～平年比やや多い (2)5月中旬現在、本田での発生量は平年比やや少ない(-) (3)5月第3半旬現在、越冬世代成虫の予察灯への誘殺数は京田辺で誘殺を認めておらず(平年並)、亀岡で平年並、京丹後で平年比やや少ない(-)。	
斑点米	6月24日(5号)	発生量 多(多)	(1)6月中旬現在、本田及び畦畔での発生量は平年比やや多い(+)	

カメムシ類			(2)アカヒゲホソドリカスミカメ及びアカスジカスミカメの予察灯での誘殺数は平年比やや多い～多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多く、日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
	7月23日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月中旬現在、本田及び畦畔での発生量は平年並。 (2)アカスジカスミカメ及びアカヒゲホソドリカスミカメの予察灯への誘殺数は平年並。 (3)病害虫調査協力員から、斑点米カメムシ類の多発生が報告されている(+) (4)向こう1か月の気温は平年並または高い(+と)予想されている。	
(中晩生水稲)	8月20日(7号)	発生量 多	(1)8月中旬現在、本田での発生量は山城で平年比やや多い(+) (2)8月中旬現在、畦畔雑草での発生量は山城で平年比多い(+)	
その他 (注意事項)				

(2) 黒大豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
アブラムシ類 とウイルス病	6月24日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月第4半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多いと予想されている。	
ハスモンヨトウ	7月23日(6号)	発生量 やや少 (やや少)	(1)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや少ない(-)。	
	8月20日(7号)	発生量 並(やや多)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)8月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや少ない(-)。	
	9月24日(8号)	発生量 やや少	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で平年比やや少なく(-)、アズキで平年比少ない(-)。 (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
吸実性 カメムシ類	7月23日(6号)	発生量 やや多(多)	(1)7月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺は認めていない(平年並)。	
	8月20日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)8月第2半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並。 (3)病害虫調査協力員から一部地域での発生が報告されている(+)	
	9月24日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生量は平年並。 (2)9月第3半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
サヤムシガ類	7月23日(6号)	発生量 やや少 (やや少)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)。	
ハダニ類	7月23日(6号)	発生量 やや多(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 やや多(やや少)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低い、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
	9月24日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で平年並、アズキで平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。	
その他 (注意事項)				

(3) 小豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
アブラムシ類 とウイルス病	6月24日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月第4半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多いと予想されている。	
ハスモンヨトウ	7月23日(6号)	発生量 やや少 (やや少)	(1)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや少ない(-)。	
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)8月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや少ない(-)。	
	9月24日(8号)	発生量 やや少	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で平年比やや少なく(-)、アズキで平年比少ない(-)。 (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
ハダニ類	7月23日(6号)	発生量 やや多(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 並(やや少)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低い、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
	9月24日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で平年並、アズキで平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。	
オオタバコガ	8月20日(7号)	発生量 丹波 多(並)	(1)8月第2半旬現在、亀岡のフェロモントラップへの誘殺数は平年比多い(+) (2)8月中旬の巡回調査で発生を認めている(+)	
その他 (注意事項)				

(4) 果樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
黒斑病(ナシ)	3月26日(2号)	発生量 並	(1)越冬罹病率は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または少ないと予想されている。	
	4月22日(3号)	発生量 並(多)	(1)越冬罹病率は、平年並。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	5月20日(4号)	発生量 やや少(やや少)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年比やや少ない)(-)。 (2)向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
	7月23日(6号)	発生量 並(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 やや多(やや少)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低い、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
黒星病(ナシ)	4月22日(3号)	発生量 並(並)	(1)前年10月は、発生を認めなかった(平年並)。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低い、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	

カキクダアザミ ウマ(カキ)	3月26日(2号)	発生量 やや多	(1)前年秋期は、被害は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または少ないと予想されている。
炭そ病(カキ)	4月22日(3号)	発生量 並	(1)前年10月は、発生を認めなかった(平年並) (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	7月23日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。
	8月20日(7号)	発生量 並(やや少)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並または低い、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。
落葉病(カキ)	5月20日(4号)	発生量 やや少	(1)前年10月の発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。
うどんこ病 (カキ)	5月20日(4号)	発生量 多(並)	(1)5月中旬の発生量は平年比多い(+) (2)前年10月の発生量は平年並 (3)向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。
	6月24日(5号)	発生量 多(やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。
	7月23日(6号)	発生量 やや多 (やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並と予想されている。
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温は平年並または低い、降水量は平年並または多いと予想されている。
べと病(ブドウ)	5月20日(4号)	発生量 並(少)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。
	6月24日(5号)	発生量 多(多)	(1)6月中旬現在の発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。
	7月23日(6号)	発生量 やや少(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は平年並と予想されている。
	8月20日(7号)	発生量 やや少(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または低い、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。
ハダニ類 (カンキツ、ナシ、ブドウ)	5月20日(4号)	発生量 ナシ やや少 (やや少) カンキツ 並(並)	(1)5月中旬現在、ナシでは発生を認めず(平年比やや少ない(-)、カンキツの発生量は平年並であった) (2)向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。
	6月24日(5号)	発生量 ナシ やや少(少) カンキツ やや多 (やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は、ナシでは平年比やや少なく(-)、カンキツでは平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(-と)予想されている。
	7月23日(6号)	発生量 ナシ 並(少) カンキツ やや多 (多)	(1)7月中旬現在、発生量はナシで平年比少なく(-)、カンキツで平年並 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	8月20日(7号)	発生量 ナシ 並(多) カンキツ やや少 (やや多)	(1)8月中旬現在、発生量はナシで平年並、カンキツで平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または低い、降水量は平年並または多い(-と)予想されている。
カメムシ類 (果樹全般)	5月20日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)チャバネアオカメムシの越冬量調査では、京都市及び南丹地域の平均生存虫数は平年並、丹後地域では生存個体は認められなかった(例年比やや少ない(-)) (2)5月第2半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並 (3)5月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや多い(+)
	6月24日(5号)	発生量 山城・丹波 多(多) 丹後 並(並)	(1)チャバネアオカメムシの予察灯での誘殺数は京田辺市、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で平年並 (2)チャバネアオカメムシのフェロモントラップでの誘殺数は京田辺市、亀岡市で平年比やや多い~多く(+)、京丹後市で平年並。
	7月23日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月第3半旬現在、予察灯(BL)への誘殺数は平年比やや多い(+) (2)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺は平年比やや多い(+)

	8月20日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月第2半旬現在、予察灯への誘殺数はチャバネアオカメムシ、クサギカメムシとも平年比やや多い(+) (2)8月第2半旬現在、チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は平年比やや多い(+) (3)8月中旬現在、カキでの被害を認めていない(平年並)。	
その他 (注意事項)				

(5) 茶樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
もち病	3月26日(2号)	発生量 やや少(やや少)	(1)前年10月は発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または少ない(-)と予想されている。	
	5月20日(4号)	発生量 山城 並(並) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)5月中旬現在、山城、丹波、丹後とも発生を認めていない(平年(例年)並) (2)前年10月は山城、丹波、丹後とも発生を認めていない(平年(例年)並) (3)向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並、日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
	7月23日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めなかった(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 山城 やや多(やや多) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城で平年比やや多く(+)、丹波、丹後で発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は平年並または多く(+)、日照時間は平年並または少ない(+と)予想されている。	
炭そ病	6月24日(5号)	発生量 山城 多(並) 丹波 多(並) 丹後 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は、山城、丹波で平年比多く(+)、丹後で例年並 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
	7月23日(6号)	発生量 並(少)	(1)7月中旬現在の発生量は、平年(例年)並 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 山城 やや多(やや少) 丹波 多(並) 丹後 やや多(やや少)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城で平年並、丹波で平年比多く(+)、丹後で例年並 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多く(+)、日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
カンザワハダニ	2月27日(1号)	発生量 山城 やや少(やや少) 丹波 並(やや多) 丹後 並 防除時期 3月上旬	(1)2月第5半旬現在、寄生葉率は山城で平年比低く(-)、丹波、丹後で寄生を認めなかった(丹波:平年並)(丹後:例年並) (2)産卵は認められず、産卵葉率は山城で平年比低く(-)、丹波で平年並、丹後で例年並であった (3)発生ほ場率は山城で平年比低く(-)、丹波、丹後で発生を認めなかった(丹波:平年並)(丹後:例年並) (4)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	3月26日(2号)	発生量 山城 やや多(多) 丹波 やや多(多) 丹後 多(多)	(1)3月下旬の調査では、発生量は山城で平年並、丹波で平年並、丹後で平年比多かつた(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並または少ない(+と)予想されている。	
	4月22日(3号)	発生量 山城 やや少(やや少) 丹波 やや少(やや少) 丹後 多(多)	(1)4月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で発生を認めず平年比やや少なく(-)、丹後で例年比多い(+) (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	5月20日(4号)	発生量 山城 並(並) 丹波 やや多(やや多) 丹後 多(並)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で例年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量 山城 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並、丹後で例年比多い(+)	

		丹波 並(並) 丹後 多	(2) 向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(-)と予想さ
7月23日(6号)	発生量	山城 やや多(多) 丹波 やや少 (やや少) 丹後 やや多(多)	(1) 7月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年比やや少なく(-)、丹後で例年比やや多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量及は平年並と予想されている。
8月20日(7号)	発生量	山城 並(多) 丹波 多(多) 丹後 やや多 (やや多)	(1) 8月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比多く(+)、丹後で例年比やや多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多く(-)、日照時間は平年並または少ないと予想されている。
9月24日(8号)	発生量	山城 やや多 (やや多) 丹波 やや多(多) 丹後 やや多 (やや多)	(1) 9月中旬現発生量は山城で平年並、丹波、丹後で平年比やや多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。
10月21日(9号)	発生量	山城 やや多 丹波 並 丹後 多	(1) 10月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並、丹後で例年比多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
チャンホソガ	3月26日(2号)	発生量 山城 やや少(並) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1) 前年10月の発生量は、山城で平年比やや少なく(-)、丹波、丹後で平年並の発生であった。 (2) 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または少ないと予想されている。
	4月22日(3号)	発生量 山城 やや少(並) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1) 前年10月の発生量は、山城で平年比やや少なく(-)、丹波、丹後で平年(例年)並。 (2) 4月中旬現在、発生量は府内全域で発生を認めず、平年(例年)並。 (3) 4月中旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、宇治で平年比やや少ない(-)。 (4) 向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	5月20日(4号)	発生量 山城 やや多(多) 丹波 やや多(多) 丹後 並(並) 第2世代幼虫ふ化時期 山城 6月第2半旬～ 6月第3半旬(並) 丹波 6月第4半旬～ 6月第5半旬(やや遅)	(1) 5月中旬現在、第1世代の発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並、丹後で発生を認めていない(例年並)。 (2) フェロモントラップへの誘殺数は宇治、綾部とも平年比やや多い(+) (3) フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治で平年並、綾部で平年比やや遅い。
	6月24日(5号)	発生量 山城 やや少(並) 丹波 やや多(多) 丹後 やや多(多) 第3世代幼虫ふ化時期 山城 7月第4半旬～ 7月第5半旬(やや早) 丹波 7月第3半旬～ 7月第4半旬(早)	(1) 6月中旬現在の発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で例年比やや多い(+) (2) フェロモントラップでの誘殺数は、宇治、綾部とも平年並。 (3) フェロモントラップでの誘殺盛期は宇治で平年比やや早く、綾部で平年比早い。 (4) 向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多いと予想されている。
	7月23日(6号)	発生量 山城 やや少 (やや多) 丹波 並(やや多) 丹後 並(やや多) 第4世代幼虫ふ化期 山城 8月第5～第6 半旬(やや遅) 丹波 8月第5～第6 半旬(やや遅)	(1) 7月中旬現在、第3世代幼虫の発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波、丹後で平年(例年)並。 (2) 第2世代成虫の発生時期は、宇治で平年比やや遅く、綾部で平年比やや早い。
	8月20日(7号)	発生量 山城 やや少 (やや多) 丹波 並(やや多) 丹後 並(並) 第4世代幼虫ふ化期 山城 8月第6半旬～ 9月第1半旬(やや遅)	(1) 8月中旬現在、第4世代幼虫の発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波、丹後で平年(例年)並。 (2) 第3世代成虫の発生時期は、宇治で平年並、綾部で平年比早い。 (3) 向こう1か月の気温は平年並または低く(-)、降水量は平年並または多く、日照時間は平年並または少ないと予想されている。

		丹波 8月第4半旬～ 8月第5半旬(やや早)	
	9月24日(8号)	発生量 山城 並(やや少) 丹波 やや多 (やや少) 丹後 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で例年比やや多い(+)
	10月21日(9号)	発生量 山城 並 丹波 並 丹後 並	(1)10月中旬現在、発生量は山城及び丹波で平年並、丹後で例年並。
チャノコカクモンハマキ	3月26日(2号)	発生量 並 (山城:やや少、丹波・丹後:並)	(1)前年10月の発生量は、平年並の発生であった。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または少ないと予想されている。
	4月22日(3号)	発生量 山城 やや多 (やや多) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)前年10月の発生量は、山城、丹波、丹後で平年並の発生。 (2)4月中旬現在、発生量は山城で平年比多く(+)、丹波、丹後で発生を認めていない(平年(例年)並)。 (3)4月中旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、宇治で平年比少ない(-)。
	5月20日(4号)	発生量 山城 やや多 (やや少) 丹波 やや多(並) 丹後 並(並) 第1世代幼虫ふ化期 山城 5月第6半旬～ 6月第2半旬(やや遅) 丹波 5月第5半旬～ 6月第1半旬(並)	(1)5月中旬現在、山城で平年比やや多く(+)、丹波、丹後で発生を認めていない(平年(例年)並)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治で平年並、綾部で平年比やや多い(+) (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治で平年比やや遅く、綾部で平年並。
	6月24日(5号)	発生量 山城 やや多(並) 丹波 並(やや多) 丹後 多(多) 第2世代幼虫ふ化期 山城 7月第2半旬～ 7月第3半旬(並) 丹波 7月第1半旬～ 7月第2半旬(やや早)	(1)6月中旬現在、第1世代の発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並、丹後で例年比多い(+) (2)フェロモントラップでの誘殺数は、宇治で平年比やや少なく(-)、綾部で平年比多い(+) (3)フェロモントラップでの誘殺盛期は宇治で平年並、綾部で平年比やや早い。 (4)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多いと予想されている。
	7月23日(6号)	発生量 山城 並(やや少) 丹波 やや多 (やや多) 丹後 多(多) 第3世代幼虫ふ化期 山城 8月第5半旬～ 8月第6半旬(遅) 丹波 8月第5半旬～ 8月第6半旬(遅)	(1)7月中旬現在、第2世代幼虫の発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で例年比多い(+) (2)第1世代成虫の発生時期は宇治、綾部とも平年比遅い。
	8月20日(7号)	発生量 山城 並(やや少) 丹波 並(やや多) 丹後 やや多 (やや多) 第4世代幼虫ふ化期 山城 9月第5半旬～ 9月第6半旬(遅) 丹波 9月第5半旬～ 9月第6半旬(遅)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で発生を認めず(平年並)、丹後で例年比やや多い(+) (2)第2世代成虫の発生時期は宇治、綾部とも平年比遅い。 (3)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多く、日照時間は平年並または少ないと予想されている。
	9月24日(8号)	発生量 山城 並(やや多) 丹波 並(並) 丹後 やや多 (やや多) 第4世代幼虫ふ化期 山城 9月第5半旬～ 9月第6半旬(遅) 丹波 9月第5半旬～ 9月第6半旬(遅)	(1)9月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年並、丹後で例年比やや多い(+) (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治、綾部とも平年比遅い。
クワシロカイガラムシ	4月22日(3号)	発生量 山城 並(少) 丹波 並(少)	(1)前年10月の発生量は、山城、丹波で平年並、丹後で例年比多い(+)

			丹後 多い(並)	(2)4月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年並、丹後で例年比多い(+)	
	5月20日(4号)	発生量	山城 並(少) 丹波 やや少(少) 丹後 やや多(やや少)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや少なく(-)、丹後で例年比やや多い(+)	
	6月24日(5号)	発生量	山城 並(並) 丹波 並(少) 丹後 やや多(やや少)	(1)第1世代幼虫の発生量は、山城、丹波で平年並、丹後で例年比やや多い(+)	
	8月20日(7号)	発生量	山城 やや少(少) 丹波 少(少) 丹後 やや多(やや少)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年比少なく(-)、丹後で例年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多く(-)、日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
チャノキイロ アザミウマ	5月20日(4号)	発生量	山城 やや少(やや少) 丹波 やや多(多) 丹後 やや少	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で発生を認めていない(例年比やや少ない(-)) (2)向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量	山城 やや多(やや多) 丹波 やや少(やや多) 丹後 多(多)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年比やや少なく(-)、丹後で例年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。	
	7月23日(6号)	発生量	山城 やや少(並) 丹波 並(やや多) 丹後 並(並)	(1)7月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波、丹後で平年(例年)並 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量	山城 少(やや少) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年比少なく(-)、丹波、丹後で平年(例年)並 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多く(-)、日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
チャノミドリヒメ ヨコバイ	5月20日(4号)	発生量	山城 やや多(やや多) 丹波 並(並) 丹後 並	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波、丹後で発生を認めていない(平年(例年)並)	
	6月24日(5号)	発生量	山城 並(やや少) 丹波 並(やや多) 丹後 並(並)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比多く(+)、丹波で平年並、丹後で発生を認めていない(例年並)	
	7月23日(6号)	発生量	山城 多(並) 丹波 多(多) 丹後 並(並)	(1)7月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年比多く(+)、丹後で発生を認めていない(例年並)	
	8月20日(7号)	発生量	山城 やや多(並) 丹波 多(やや多) 丹後 やや多(並)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年比多く(+)、丹後で例年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多く、日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
その他 (注意事項)					

(6) 野菜

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
疫病・褐色腐病(果菜類)	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない。 (2)向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、ナスでは褐色腐敗病の発生を認めていない。 (2)普及センターから、一部地域でトウガラシ疫病の発生が報告されている。 (3)向こう1ヶ月の気温は平年並、降水量は平年並または多く(+)、日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多い(+) (4)向こう1か月の日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
うどんこ病(果菜類)	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、ナスとキュウリで発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。	

	6月24日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、キュウリ及びナスでは発生を認めていない(キュウリ: 平年比やや少、ナス: 平年並)。 (2)普及センターや病害虫調査協力員から、一部地域でキュウリうどんこ病の発生が報告されている。 (3)向こう1ヶ月の気温は平年並、降水量は平年並または多く、日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
	7月23日(6号)	発生量 やや少(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリで平年比少なく(一)、ナスで平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 並(やや多)	(1)8月中旬現在、キュウリでは発生を認めず(平年並)、ナスでの発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多いと予想されている。	
べと病(キュウ ウリ類) (キュウリ) (アブラナ科) (アブラナ科)	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量 やや多(多)	(1)6月中旬現在、キュウリで平年比やや多い発生を認めた(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多く(+)、日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
	7月23日(6号)	発生量 やや多(多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	9月24日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、キャベツ、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多く(+)、日照時間は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または少ないと予想されている。	
	10月21日(9号)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在、キャベツでは発生を認めず(平年並)、カブでは平年比やや少ない。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
炭そ病 (ウリ類) (キュウリ) (キュウリ)	6月24日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在、キュウリで発生を認めた(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多く、日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
	7月23日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 やや多	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
褐斑病 (キュウリ)	7月23日(6号)	発生量 並(やや少)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 やや多	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多い(+と)予想されている。	
斑点細菌病 (キュウリ、トウ ガラシ)	5月20日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、キュウリで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月24日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、キュウリで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多く(+)、日照時間は平年並または少ないと予想されている。	
	7月23日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、キュウリで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
べと病(アブラ ナ科野菜)	9月24日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、キャベツ、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多く(+)、日照時間は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または少ないと予想されている。	
	10月21日(9号)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在、キャベツでは発生を認めず(平年並)、カブでは平年比やや少ない。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
白斑病(アブラ ナ科野菜)	9月24日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(+と)予想されている。	

	10月21日(9号)	発生量 並(やや少)	(1) 10月中旬現在、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。
菌核病 (キャベツ)	3月26日(2号)	発生量 並(並)	(1) 前年秋期の調査では発生を認めなかった(平年並)。 (2) 3月下旬の調査では、発生量は平年並。 (3) 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または少ないと予想されている。
	4月22日(3号)	発生量 並(並)	(1) 4月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	9月24日(8号)	発生量 並(並)	(1) 山城地域で、春期に発生を認めた。 (2) 向こう1か月の気温は平年並または高く(-)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(+と)予想されている。
	10月21日(9号)	発生量 並(並)	(1) 春期の発生量は、平年並。 (2) 10月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (3) 向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
白さび病(アブラナ科野菜)	10月21日(9号)	発生量 並(並)	(1) 10月中旬現在、ダイコンで発生を認めず(平年並)、カブで平年比やや多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。
黒腐病・黒斑細菌病(アブラナ科野菜)	9月24日(8号)	発生量 並(並)	(1) 9月中旬現在、黒腐病はキャベツで発生を認めず、黒斑細菌病はダイコンで発生を認めていない(平年並)。 (2) 大雨による暴風雨や冠水により、感染の可能性が高まっている(+) (3) 向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(+と)予想されている。
黒腐病 (キャベツ)	10月21日(9号)	発生量 やや多(やや多)	(1) 10月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2) 向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。
さび病(ネギ)	4月22日(3号)	発生量 並(並)	(1) 4月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2) 前年秋期は、発生を認めていない(平年並)。 (3) 向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	5月20日(4号)	発生量 並(多)	(1) 5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。
アブラムシ類 (アブラナ科野菜、野菜類)	3月26日(2号)	発生量 多(並)	(1) 3月下旬の調査(キャベツ)では、平年比多い発生を認めた(+) (2) 向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並または少ないと予想されている(+)
	4月22日(3号)	発生量 やや多(やや少)	(1) 4月上旬現在、トマト(施設)で発生を認めていない(平年並)。一方、4月中旬現在、キャベツで前年比やや多く(+)、ネギで平年比多い発生を認めた(+) (2) 4月第4半旬現在、黄色水盤への誘殺数は平年比やや少ない(-) (3) 向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
アブラムシ類とモザイク病	5月20日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1) 5月中旬現在、アブラムシ類の発生量はナス、キャベツ、ネギで平年比やや多く(+)、キュウリ、ホウレンソウで平年並であった。 (2) 5月第3半旬現在、黄色水盤への誘殺数は平年比やや少ない(-) (3) 向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。
	6月24日(5号)	発生量 並(並)	(1) 6月中旬現在、アブラムシ類の発生量はナスでは平年比やや少なく(-)、キュウリでは平年並。 (2) 6月中旬現在、キュウリでのモザイク病の発生は平年比多い(+) (3) 6月第4半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年並。 (4) 向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多く、日照時間は平年並または少ないと予想されている。
アブラムシ類 (野菜全般)	8月20日(7号)	発生量 やや少(少)	(1) 8月中旬現在、キュウリ、ナスとも発生を認めていない(ナス:平年並、キュウリ:平年比少ない(-)) (2) 8月第3半旬現在、黄色水盤への飛来数は平年比少ない(-) (3) 向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
ハダニ類(チャノホコリダニを含む)(果菜類) (野菜全般)	5月20日(4号)	発生量 やや多(並)	(1) 5月中旬現在、発生量はナスで平年比多く(+)、キュウリで発生を認めていない(平年並)。 (2) 向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。
	6月24日(5号)	発生量 並(並)	(1) 6月中旬現在の発生量は、ナスでは平年並、キュウリでは平年比やや多い(+)

			(2) 向こう1ヶ月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(一)と予想されている。
(野菜全般)	7月23日(6号)	発生量 並(並)	(1) 7月中旬現在、発生量はキュウリ及びナスで平年並。 (2) 向こう1ヶ月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。
(野菜全般)	8月20日(7号)	発生量 やや少(やや少)	(1) 8月中旬現在、キュウリでは発生を認めず(平年並)、ナスでの発生量は平年比やや少ない(一)。 (2) 向こう1ヶ月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多い(一)と予想されている。
アザミウマ類 (果菜類)	5月20日(4号)	発生量 やや多(やや少)	(1) 5月中旬現在、発生量はナスで平年比多く(+)、キュウリでやや多い(+) (2) 向こう1ヶ月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。
	6月24日(5号)	発生量 並(並)	(1) 6月中旬現在の発生量は、ナスで平年並、キュウリで平年比やや多い(+) (2) 向こう1ヶ月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(一)と予想されている。
(果菜類)	7月23日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1) 7月中旬現在、発生量はキュウリで平年並、ナスで平年比やや多い(+) (2) 向こう1ヶ月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
(野菜全般)	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1) 8月中旬現在、キュウリでは発生を認めず(平年並)、ナスでの発生量は平年並。 (2) 向こう1ヶ月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多い(一)と予想されている。
ハモグリバエ類 (果菜類)	6月24日(5号)	発生量 並(並)	(1) 6月中旬現在の発生量は、ナスでは平年比やや少なく(一)、キュウリで平年比やや多い(+) (2) 向こう1ヶ月の気温は平年並、降水量は平年並または多いと予想されている。
(果菜類)	7月23日(6号)	発生量 やや少(並)	(1) 7月中旬現在、発生量はキュウリで平年並、ナスで平年比少ない(一)。 (2) 向こう1ヶ月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
(果菜類等)	8月20日(7号)	発生量 やや少(やや多)	(1) 8月中旬現在、発生量はキュウリで平年並、ナスで平年比少ない(一)。 (2) 向こう1ヶ月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多いと予想されている。
(野菜全般)	9月24日(8号)	発生量 やや少(少)	(1) 9月中旬現在、発生量はカブで発生を認めず(平年並)、ナスで平年比少ない(一)。 (2) 向こう1ヶ月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
コナガ (アブラナ科野菜)	3月26日(2号)	発生量 並(並)	(1) 3月下旬の調査(キャベツ)では、発生を認めなかった(平年並)。 (2) 向こう1ヶ月の気温は平年比高く、降水量は平年並または少ないと予想されている。
	4月22日(3号)	発生量 並(やや多)	(1) 4月中旬現在、キャベツでの発生量は平年並。 (2) フェロモントラップへの誘殺数は亀岡で平年並、丹後で平年比少ない(一)。
	5月20日(4号)	発生量 やや多	(1) 5月中旬現在、キャベツでの発生量は平年比やや多い(+) (2) フェロモントラップへの誘殺数は、亀岡で平年比やや少なく、丹後で平年比少ない。 (3) 向こう1ヶ月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1) 8月第2半旬現在、予察灯への誘殺数は京田辺で平年比やや多く(+)、亀岡で平年並、京丹後では平年比やや少ない(一)。 (2) 8月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、亀岡では平年並、京丹後では平年比少ない(一)。 (3) 向こう1ヶ月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多い(一)と予想されている。
	9月24日(8号)	発生量 並(並)	(1) 9月中旬現在、キャベツ、ダイコン、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2) 9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は亀岡で平年並、京丹後で平年比やや少ない(一)。 (3) 9月第3半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並。 (4) 向こう1ヶ月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
	10月21日(9号)	発生量 並(並)	(1) 10月中旬現在、キャベツ、ダイコン及びカブで発生を認めていない(平年並)。

			(2)フェロモントラップへの誘殺数は亀岡で平年並、京丹後で平年比やや少ない(-)。 (3)予察灯への誘殺数は、京田辺で平年比やや多く(+)、亀岡及び京丹後で平年並。
ハスモンヨトウ (野菜全般)	7月23日(6号)	発生量 やや少	(1)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺では平年比少なく(-)、京丹後では平年比やや少ない(-)。
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺でやや少なく(-)、京丹後で平年比少ない(-)。 (2)病害虫調査協力員から一部地域での発生が報告されている(+)
	9月24日(8号)	発生量 やや少(やや少)	(1)9月中旬現在、ナス、キャベツ、ダイコンで発生を認めていない(平年並)。 (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
タバコガ類[オオタバコガ、タバコガ](野菜全般)	9月24日(8号)	発生量 やや多	(1)9月第3半旬現在、オオタバコガのフェロモントラップへの誘殺数は、京田辺、京丹後とも平年並、亀岡で平年比少ない(-)。 (2)9月第3半旬現在、タバコガのフェロモントラップへの誘殺数は、京田辺で平年比多く(+)、亀岡で平年比やや少なく、京丹後で平年比少ない(-)。
ハイマダラメイガ[ダイコンシクイムシ](アブラナ科野菜)	9月24日(8号)	発生量 やや少(少)	(1)9月中旬現在、ダイコンで発生を認めていない(平年比少ない(-))。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
シロオビノメイガ (ホウレンソウ)	8月20日(7号)	発生量 並	(1)8月第2半旬現在、予察灯への誘殺数は京田辺、亀岡及び京丹後では平年並。
	9月24日(8号)	発生量 並(少)	(1)9月第3半旬現在、予察灯への誘殺は京田辺、京丹後で平年並、亀岡で平年比やや少ない。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。
ネギアザミウマ (ネギ)	4月22日(3号)	発生量 多(やや多)	(1)4月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。
	5月20日(4号)	発生量 多(やや多)	(1)5月中旬現在、被害の発生は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。
	6月24日(5号)	発生量 並(やや少)	(1)6月中旬現在の発生量は平年並。 (2)向こう1ヶ月の気温は平年並、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
	7月23日(6号)	発生量 多(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	8月20日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多い(-)と予想されている。
	9月24日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(-)と予想されている。
	10月21日(9号)	発生量 多(並)	(1)10月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
	ネギハモグリバエ (ネギ)	4月22日(3号)	発生量 やや多(多)
5月20日(4号)		発生量 多(やや多)	(1)5月中旬現在、被害の発生は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は低く、降水量は平年並と予想されている。
6月24日(5号)		発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並または多いと予想されている。
7月23日(6号)		発生量 やや少(やや少)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。
8月20日(7号)		発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並または多いと予想されている。

	9月24日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。	
	10月21日(9号)	発生量 やや少(やや少)	(1)10月中旬現在、発生量は平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
その他 (注意事項)				

留意事項

病害虫発生予報内容の根拠とした今後1か月間の気象予想の概要

発行号	予報月	発行日	気象予報日	気温	降水量	日照時間
第1号	3月	2月27日	2月21日	平年並または高い	平年並	(日本海側)平年並または多い (太平洋側)平年並
第2号	4月	3月26日	3月20日	平年比高い	平年並または少ない	平年並または多い
第3号	5月	4月22日	4月17日	平年並	平年並	平年並
第4号	6月	5月20日	5月21日	平年比低い	平年並	平年並または少ない
第5号	7月	6月24日	6月19日	平年並	平年並または多い	平年並または少ない
第6号	8月	7月23日	7月17日	平年並または高い	平年並	平年並
第7号	9月	8月20日	8月14日	平年比または低い	平年並または多い	平年並または少ない
第8号	10月	9月24日	9月18日	平年比高い	(日本海側) 平年並 (太平洋側) 平年並または多く	(日本海側) 平年並 (太平洋側) 平年並または少ない
第9号	11月	10月21日	10月16日	平年並または高い	平年並	平年並

・根拠欄に気象要因の記載がないのは、病害虫発生への気象の影響が少ない場合である。

3 対象病害虫の発生状況

都道府県名	農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
京都府	イネ	15400ha	葉いもち	平年:やや早 前年:やや早	平年:並 前年:やや少	7750ha	一部地域(丹後地域)で6月中旬から発生を確認したが、全体的に平年並の発生で推移した。8月には山城地域で平年比多い発生となった。	8月以降の日照不足(平年の約4~5割)により、山城地域で発生が多くなった。	長期持続型箱施用剤による予防防除を行っている地域が多い。
			穂いもち	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:並	4620ha	8月及び9月に府の南部(山城、南丹)地域で平年比やや多い発生となった。	8月以降の日照不足(平年の約4~5割)により、南部地域(山城及び南丹)で発生が多くなった。	出穂期前後の防除を行っている。
			紋枯病	平年:並 前年:並	平年:多 前年:やや多	10780ha	7月から発生を認めた8月までは平年並の発生に推移したが、9月には平年比多い発生となった。	7月時点の茎数は平年比11%多かった。8月の気温は平年比低く、降水量は平年比多く、日照時間は平年比少なく推移した。	育苗箱施用剤により葉いもちと同時防除を行っている。
			白葉枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		実施せず。
			イネミズゾウムシ	平年:並 前年:早	平年:並 前年:並	13361ha	予察灯への初飛来は亀岡(5月7日)及び京丹後(5月4日)で平年並、京田辺(5月31日)で平年比早かった。予察灯での誘殺数(4月第1半旬~5月第6半旬)は、京田辺、亀岡及び京丹後で平年並であった。本田では平年並の発生であった。	4月下旬~6月にかけて気温は平年比高く推移した。	育苗箱施用による防除を行っている地域が多い。
			ツマグロヨコバイ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	5689ha	6月の巡回調査では、平年比やや多い発生となったが、7月には平年並の発生となり8月には平年比少ない発生となった。	越冬密度は平年並であった。6月~7月にかけて気温は平年比高く推移したが、8月の気温は平年比低かった。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
			ヒメビウンカ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや少	12400ha	6月~9月に発生を確認、平年並の発生となった。	越冬密度は平年並であった。6月~7月にかけて気温は平年比高く推移したが、8月の気温は平年比低かった。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
			セジロウンカ	平年:やや早 前年:並	平年:やや少 前年:やや少	12400ha	予察灯への初飛来は、京田辺(7月6日)及び京丹後(7月8日)で平年並、亀岡では誘殺を認めなかった。本田では6月から山城地域で発生を認めたが、7月~9月に平年比やや少ない発生に推移した。	飛来量は平年比やや少なかった。6月~7月にかけて気温は平年比高く推移したが、8月の気温は平年比低かった。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
			トビイロウンカ	平年:やや早 前年:早	平年:並 前年:やや少	2281ha	予察灯への初飛来は、京丹後(7月14日)では平年比やや早かったが、京田辺()では平年比遅かった。亀岡では飛来を認めなかった。	飛来量は平年並であった。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
			ニカメイガ	平年:- 前年:並	平年:並 前年:やや少	0ha	予察灯及び巡回調査では発生を認めなかった。		常発地では本田防除を実施。
			イチモンジセセリ	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや少	3593ha	6~8月に丹後地域を中心に発生を確認した。6月及び7月では平年比やや多い発生となった。		常発地では本田防除を実施。
			コブノメイガ	平年:遅 前年:遅	平年:やや少 前年:少	513ha	8月まで発生を確認せず、9月には平年比やや少ない発生となった。	飛来量は平年比少なかった。	出穂期前後にカメムシ類との同時防除を行っている。
			斑点米カメムシ類	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:並	8789ha	本田及び畦畔雑草とも、6月及び8月に平年比やや多く、7月に平年並の発生となった。 優占種は、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソドリカスミカメ、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、シラホシカメムシであった。山城地域の一部ほ場ではミナミアオカメムシが9月に多発した。 ミナミアオカメムシは、平成22年に初めて発生を確認以来、年々発生量が増加し、亀岡市以南で発生を確認している。	カメムシ類増加の要因として、水田内外の雑草管理の不足、休耕田や耕作放棄田(イネ科雑草地)の増加、地域一斉防除の減少等が考えられる。 ミナミアオカメムシの多発は、ほ場周辺雑草(カラシナ、ホナガイヌビユなど)の増加が考えられる。	出穂期前後に水田周辺の草刈り及び薬剤防除(出穂期と傾穂期の2回)を行っている。
			ムギ	264ha	赤かび病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査(5月第3~4半旬)では発生は認めなかった。
ダイズ (黒大豆)	407ha	アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや少	305ha	巡回調査では、7月に平年比やや多い発生を認め、8月は発生を認めなかったが、9月に平年比少ない発生を認めた。農林センター内の黄色水盤では、平年比少ない発生であった。	7月の発生:小雨、8、9月の発生:多雨・台風	移植時粒剤施用。 カメムシ類、ハスモンヨトウの薬剤散布で同時防除。	
		カメムシ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	254ha	巡回調査では、8、9月に平年並の発生を認めた。	8、9月の発生:多雨・台風	開花期以降の薬剤散布(3回以上)。	
		ハスモンヨトウ	平年: 前年:	平年:やや少 前年:並	305ha	巡回調査では、8月は発生を認めず、9月に平年比やや少ない発生を認めた。 フェロモントラップ誘殺数は平年比やや少なかった。	8、9月の発生:多雨・台風	白変葉の除去。 カメムシ類との同時防除(3回以上)。	

カンキツ	52ha	そうか病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。 過去10年間、発生を認めていない。		薬剤散布。
		黒点病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。 過去10年間、発生を認めていない。		薬剤散布。
		かいよう病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。 過去10年間、発生を認めていない。		薬剤散布。
		ハダニ類	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:やや少	52ha	巡回調査では、5~8月は概ね平年並、8~9月は平年比少ない 発生を認めた。	8、9月の発生:多雨・台風	薬剤散布。
		ヤノネカイガラムシ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	6ha	巡回調査では、9月に平年並の発生を認めた。		薬剤散布。
		ミカンハモグリガ	平年:- 前年:-	平年:多 前年:並	26ha	巡回調査では、4、5、8月に平年並の発生を、9月に平年比多い 発生を認めた。		薬剤散布。
ナシ	89ha	黒斑病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや多	-	巡回調査では、6~8月は平年並の発生を認めたが、9月は平年 比やや多い発生を認めた。	9月の発生:多雨・台風	薬剤散布。
		黒星病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	-	巡回調査では、6月に平年並の発生を認めた。	高温	薬剤散布。
		赤星病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	9ha	巡回調査では、6~8月に概ね平年並の発生を認めた。		薬剤散布。
		うどんこ病	平年:- 前年:-	平年:多 前年:多	27ha	巡回調査では、全期間を通じて概ね平年比多い発生を認めた。	防除が遅れた一部の圃場で多発生となった。	薬剤散布。
		ハダニ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや多	31ha	巡回調査では、6~8月は概ね平年比やや少ない発生を認めた が、9月は平年比やや多い発生を認めた。	9月の発生:高温、中旬の晴天	薬剤のローテーション防除。
		シンクイムシ類	平年:- 前年:-	平年:- 前年:-	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		袋掛け。 薬剤散布。
ブドウ	88ha	べと病	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:やや少	38ha	巡回調査では、6月は平年比多い発生を認めたが、7~9月は概 ね平年比やや少ない発生を認めた。	6月の発生:多雨 7~9月の発生:高温	薬剤散布。
		ハダニ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。
カキ	212ha	炭そ病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや多	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。
		うどんこ病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	172ha	巡回調査では、5~7月に概ね平年比やや多い発生を認めたが、 8~9月は平年並の発生を認めた。		薬剤散布。
		落葉病類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや少	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。
		カキノヘタムシガ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや多	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。
		カイガラムシ類	平年:- 前年:-	平年:多 前年:やや多	115ha	巡回調査では、7~9月に概ね平年比多い発生を認めた。	夏季の高温	薬剤散布。
		カメムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。	早期(7月)の被害果は落下するため、調査値には反映さ れない。	薬剤散布。
		チャノキアサミウマ	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや多	117ha	巡回調査では、8~9月に概ね平年比やや多い発生を認めた。	夏季の高温。 薬剤感受性の低下?	薬剤散布。
カキクダアサミウマ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや多	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。		

チャ	1624ha	炭そ病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:多	1614ha	府南部、北部とも7月の二番芽伸長以降多発している。この結果、7月以降はいずれの地域も平年比多い発生であった。	昨年の発生量が多かったため、今年度の菌密度が高まったと思われる。 5月下旬の多雨と二番茶芽の伸育期が重なり、多発と	6月～8月の新芽伸育期の薬剤防除
		もち病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	82ha	近年、府北部、南部とも、調査ほ場ではほとんど、発生を認めなかったが、6、8月に府南部の調査ほ場外の茶園で発生が確認された。また、9月には、調査ほ場でも発生が確認された。	6月上旬の降雨と8月上旬の台風による降雨により、発生が増加したと考えられる。	6月～8月の新芽伸育期の薬剤防除
		チャノコカクモンハマキ	平年:やや遅い 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	650ha	フェロモントラップへの誘殺数は、丹波地方の5、6、9月が平年比多かったものの、他の期間は府南部、北部とも平年比少ない～平年並の水準で推移した。越冬量が多かったためか、枠調査では春期に平年比やや多い～多い発生が確認された。府北部のフェロモントラップへの誘殺数は期間を通じて平年並の発生であった。枠調査では、6月、7月は平年比やや多い発生であったが、他の月は平年比やや少ない～平年並の発生であった。	府南部、北部とも、7月以降の高温による増加と、8月上旬の降雨によって適期防除が出来なくなり発生が増加したと考えられる。	幼虫ふ化期の薬剤防除
		チャノミドリヒメヨコバイ	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや多	1330ha	府全域で期間を通じて、平年並～多い発生であった。	薬剤感受性の低下	二番茶摘採後、新芽伸育時に2回程度の防除 チャノキイロアザミウマと同時防除
		カンザワハダニ	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや少	1396ha	4月を除き、平年並～やや多い発生であった。	4月は、気温が平年を下回った。府南部で8月以降平年並の発生に落ち着いたのは、台風等による降雨の影響と思われる。	越冬前の防除及び萌芽期前後の防除 一番茶、二番茶摘採後の防除 同一薬剤の連用を避ける
		チャノキイロアザミウマ	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:やや少	1660ha	5月及び6月の府北部を除き、府全域で平年比少ない～並の発生であった。	調査月の第3から4半旬(調査前後)にかけて、降雨の月が多かった。	二番茶摘採後、新芽伸育時に2回程度の防除 チャノミドリヒメヨコバイと同時防除
		クワシロカイガラムシ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:多	1600ha	府全域で期間を通じて、平年並～少ない発生であった。		適期防除。
冬春トマト	29ha	疫病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:-	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。
		灰色かび病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:-	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布。
		モザイク病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:-	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		育苗時における苗の選別。 定植時における粒剤施用によるアブラムシ防除。
		アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:-	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		定植時における粒剤施用によるアブラムシ防除。 薬剤散布。
ナス(夏秋)	179ha	うどんこ病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	52ha	5、6月に発生を認めなかったが(平年並)、7、8月に平年並、9月に平年比やや多い発生であった。	8月の長雨により、9月の発生量がやや高くなったと考えられる。	薬剤に対する感受性低下を防ぐため、ローテーション防除の実施
		アブラムシ類	平年:並 前年:やや遅い	平年:並 前年:並	47ha	6月に平年比やや少なく、7月に発生を認めず(平年並)、8月に発生を認めなかったが(平年比少ない)、9月に平年比やや多かった。アブラムシの黄色水盤への飛来量は、7、8月に平年比少なかったが、9月は平年並であった。	8月の長雨により8月の発生量が少なくなり、その後的高温少雨により9月の発生量がやや高くなったと考えられる。	定植時の粒剤使用
		ハダニ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	57ha	5月は平年比多かったが、6月には平年並となり、7、8月は平年比やや少ない～少いで推移し、9月は平年並の発生となった。ナミハダニとカンザワハダニが発生していた。	7月の猛暑や8月の長雨により、7、8月は発生量が少なく推移したと考えられる。	発生初期からの茎葉散布 効果の高い薬剤による適期散布
		ハスモンヨトウ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		若齢幼虫期の薬剤散布
キュウリ(夏秋)	120ha	べと病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや多	56ha	6、7月に平年比やや多い発生を認めた。		発生初期からの茎葉散布
		炭そ病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期からの茎葉散布
		疫病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		排水対策
		うどんこ病	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:やや少	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期からの茎葉散布

		斑点細菌病	平年:－ 前年:－	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		
		モザイク病	平年:－ 前年:－	平年:多 前年:やや多	56ha	6月以降発生を認めた。	春季のアブラムシの発生が多かったため、発生が多くなったと考えられた。一部ほ場で弱毒ウイルスの使用がなかったため、発生量が増加したと考えられる。	定植時の粒剤施用 一部ほ場では弱毒ウイルス使用
		アブラムシ類	平年:並 前年:やや早い	平年:並 前年:並	40ha	7月に平年比やや多い発生を認めたが、それ以外は平年並の発生であった。	5～6月の気温が高かったことにより7月の発生が多かったと考えられた。	定植時の粒剤施用 他の害虫との同時防除
ダイコン	241ha	モザイク病	平年:－ 前年:－	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		は種時の粒剤使用
		アブラムシ類	平年:並 前年:やや早い	平年:並 前年:やや少	161ha	9月に平年並の発生を認めた。アブラムシの黄色水盤への9月の飛来量は平年並であった。		は種時の粒剤使用
キャベツ (春)	140ha	菌核病	平年:－ 前年:－	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除
		黒腐病	平年:－ 前年:－	平年:並 前年:やや少	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除
		モンシロチョウ	平年:－ 前年:－	平年:並 前年:並	8ha	4月に平年比やや多く、5月に平年並の発生を認めた。		他害虫との同時防除
		コナガ	平年:－ 前年:－	平年:並 前年:並	54ha	4月に平年並、5月に平年比やや多い発生を認めた。	有効薬剤が増加しており、発生は減少傾向である。	定植時の粒剤施用 他害虫との同時防除
		ヨトウガ類	平年:－ 前年:－	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤散布 他の害虫との同時防除
キャベツ (冬)	100ha	菌核病	平年:－ 前年:－	平年:並 前年:	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除
		黒腐病	平年:－ 前年:－	平年:並 前年:	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		
		モンシロチョウ	平年:－ 前年:－	平年:並 前年:	50ha	9月に平年並の発生を認めた。		
		コナガ	平年:－ 前年:－	平年:並 前年:	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		
		ヨトウガ類	平年:－ 前年:－	平年:並 前年:	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		
ネギ	55ha	さび病	平年:－ 前年:－	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除
		アブラムシ類	平年:並 前年:やや早い	平年:やや多 前年:並	10ha	4、5月の発生量は平年比やや多い～多かったが、6月以降は発生を認めなかった(平年並)。アブラムシの黄色水盤への飛来量は、7、8月に平年比少なかったが、9月は平年並であった。		他害虫との同時防除
		ハスモンヨトウ	平年:－ 前年:－	平年:－ 前年:－	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除
ホウレンソウ	327ha	アブラムシ類	平年:並 前年:やや早	平年:並 前年:やや少	164ha	4、5月の発生量は平年並であった。アブラムシの黄色水盤への飛来量は、7、8月に平年比少なかったが、9月は平年並であった。		他害虫との同時防除
		ハスモンヨトウ	平年:－ 前年:－	平年:－ 前年:－	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除

II 重要病害虫侵入警戒調査の実施

(I) ミバエ類等侵入警戒調査

ミバエ類等の侵入の危険性が高い地域において、早期発見体制の整備及び侵入警戒調査を実施する事業で、本府では、チチュウカイミバエ及び火傷病を対象に実施。

1 事業実施地区の概況

調査対象 病害虫	市町村	主要規制植物の栽培状況 (ha)							
		カンキツ	ナシ	ブドウ	カキ	ナス	トマト	キュウリ	計
チチュウカイ ミバエ	亀岡市	—	0	2	9	5	9	4	29
	宮津市	25	1	4	6	6	7	6	55
	京丹後市	—	96	33	43	15	23	14	224
火傷病	京丹後市		96						96

2 実施状況及び結果

項目	調査概要	調査結果
チチュウカイ ミバエ	亀岡市余部町・宮津市石浦・京丹後市弥栄町に誘引剤トラップを設置し、4月～10月（日最高気温の月別平均値が15℃以上の月）に調査を行なった。調査間隔は、日最高気温の月別平均値が15℃以上20℃未満の4月は15日頃、20℃以上の5月～10月は各月15日・30日頃の2回調査を実施した。	侵入を認めず。
火傷病	京丹後市網野町・久美浜町の巡回調査梨園5か所で、5月～10月の各月1回の見取り調査を実施した。	侵入を認めず。

(II) プラムポックスウイルス発生状況調査

平成21年4月、東京都青梅市のウメに国内で初めてプラムポックスウイルス(PPV)による植物の病気の発生が確認され、全国的な発生状況調査が実施された。本府においても、ウメ及びモモの主要な生産園地を中心に発生状況調査を実施した。

1 全国調査

- 1) 調査対象植物 ウメ、モモ
- 2) 調査日時・地域
 - 平成26年5月7、8日 : 福知山市、綾部市、舞鶴市、京丹後市
 - 平成26年5月22日 : 京都市
 - 平成26年5月27日 : 精華町
 - 平成26年6月11日 : 城陽市
 - 平成26年6月19日 : 亀岡市
- 3) 調査及び検定体制 調査実施機関：京都府、検定実施機関：神戸植物防疫所
- 4) 調査方法
 - ①調査園及び周辺園を見取り調査。
 - ②調査園から5樹を選定し、1樹当たり5葉を採取して、検定実施機関で検定。
- 5) 調査結果
 - ①発病を認めなかった。
 - ②全て陰性であった。

種類	調査地域数	調査区域数	検定試料数	LAMP陽性試料数
ウメ	8	22	110	0
モモ	5	14	70	0
ハナモモ	2	2	10	
合計	8	38	190	0

2 追跡調査

- 1) 調査場所 農林水産省から提供された兵庫県の苗生産地の移動先リストに基づく調査により、25年度に感染確認された苗木が所在する京都市北区及び伏見区の最終所在地
- 2) 調査日時 平成26年5月1日：北区及び伏見区
- 3) 調査方法 所在地から半径300m以内の対象樹を見取り調査し、1樹当たり5葉を採取した。
- 4) 調査結果 神戸植物防疫所による検定の結果、全樹が陰性であり、PPVの広がりは認めなかった。

Ⅲ 調査・試験結果

単年度試験研究成績(2015年3月作成)

近畿中国四国農業 > 生産環境 > 病害虫 > 虫害 > II-2-d

実施課題名：4. 農作物の病害虫に関する現地対策調査

(1) イネ、エダマメおよびダイズにおけるミナミアオカメムシの発生活長調査

担当部署名：京都防除所

担当者名：徳丸 晋

協力分担：JA京都中央、京都乙訓普セ

予算(期間)：植防交付金(2014年度)

1. 目的

ミナミアオカメムシは、成幼虫がイネ科、マメ科など広範囲の農作物を吸汁加害する。本種はこれまで沖縄、小笠原諸島、九州、四国および近畿の南部地域にのみ生息が確認されていたが、近年、地理的分布を北上させ、京都府では2010年に初めて発生を確認した。本種の京都府における発生生態は不明な点が多く、寄主利用様式を解明することは防除対策を構築する上で重要である。そこで、発生地域(山城地域)のイネ、エダマメおよびダイズにおける本種の季節的発生推移について調査する。

2. 方法

(1) 調査場所

イネ：京都府京都市伏見区向島(品種：ヒビカリ、面積：20a、以下、イネ①と略記)

〃 羽束師(品種：ヒビカリ、面積：27a、以下、イネ②と略記)

〃 西京区大原野(品種：ヒビカリ、面積：10a、以下、イネ③と略記)

エダマメ：京都府京都市伏見区羽束師(品種：不明、面積：30a、以下、エダマメと略記)

ダイズ：京都府京都市西京区大原野(品種：新丹波黒、面積：1a、以下、ダイズと略記)

(2) 調査期間

イネ①、②および③：2014年6～10月までの毎週(イネ③は8～10月まで)

エダマメ：2014年6～7月までの毎週

ダイズ：2014年8～10月までの毎週

(3) 調査内容

25株見取り調査：イネ①、②、③、エダマメおよびダイズ

20回振りすくい取り調査：イネ①(本田および畦畔雑草)、②(本田)、③(本田)、エダマメ(畦畔雑草)

斑点米調査：イネ①、②および③

(4) 調査方法

各ほ場でランダムに25株選択し、ミナミアオカメムシおよび他の斑点米カメムシ類の成幼虫数を数えた。また同様に、本田もしくは畦畔雑草内で20回振りすくい取り調査を行った。ミナミアオカメムシと考えられる幼虫は実験室に持ち帰り、25℃長日条件下(15L9D)の恒温器内で成虫になるまで飼育後、外部形態の観察により種を同定した。10月3日には、各ほ場の4箇所(畦畔から4条目×2箇所および中央部×2箇所)のそれぞれ200～250株について、各株から1穂を採取した。約1か月間、実験室内で乾燥させた後、脱穀、籾摺りを行い、斑点米粒について調査を行った。斑点米粒は簡易的に大型カメムシ類と小型カメムシ類による被害粒にそれぞれ分けて調査を行った。

3. 結果の概要

(1) イネ①では、幼虫の発生を7月下旬に本田および畦畔雑草のすくい取り調査で確認した。その後、本種の発生は見られなくなったが、出穂期の8月下旬から収穫期まで再び断続的に発生が見られ、本田ではミナミアオカメムシの発生が優占となり、畦畔雑草では他の小型カメムシ類(アサギカシカメなど)が優占した(以上、図1)。イネ②では、出穂期の9月上旬から収穫期までミナミアオカメムシのみが断続的に発生し、他の斑点米カメムシ類の発生は見られなかった(図2)。イネ③では、出穂期の9月上旬からミナミアオカメムシ成虫の発生が数匹見られたが、他の小型カメムシ類(アサギカシカメなど)の発生が優占した(図3)。

(2) イネ①では、ミナミアオカメムシを中心とした大型カメムシ類による斑点米粒が小型カメムシ類による斑点米粒より多かった。また斑点米率は畦畔際が比較的高かった。イネ②では、大型カメムシ類による斑点米粒と小型カメムシ類による斑点米粒の割合が同等であった。イネ③では、小型カメムシ類による斑点米粒が多く、畦畔際の斑点米率が比較的高かった(以上、表1)。

(3) エダマメでは、成虫および幼虫が収穫期の7月上旬から下旬まで見られた(図4)。

(4) ダイズでは、調査期間を通じてミナミアオカメムシの発生は見られなかった(図略)。

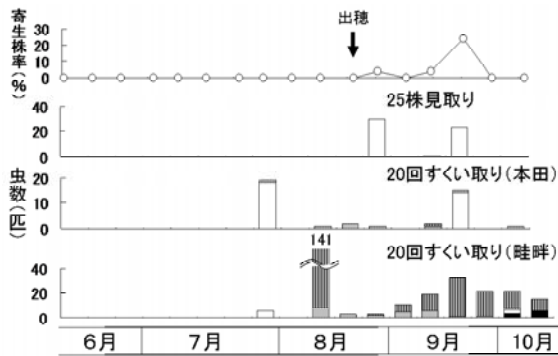


図1 ミナミアオカメムシの季節的発生推移(イネ①)

■:ミナミアオカメムシ成虫 □:ミナミアオカメムシ幼虫 ▨:他大型カメムシ ▩:他小型カメムシ

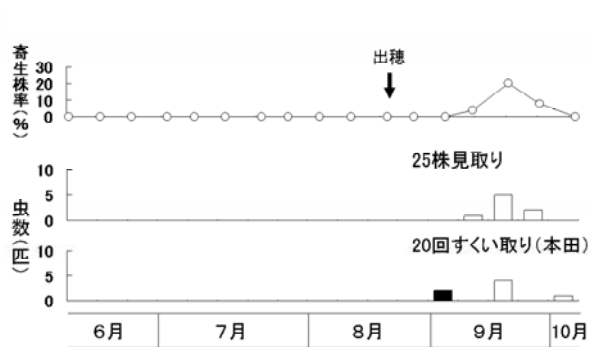


図2 ミナミアオカメムシの季節的発生推移(イネ②)

■:ミナミアオカメムシ成虫 □:ミナミアオカメムシ幼虫

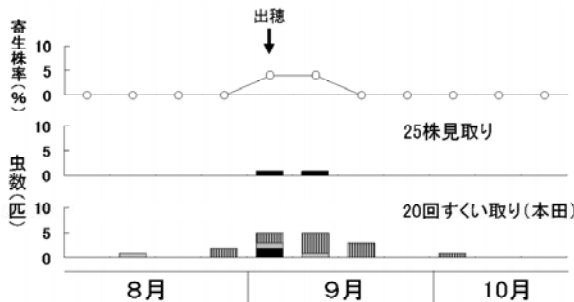


図3 ミナミアオカメムシの季節的発生推移(イネ③)

■:ミナミアオカメムシ成虫 □:ミナミアオカメムシ幼虫 ▨:他大型カメムシ ▩:他小型カメムシ

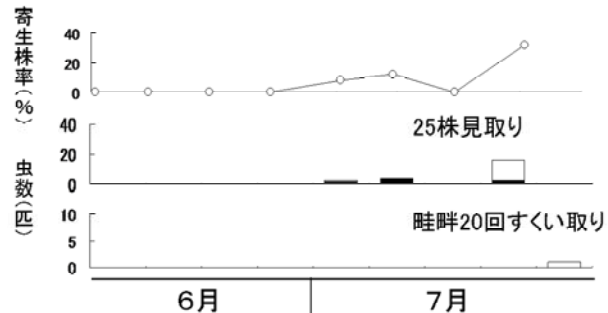


図4 ミナミアオカメムシの季節的発生推移(エダマメ)

■:ミナミアオカメムシ成虫 □:ミナミアオカメムシ幼虫

表1 各調査場所における斑点米粒と斑点米率

採取場所	向島				羽束師				大原野			
	調査粒数	大型 斑点米粒	小型 斑点米粒	斑点米率	調査粒数	大型 斑点米粒	小型 斑点米粒	斑点米率	調査粒数	大型 斑点米粒	小型 斑点米粒	斑点米率
畦畔1	12693	89	28	0.92	14872	29	39	0.46	16243	7	54	0.38
畦畔2	14585	72	47	0.82	16309	26	7	0.20	18425	26	108	0.73
中央1	14479	48	57	0.73	17816	11	18	0.16	15558	6	52	0.37
中央2	15755	51	21	0.46	16995	32	33	0.38	23736	4	87	0.38
合計	57512	260	153	0.72	65992	98	97	0.30	73962	43	301	0.47

4. 結果の要約

京都市内で栽培されているイネ、エダマメおよびダイズにおけるミナミアオカメムシの発生消長を調べた結果、ミナミアオカメムシの発生は、イネでは主に収穫期の8月下旬から10月中旬まで、エダマメでは収穫期の7月上旬から下旬まで発生することを明らかにした。

[キーワード] ミナミアオカメムシ、斑点米、イネ、発生消長

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

- (1) 同一地点における調査の継続
- (2) 越冬量調査

6. 結果の発表、活用等 (予定含む)

- (1) 徳丸 晋 (2015) 京都府におけるミナミアオカメムシの発生生態～過去30年の気象データから多発要因を考える～、平成26年度京都乙訓農業セミナー
- (2) 徳丸 晋 (2015) 京都府におけるミナミアオカメムシの発生生態と殺虫剤感受性、平成26年度農作物病害虫セミナー
- (3) 徳丸 晋 (2015) 京都府におけるミナミアオカメムシの寄主植物利用様式と斑点米被害、平成26年度ミナミアオカメムシ勉強会
- (4) 徳丸 晋・鴨志田徹也・新谷雅敏・上田由里子・齊藤 篤 (2015) 京都府におけるミナミアオカメムシの寄主植物利用様式、第59回日本応用動物昆虫学会山形大会

単年度試験研究成績(2015年3月作成)

近畿中国四国農業 > 生産環境 > 病害虫 > 虫害 > II-10-d

実施課題名：4. 農作物の病害虫に関する現地対策調査

(2) 虫体浸漬法によるミナミアオカメムシ成虫に対する殺虫剤効果試験(室内試験)

担当部署名：京都防除所

担当者名：徳丸 晋

協力分担：JA京都中央

予算(期間)：植防交付金(2015年度)

1. 目的

ミナミアオカメムシは、成幼虫がイネ科、マメ科など広範囲の農作物を吸汁加害する。本種はこれまで沖縄、小笠原諸島、九州、四国および近畿の南部地域にのみ生息が確認されていたが、近年、地理的分布を北上させ、京都府では2010年に初めて発生を確認した。本種の京都個体群の殺虫剤感受性は不明であり、ナス、トマトなど果菜類で登録されている殺虫剤に対する感受性は全く調べられていない。そこで、虫体浸漬法により本種成虫の殺虫剤感受性について調べ、防除対策を構築する際の資料とする。

2. 方法

(1) 供試虫

2014年9月25日に京都市伏見区羽束師のイネ栽培ほ場から採集した成虫を用いた。

(2) 供試薬剤

表1のとおり、有機リン剤、合成ピレスロイド剤、カーバメート剤、ネオニコチノイド剤およびその他合成殺虫剤の中から選定した合計14剤。

(3) 試験方法

ミナミアオカメムシの成虫7匹(雌雄の比率はほぼ1:1)を各殺虫剤が500ml入ったガラスビーカーの中に入れ、10秒間浸漬処理した。供試殺虫剤はすべて常用濃度とし、展着剤としてポリオキシエチレンドデシルエーテル10%ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル10%リグニンスルホン酸カルシウム12%製剤(商品名：新グラミン)3,000倍液を加用した。風乾後、パラフィルムで覆ったダイズ子実を5個入れたプラスチック製アイスクリームカップ(400ml：直径12cm、高さ5.5cm)に放飼し、6、24、48および72時間後に死亡虫数を数えた。また、パラフィルムで覆ったダイズ子実は72時間後に0.5%エリスロシン水溶剤で染色した後、口針数を調査した。死虫率は、水処理の値を対照としてAbbott(1925)の方法により補正した。なお、本実験は、2014年10月7日から10日にかけて、京都府亀岡市の京都府病害虫防除所調査室内(気温：約25℃、自然日長条件)で行った。反復は3回とした。

3. 結果の概要

処理6時間後のミナミアオカメムシ成虫の補正死虫率が90%以上であった殺虫剤は、MEP乳剤、エトフェンプロックス乳剤、メソミル水和剤、クロチアニジン水溶剤、ジノテフラン顆粒水溶剤およびエチプロール水和剤であった。また、6および24時間後の補正死虫率は90%未満であったが、48時間後の補正死虫率が90%以上となった殺虫剤はエマメクチン安息香酸塩乳剤であった。また、72時間後の補正死虫率が90%未満であったが、口針数が比較的少なかった(対無処理比50%以下)殺虫剤は、スピネトラム水和剤およびトルフェンピラド乳剤であった(以上、表1)。

表1 ミナミアオカメムシ成虫を各種殺虫剤に浸漬処理した時の補正死虫率と口針数

殺虫剤名(商品名)	希釈倍数	補正死虫率(%)				口針数(箇所/5粒) (対無処理)
		6時間後	24時間後	48時間後	72時間後	
有機リン剤						
MEP乳剤(スミチオン)	1,000	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0 (0.0)
合成ピレスロイド剤						
エトフェンプロックス乳剤(トレボン乳剤)	1,000	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0 (0.0)
カーバメート剤						
メソミル水和剤(ランネット)	1,000	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0 (0.0)
ネオニコチノイド剤						
クロチアニジン水溶剤(ダントツ)	2,000	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0 (0.0)
ジノテフラン顆粒水溶剤(アルバリン・スタークル)	5,000	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0 (0.0)
マクロライド剤						
エマメクチン安息香酸塩乳剤(アフアーム)	1,000	0.0	76.2	100.0	100.0	2.0 (12.2)
スピネトラム水和剤(ディアナ)	4,000	0.0	38.1	61.1	59.9	5.0 (30.6)
フェニルピラゾール剤						
エチプロール水和剤(キラップ)	2,000	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0 (0.0)
その他						
クロルフェナピル水和剤(コテツ)	2,000	9.5	14.3	11.1	33.3	9.0 (55.1)
スピロテトラマト水和剤(モベント)	1,000	0.0	0.0	0.0	0.0	35.3 (216.3)
トルフェンピラド乳剤(ハチハチ)	1,000	0.0	4.8	5.5	0.0	6.0 (36.7)
ピリフルキナゾン水和剤(コルト)	4,000	0.0	0.0	0.0	0.0	38.0 (232.7)
ピメトロジン水和剤(チェス)	4,000	0.0	0.0	0.0	0.0	35.7 (218.4)
フェンピロキシメート水和剤(ダニトロン)	2,000	0.0	9.5	0.0	0.0	20.0 (122.4)
無処理(水道水)	—	0.0	0.0	0.0	0.0	16.3 (100.0)

4. 結果の要約

ミナミアオカメムシ成虫の殺虫剤感受性を虫体浸漬法により調べた結果、MEP乳剤、エトフェンプロックス乳剤、メソミル水和剤、クロチアニジン水溶剤、ジノテフラン顆粒水溶剤、エチプロール水和剤およびエマメクチン安息香酸塩乳剤の感受性が高かった。

[キーワード] ミナミアオカメムシ、殺虫剤感受性、死虫率、虫体浸漬法

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

特になし

6. 結果の発表、活用等(予定を含む)

第20回農林害虫防除研究会大分大会で発表予定。

単年度試験研究成績（平成27年3月作成）

実施課題名：4 農作物の病害虫に関する現地対策調査

（3）京都府内におけるネギえそ条斑病の発生実態

担当部署名：京都府病害虫防除所

担当者名：津田 和久

協力分担：生物資源研究センター、京都乙訓・山城北・山城南・南丹・中丹西・丹後農業改良普及センター

予算（期間）：植防交付金（平成27年度）

1. 目的

本年6月、生物資源研究センターにより、京都市伏見区の九条ネギ栽培ほ場において、ネギの葉に白色のえそ条斑が認められた。DAS-ELISA法およびRT-PCR法によるウイルス検定の結果、*Iris yellow spot virus* (IYSV) の感染が判明し、京都府内でのネギえそ条斑病の発生が初めて確認された。府内における本病の発生実態は不明であることから、府内の九条ネギ栽培ほ場における本病の発生実態を調査した。

2. 調査方法

調査Ⅰ：本年6月、京都市伏見区のネギ栽培地区内の18ほ場を対象に、目視によるえそ条斑症状確認と、DAS-ELISA法およびRT-PCR法による感染確認を行い、当該地区での本病の広がりを調査した。

調査Ⅱ：同年7～8月、府内の九条ネギ産地23地区51ほ場を対象に、目視によるえそ条斑発病およびネギアザミウマ被害調査、DAS-ELISA法による感染確認を行い、府内での本病の広がりを調査した。目視調査は、ほ場当たり25株のネギについて、えそ条斑病の発病程度およびネギアザミウマによる被害程度を5段階（A:発病葉率・被害葉率100～51%，B:同50～31%，C:同30～11%，D:10～1%，E:0%）で評価し、ネギえそ条斑病の発病度およびネギアザミウマによる被害度 $(= (4A+3B+2C+1D) / (A+B+C+D) \times 100)$ を求めた。

3. 結果の概要

調査Ⅰ：京都市伏見区のネギ栽培地区内では、18ほ場のうち17ほ場でえそ条斑症状およびIYSV感染が確認され、当該地区ではえそ条斑病が広がっていることが認められた。また、発病が認められなかった1ほ場ではネギアザミウマによる被害が極めて少なかった。

調査Ⅱ：府内の九条ネギ産地での調査では、京都府南部の13地区30ほ場のうち、13地区25ほ場でえそ条斑症状およびIYSV感染がともに認められ、えそ条斑病の発生が確認された（図1）。また、発病が確認されたほ場では、ネギえそ条斑病の発病度とネギアザミウマによる被害度には有意な正の相関（ $r=0.717, p<0.01$ ）が認められた（図2）。一方、京都府北部の10地区21ほ場では、えそ条斑症状およびIYSV感染とも確認されたほ場はなかったが、7地区9ほ場でえそ条斑症状は見られないも

のIYSV感染が認められた（図1）。

以上のことから、京都府南部地域ではネギえそ条斑病が広がっていることが確認される一方、北部地域では発病は認められないがIYSV感染が拡大している可能性が示唆された。

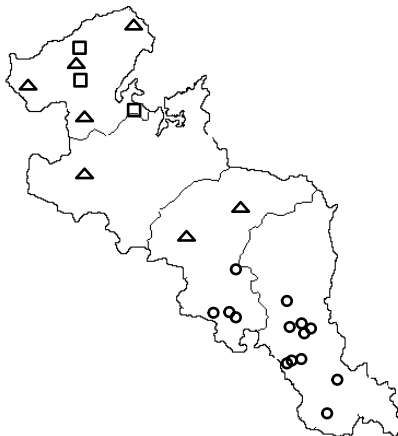


図1 府内におけるネギえそ条斑病の発生実態

○：発病が認められた地区、□：発病が認められなかった地区
△：病徴はないがIYSV感染が認められた地区

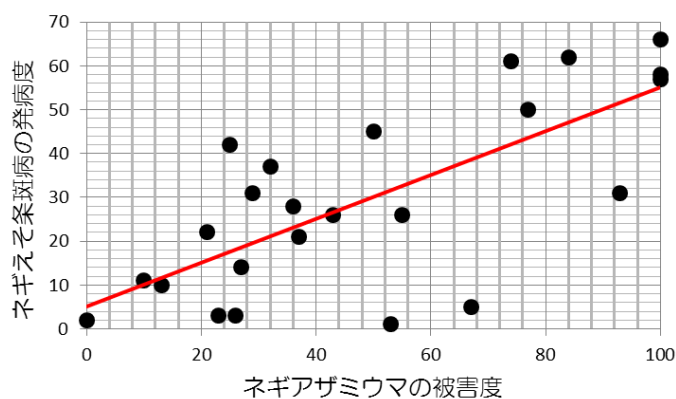


図2 ネギえそ条斑病の発病度とネギアザミウマ被害度との相関

4. 結果の要約

府南部地域において、ネギえそ条斑病の発生が確認された。

〔キーワード〕ネギ、ネギえそ条斑病、IYSV

5. 今後の問題点と次年度の計画

27年度も継続して、府内におけるネギえそ条斑病の発生状況をモニタリングする。

6. 結果の発表、活用

特殊報第1号（7月2日）、防除所ニュース第6号（9月9日）により公表。

京都府病害虫防除所主催 農作物病害虫セミナー（27年2月25日）で発表。

単年度試験研究成績（平成27年3月作成）

実施課題名：4 農作物の病害虫に関する現地対策調査

（4）京都府内における QoI 剤耐性イネいもち病菌の発生実態調査

担当部署名：京都府病害虫防除所

担当者名：津田和久

協力分担：府内各JA・各農業改良普及センター

予算（期間）：植防交付金（平成26年度）

1. 目的

平成24年に山口県から QoI 剤耐性イネいもち病菌の発生が報告されて以降、25年9月までに11府県で発生が報告され、京都府内でも、中丹地域において QoI 剤耐性イネいもち病菌の発生が確認された（防除所ニュース第6号、25年11月13日）。

そこで、本年度、府内における QoI 剤耐性いもち病菌の拡大をモニタリングするため、府内各地からいもち病罹病イネ葉及び穂を採取していもち病菌を分離し、QoI 剤に対する感受性を遺伝子検定及び薬剤添加培地検定により調査した。

2. 調査方法

（1）いもち病菌採取場所 府内のいもち病発生ほ場 33ほ場

（2）調査方法

1) 遺伝子検定

府内33ほ場から採取したいもち病罹病葉及び穂からいもち病菌を分離し、DNA抽出してPCR法による遺伝子増幅・Fnu4HI処理により感受性遺伝子（G143）の変異の有無を調査した。

2) 薬剤添加培地による感受性検定

遺伝子検定により変異が認められた菌株をPDA培地に置床して25℃、1週間培養し、直径4mmのコルクボーラーで菌そうをくり抜いた。アズキシストロビン0、10、100ppm添加PDA培地（0ppmAZ培地、10ppmAZ培地及び100ppmAZ培地）にくり抜いた各菌株の4菌片を置床し、25℃、3日間培養後、菌そうの直径を測定した。対照には、変異が認められなかった野生株及び既知の耐性株を用いた。1回の試験で各濃度の培地1枚を使用し、試験は2回実施した。

3. 結果の概要

（1）遺伝子検定の結果、山城及び丹後地域から分離した菌株では遺伝子変異は確認されなかったが、中丹地域から分離した1菌株及び南丹地域から分離した2菌株で変異が認められた（表1）。

（2）変異が確認された3菌株は、10ppmAZ培地及び100ppmAZ培地でやや生育が抑制されたが、いずれの培地でも生育することが認められた。一方、変異が確認されなかった野生株は両培地での生育は認められず、既知の耐性株は両培地での生育が認められた（表2、図1）。2回目の試験でも同様の結果であった（データ略）。

(3) 以上のことから、南丹及び中丹地域の一部ほ場で、QoI 剤耐性イネいもち病菌の発生が確認された。

表1 各地域におけるいもち病菌の遺伝子変異株数

地域	検定株数	遺伝子変異株数
山城	14	0
南丹	13	2
中丹	5	1
丹後	1	0

表2 100ppm アゾキシストロビン添加 PDA 培地における遺伝子変異株の生育

菌株	菌そう直径 (mm)			備考	
	0ppmAZ培地	10ppmAZ培地	100ppmAZ培地	箱施用剤	品種
南丹株 1	16.8	15.0	12.0	* 1	コシヒカリ
南丹株 2	17.0	14.8	11.8	なし	(飼料米)
中丹株	16.0	13.8	11.0	* 2	コシヒカリ
対照 (野生株)	13.0	0.0	0.0	—	—
対照 (耐性株)	14.0	13.0	10.5	—	—

* 1 : フィプロニル・イソプロチオラン・ピロキロン粒剤、* 2 : イミダクロプリド・イソチアニル粒剤



図1 100ppm アゾキシストロビン添加 PDA 培地における遺伝子変異株の生育
左：野生株、中央：南丹株 1、右：既知耐性株

4. 結果の要約

南丹及び中丹地域において、QoI 剤耐性イネいもち病菌の発生が確認された。

〔キーワード〕 QoI 剤耐性イネいもち病菌

5. 今後の問題点と次年度の計画

27 年度も継続して、府内における耐性菌の発生状況をモニタリングする。

6. 結果の発表、活用

各 JA 及び農業改良普及センターに結果を返し、耐性株の発生が認められた地域には次年度の防除対策資料を併せて提供した。

単年度試験研究成績（2015年3月作成）

近畿中国四国農業 >生産環境 >病害虫 >虫害 >Ⅲ-8-d

実施課題名：4 農作物の病害虫に関する現地対策調査

(5) フェロモントラップによるホソヘリカメムシの発生消長調査

担当部署名：京都府病害虫防除所

担当者名：橋本典久

協力分担：なし

予算(期間)：植防交付金(平成26年度)

1. 目的

黒大豆栽培において、吸実性カメムシ類は、子実の品質、収量の低下を招く重要害虫の一つである。当所では、吸実性カメムシ類の中のイチモンジカメムシ、アオクサカメムシについて、予察灯により発生消長を調査しているが、誘殺数は両種とも非常に少なく、年によっては予察が困難な場合もある。一方、黒大豆の巡回ほ場では、吸実性カメムシ類のうち、ホソヘリカメムシが最も多く観察され、本種の発生消長を調査することが、精度の高い発生予察に繋がると考えられる。

そこで集合フェロモンを使ったフェロモントラップを用いてホソヘリカメムシの発生消長を調査し、今後の吸実性カメムシ類の発生予察に資する。

2. 調査方法

(1) 調査場所

トラップ①：農林センター9号田ほ場(水稻)と11号田ほ場(黒大豆)の間の畦

トラップ②：防除所ほ場(ネギ、キャベツ)の畦

(2) 調査期間

2014年4月第1半旬～11月第6半旬

(3) 調査方法

住化式乾式トラップ内の底面に粘着板を敷き、天井部に集合フェロモン(錠剤6個、1か月おきに交換、富士フレーバー(株)製)を装着して誘殺トラップとし、3月31日にそれぞれの調査場所に設置した(地上高30cm)。その後、約5日ごとにホソヘリカメムシの誘殺数を調査した。

3. 結果の概要

トラップ①

(1) 成虫の誘殺は、4月第5半旬～11月第3半旬に見られ、7月第4半旬、8月第6半旬に成虫の誘殺ピークが見られた(図1上)。

(2) 幼虫の誘殺は、8月第6半旬～9月第1半旬に見られた(図1上)。

(3) 調査期間中の成虫誘殺数の合計は、106頭であった。

トラップ②

(3) 成虫の誘殺は、4月第3半旬～11月第1半旬に見られ、7月第3～4半旬、8月第5半旬に誘殺ピークが見られた(図1下)。

(4) 幼虫の誘殺は、8月第6半旬～9月第5半旬に見られた(図1下)。

(5) 調査期間中の成虫誘殺数の合計は、41頭であり、トラップ①より少なかった。

(6) 吸実性カメムシ類の発生消長は、予察灯を用いるよりフェロモントラップの方が捉えやすく、データの蓄積により、効率的に発生予察ができると考えられる。

(成績データ)

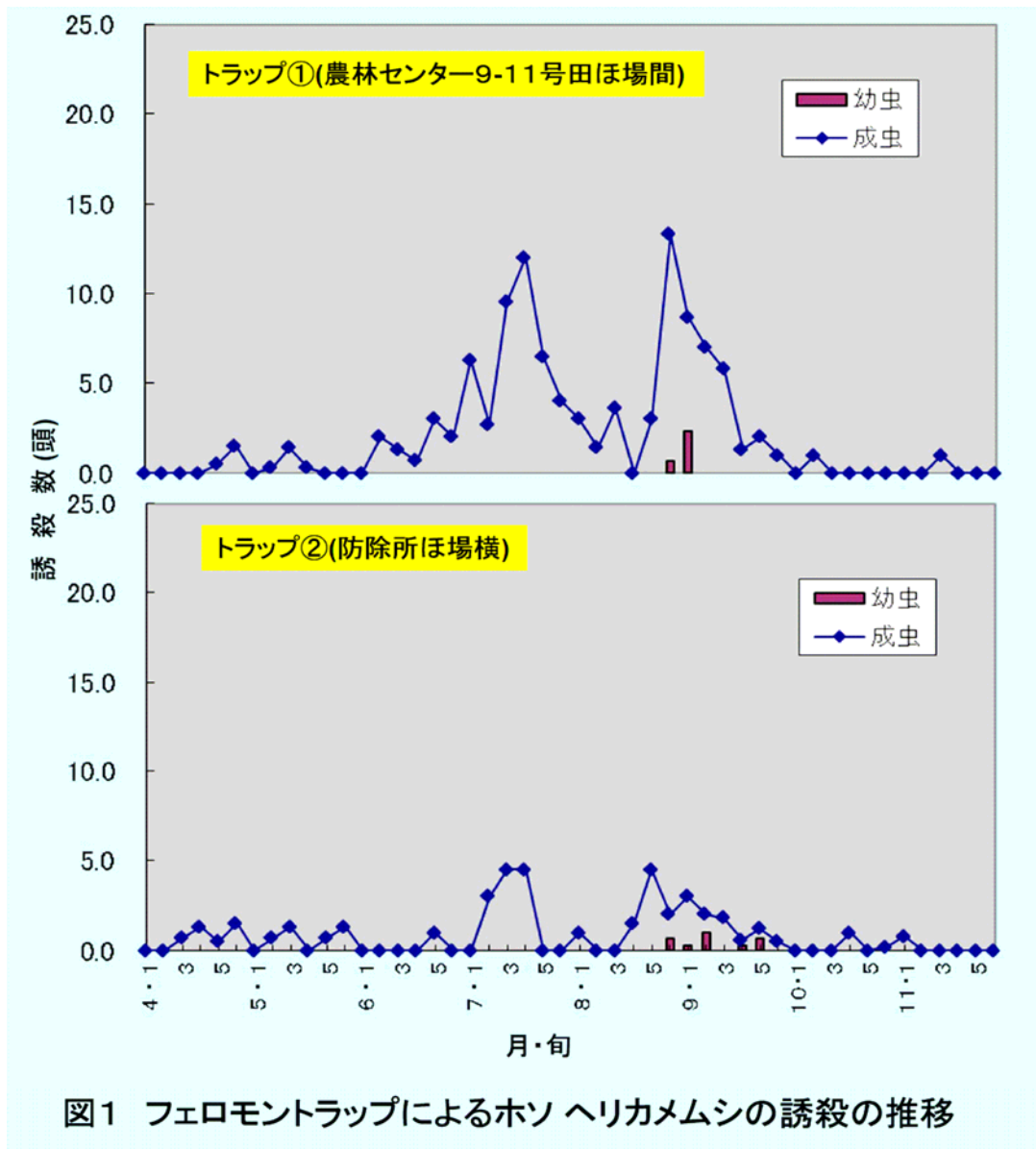


図1 フェロモントラップによるホソヘリカメムシの誘殺の推移

4. 結果の要約

集合フェロモンを使ったフェロモントラップを用いて、ホソヘリカメムシの発発生消長を調査したところ、成虫の誘殺数はトラップ①(農林センター9号田ほ場(水稲)と11号田ほ場(黒大豆)の間の畦)では106頭(4月第5半旬～11月第3半旬)、トラップ②(防除所ほ場(キャベツ、ネギ)の畦)では41頭(4月第3半旬～11月第1半旬)となり、予察灯(20WBL、4～10月、0頭)より多くなった。

[キーワード] 集合フェロモン、ホソヘリカメムシ、発発生消長

5. 今後の問題点と次年度の計画

継続調査。

6. 結果の発表、活用

なし。

単年度試験研究成績（2015年3月作成）

近畿中国四国農業 >生産環境 >病害虫 >虫害 >VI-8-b

実施課題名：4 農作物の病害虫に関する現地対策調査

（6）フェロモントラップによるカキのオオタバコガの発生消長調査

担当部署名：京都府病害虫防除所

担当者名：橋本 典久

予算(期間)：植防交付金(平成26年度)

1. 目的

2012年10月に京都市西京区大枝のカキ生産地で、カキの果実が食害を受けて大量に落下する現象が見られ、落下した一部の果実からオオタバコガ幼虫の寄生が認められた。

そこで大量落下とオオタバコガの関係を明らかにするために、フェロモントラップを用いた発生消長調査を実施し、今後の防除対策に資する。

2. 調査方法

(1) 調査場所

京都市西京区大枝カキほ場(品種「富有」)

(2) 調査期間

2014年6～11月

(3) 調査方法

カキほ場内に1カ所、地上高1mの位置に住化式フェロモントラップ(オオタバコガ用フェロモン：サンケイ化学)を5月31日に設置し、その後、約1週間ごとにオオタバコガの誘殺数を調査した。また、適宜、果実の見取り調査を実施した(100果/回)。

3. 結果の概要

(1) オオタバコガの誘殺は9月第2半旬～11月第3半旬に見られ、10月第3半旬、11月第2半旬に誘殺ピークが見られた(図1)。

(2) 調査期間中の誘殺数の合計は16頭で、昨年(平成25年、48頭)を大きく下回った(図1)。

(3) 平成25年、26年ともオオタバコガによるカキの被害果は認められず、オオタバコガの発生とカキ果実の被害との関係は判然としなかった。

(成績データ)

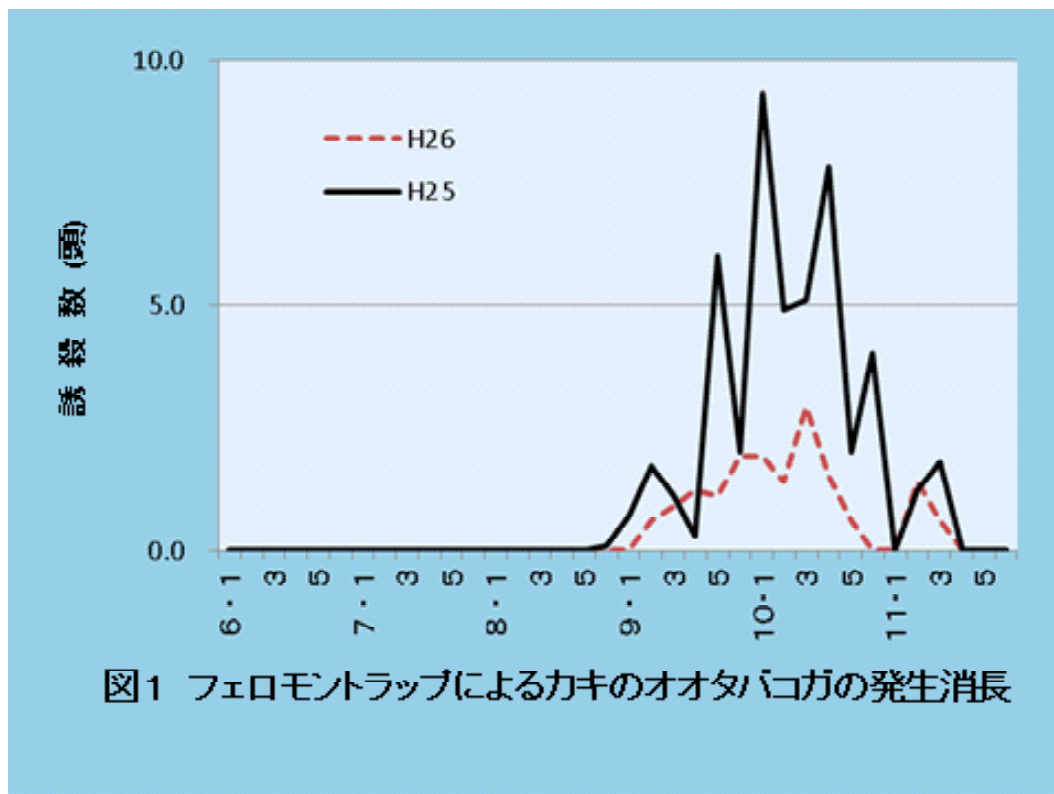


図1 フェロモントラップによるカキのオオタバコガの発生消長

4. 結果の要約

フェロモントラップを用いて、京都市西京区大枝のカキほ場におけるオオタバコガの発生消長を調査したところ、平成26年の誘殺は9月第2半旬～11月第3半旬に見られ、10月第3半旬、11月第2半旬に誘殺ピークが見られたが、誘殺数は平成25年に比べ、大きく下回った。

[キーワード] カキ、オオタバコガ、フェロモントラップ、発生消長

5. 今後の問題点と次年度の計画

なし。

6. 結果の発表、活用

なし。

IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施

- | | |
|---------------------------------|---------|
| (I) 国の行う緊急防除（法第17条）への協力 | 本年度該当なし |
| (II) 『防除計画』（法第24条）に基づき府が行う防除の指導 | 本年度該当なし |
| (III) 府の行う防除（法第29条）の指導等 | 本年度該当なし |

V 情報提供サービスの実施

(I) 病害虫防除所ホームページ（アドレス <http://www.pref.kyoto.jp/byogai/>）

1 京都府ホームページの防除所ホームページ上に、以下のコーナーを運営している。掲載情報・掲載日等は表のとおり。

①病害虫発生予察コーナー

- ・公表した発生予察情報等をPDFファイルで掲載
- ・18年度以降に公表した情報も過去情報として掲載

②病害虫発生状況（フェロモントラップ誘殺数）

- ・宇治市、綾部市に設置しているチャノコカクモンハマキ、チャノホソガのフェロモントラップによる誘殺数（グラフ）を更新
- ・京田辺市、亀岡市、京丹後市に設置しているコナガ、ハスモンヨトウ、オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数（グラフ）を更新

③巡回調査結果

- ・巡回調査結果のうち水稲、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、キュウリ、ネギ、ホウレンソウ、ダイコン、カブの調査結果をPDFファイルで掲載

④水稲いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果

- ・JPP-NET（日本植物防疫協会が運営する農作物の病害虫防除情報サービス）内のデータベースを用いて、府内8箇所のアメダスデータからいもち病の発生を予測した結果を掲載

⑤防除所ってナニ？

- ・防除所の業務内容や歴史などを常時紹介

⑥病害虫ワクワクツアー

- ・農作物の病害虫の生態や防除法などの写真等を常時掲載

⑦家庭菜園で見られる病害虫（Web病害虫辞典）

- ・夏野菜に見られる病害虫の写真を常時掲載

2 利用者の利便性を図るため以下の取組を実施している。

①「新着情報」のコンテンツでは、最新の発生予察情報にリンク

②「各種データ（巡回調査結果、フェロモン誘殺数等）」のコンテンツでは、病害虫発生状況（フェロモントラップ誘殺数）、巡回調査結果、水稲いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果の各データとリンク

③「お知らせ」のコンテンツでは最新情報、更新情報を掲載

【病害虫発生予察情報等】

種類	更新掲載情報	掲載年月日
予報	病害虫発生予報第1号	平成26年2月27日
	病害虫発生予報第2号	平成26年3月26日
	病害虫発生予報第3号	平成26年4月22日
	病害虫発生予報第4号	平成26年5月20日
	病害虫発生予報第5号	平成26年6月24日
	病害虫発生予報第6号	平成26年7月24日
	病害虫発生予報第7号	平成26年8月20日
	病害虫発生予報第8号	平成26年9月24日
	病害虫発生予報第9号	平成26年10月21日
注意報	発生予察注意報第1号：果樹カメムシ類	平成26年6月6日
	発生予察注意報第2号：斑点米カメムシ類	平成26年7月4日
	発生予察注意報第3号：果樹カメムシ類	平成26年7月25日
	発生予察注意報第4号：斑点米カメムシ類	平成26年8月26日
	発生予察注意報第5号：穂いもち	平成26年9月1日
特殊報	発生予察特殊報第1号：ネギえそ条斑病	平成26年7月2日
防除所 ニュース	防除所ニュース第1号（麦類赤かび病情報）	平成26年4月11日
	防除所ニュース第2号（茶炭そ病情報）	平成26年6月24日
	防除所ニュース第3号（タバコガ類情報）	平成26年8月5日
	防除所ニュース第4号（水稲穂いもち情報）	平成26年8月20日
	防除所ニュース第5号（ネギアザミウマ情報）	平成26年8月27日
	防除所ニュース第6号（ネギえそ条斑病情報）	平成26年9月9日
	防除所ニュース第7号（水稲トビイロウンカ情報）	平成26年9月19日

【巡回調査結果】

調査月及び掲載調査品目	掲載月日
4月の巡回調査結果（茶、ネギ）	平成26年4月22日
5月の巡回調査結果（水稲、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成26年5月20日
6月の巡回調査結果（水稲、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成26年6月24日
7月の巡回調査結果（水稲、黒大豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成26年7月25日
8月の巡回調査結果（水稲、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成26年8月20日
9月の巡回調査結果（水稲、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成26年9月24日
10月の巡回調査結果（黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	平成26年10月21日

【その他】

種類	更新月（更新回数）
チャノコカクモンハマキ フェロモントラップ誘殺グラフ（宇治市）	平成26年4月～11月 （8回）
チャノコカクモンハマキ フェロモントラップ誘殺グラフ（綾部市）	
チャノホソガ フェロモントラップ誘殺グラフ（宇治市）	
チャノホソガ フェロモントラップ誘殺グラフ（綾部市）	
コナガ フェロモントラップ誘殺グラフ（亀岡市）	平成26年5月～11月 （7回）
コナガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京丹後市）	
ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市）	
ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺グラフ（京丹後市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（亀岡市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京丹後市）	平成26年6月～7月 （9回）
水稲いもち病発生予察システム(BLASTAM)の結果	

VI 病害虫調査協力員の活動状況

(I) 病害虫調査協力員の設置

平成18年3月31日に定めた京都府病害虫調査協力員設置要領によって、府内各農業協同組合から選任された、病害虫発生状況調査等に協力を願う病害虫調査協力員（以下「協力員」と言う）を23名設置した。

(II) 報告内容の活用

協力員から寄せられた情報は、結果をとりまとめて発生予察会議の資料として活用するとともに、指導資料に活用いただくため協力員にフィードバックした。

表1 協力員による病害虫発生状況報告の概要

照会日	照 会 内 容	回答数
6月13日	①水稲の品種 ②水稲の苗、田植について ③いもち病の発生（補植用苗と本田、ストロビルリン系殺虫剤の使用状況） ④その他作物の目立つ病害虫	15
7月11日	①水稲の生育状況 ②葉いもちについて ③斑点米カメムシ類について ④その他作物の目立つ病害虫	18
8月8日	①水稲の生育状況 ②いもち病、紋枯病について ③斑点米カメムシ類についての発生と防除状況 ④ウンカ、コブノメイガ、フタオビコヤガの情報 ⑤その他作物のハスモンヨトウ、カメムシ類の発生及び目立つ病害虫	15
9月11日	①水稲の生育状況 ②水稲の倒伏について ③穂いもちの発生状況 ④水稲での目立った病害虫 ⑤豆類でのハスモンヨトウ、白変葉及び子実害虫の発生状況 ⑥その他作物の目立つ病害虫	18
11月5日	①水稲について（1等米比率、斑点米の発生状況等） ②今年度地域で問題となった病害虫及び指導・対応状況	15

(III) 協力員研修の概要

植物防疫セミナーへ参加願い、病害虫の発生状況等の研修を実施した。

- (1) 開催日 平成27年2月25日
- (2) 参加者 5名
- (3) 内 容 植物防疫セミナーのページ参照

Ⅶ 会議、打合せ・研修の実施等

1 植物防疫に関する会議等

会 議 名	開 催 日	開 催 場 所
植物防疫企画会議	4月21日	京都府農林センター
農薬及び植物防疫担当者会議	5月28日	大阪合同庁舎
平成26年度発生予察の手法検討委託事業に係る実施計画の打ち合わせ	5月29～30日	ホテルセントノーム京都
農薬・肥料関係業務担当者会議	6月27日	京都府庁
病害虫防除所長会議	9月24日	農林水産省
平成26年度新農薬実用化試験(茶)成績検討会	10月16～17日	ホテルラングウッド
ネギえそ条斑病とネギアザミウマ対策会議	10月30日	京都府農林センター
S I Pキックオフミーティング	11月17日	つくば農林ホール
東海・近畿地区植物防疫事業検討会	11月27～28日	桜華会館(名古屋)
発生予察の手法検討委託事業成績検討会	12月11～12日	南青山会館(東京)
農薬適正使用に係る情報交換会	12月16日	京都J A会館
平成26年度農薬現地適応性試験展示ほ試験成績検討会	12月17日	京都J A会館
平成26年度近畿ブロック病害虫防除所所長会議	1月14日	神戸防疫所
日本植物防疫協会シンポジウム	1月16日	日本教育会館
S I P 検討会	2月5日	神田小川町会議室
平成26年度発生予察事業調査実施基準検討会	2月19～20日	農林水産省
総合的病害虫・雑草管理(IPM)推進検討会	2月20日	農林水産省
農作物病害虫セミナー	2月25日	京都府農林センター
平成27年度農薬現地適応性試験展示ほ試験設計検討会	3月2日	京都J A会館

2 植物防疫に関する講演・講義

講座・研修名及び講演タイトル	開 催 日	開 催 場 所	講師等
バイオコントロール研究会	6月5日	北海道大学	津田主研
第96回関西病虫害研究会	5月27日	アストロプラザ(津市)	上山主査
第19回農林害虫防除研究会	7月7,8日	あわぎんホール(徳島市)	徳丸主研

平成26年度農薬取扱講習会	9月5日	キャンパスプラザ京都	徳丸主研
ネギえそ条斑病とネギアザミウマ対策会議	10月30日	京都府農林センター	津田主研 上山主査 橋本主研 徳丸主研
平成26年度茶業技術研究発表会	11月19～ 20日	八女市民会館	徳丸主研
農業大学校1年生講義	5月22日 6月5日 9月4日 8月8日 9月8日 11月17日 1月13日	農業大学校	橋本主研 橋本主研 津田主研・ 上山主査 徳丸主研 徳丸主研 津田主研 上山主査
平成26年度農林水産技術講演会	2月2日	須知高校	津田主研
農薬管理指導士養成研修会講師	2月6日	京都府庁	津田主研 上山主査
平成26年度京都乙訓農業セミナー	2月24日	ルビノ京都堀川	徳丸主研
農作物病虫害セミナー	2月25日	京都府農林センター	津田主研 上山主査 徳丸主研
近畿中国四国農業試験研究問題別研究会（病虫害分科会）	3月 3～5日	福山市生涯学習プラザ（広島県）	津田主研 上山主査 徳丸主研
ミナミアオカメムシの発生状況と防除対策に関する検討会	3月12日	農林総合庁舎（名古屋）	徳丸主研
日本植物病理学会大会	3月28～ 31日	明治大学	津田主研
第59回日本応用動物昆虫学会大会	3月26日 ～28日	山形大学	徳丸主研

3 職員の研修

月 日	研 修 名	主 催	開催場所	受講者
10月29日	キウイフルーツかいよう病Psa3系統の検定技術研修会	近畿農政局	神戸植物防疫所	津田主研 橋本主研

11月21日	イネ縞葉枯ウイルスを保毒するヒメトビウンカの簡易検定法及びイネ縞葉枯病の防除対策に関する研修会		農林交流センター	徳丸主研
1月14日	物防疫全国協議会近畿地区研修会	近畿農政局	神戸植物防疫所	上山主査 橋本主研

Ⅷ 普及センター等との連携の推進

1 農作物病害虫セミナーの開催

I P M（総合的病害虫・雑草制御技術）を推進するため、近年問題となっている病害虫に対する理解と防除に関する知識を習得するため、農作物病害虫セミナーを開催した。

- ① 開催日 平成27年2月25日
- ② 参加者 70名（うち普及センター職員11名）
- ③ 内容
 - ア ネギえそ条斑病の発生と防除対策を考える
 - ・先進県からの事例報告
 - ・京都府におけるネギえそ条斑病の発生状況と防除対策
 - イ 平成26年度農作物病害虫発生報告
 - ウ 最近話題の病害虫 ～ミナミアオカメムシ～
 - ・京都府におけるミナミアオカメムシの地理的分布
 - ・京都府における西洋カラシナにおけるミナミアオカメムシの発生消長
 - ・京都府におけるミナミアオカメムシの発生実態と殺虫剤感受性

2 病害虫情報共有化シート

各農業改良普及センター、各研究所、農産課、流通・戦略ブランド課及び防除所が病害虫発生状況の情報を共有化するとともに、発生予察会議の資料として活用するために、行政支援システムの農林水産部本庁・地方機関共用フォルダーの防除所フォルダー内に病害虫情報共有化シートを設置した。26年度の書き込み件数は下表のとおりである。

月	農業改良普及センター							計
	京都乙訓	山城北	山城南	南丹	中丹東	中丹西	丹後	
4月	0	0	0	0	0	0	9	9
5月	0	1	0	11	0	1	6	19
6月	3	1	0	12	0	0	3	19
7月	4	1	0	19	0	0	1	25
8月	0	0	1	7	0	0	1	9
9月	0	0	0	1	0	0	0	1
10月	0	0	0	7	0	0	2	9
11月	0	0	0	2	0	0	4	6
12～3月	0	0	0	0	0	1	0	1
計	7	3	1	59	0	2	26	98

平成26(2014)年半旬別気象集計表・グラフ

(平年値) 最高・最低気温、降水量 …1981～2010年の平均値

平均気温 …1993～2010年の平均値

京都府農林センター(亀岡市余部町)

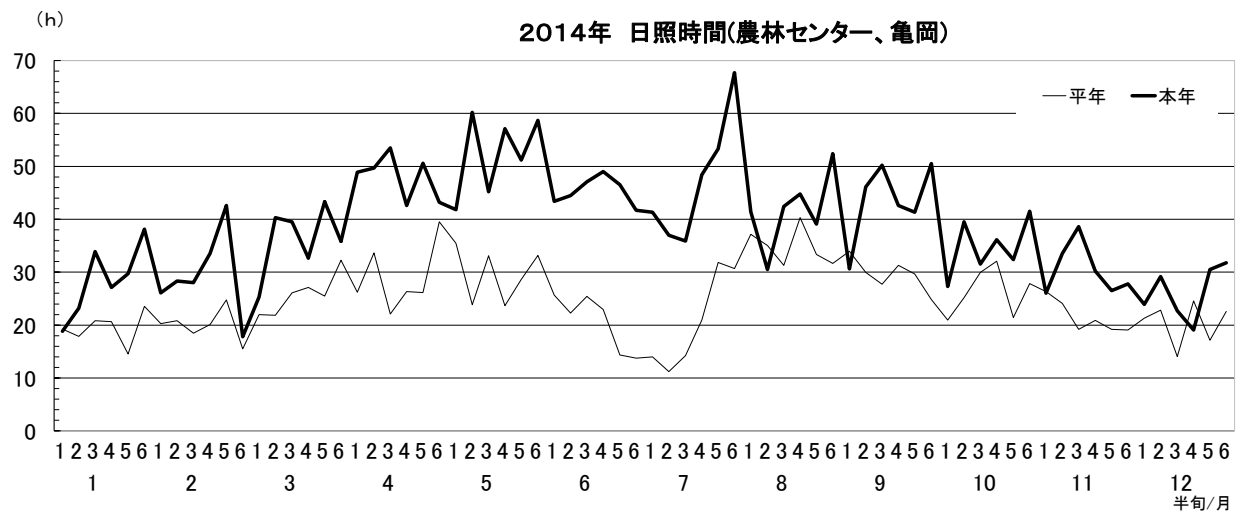
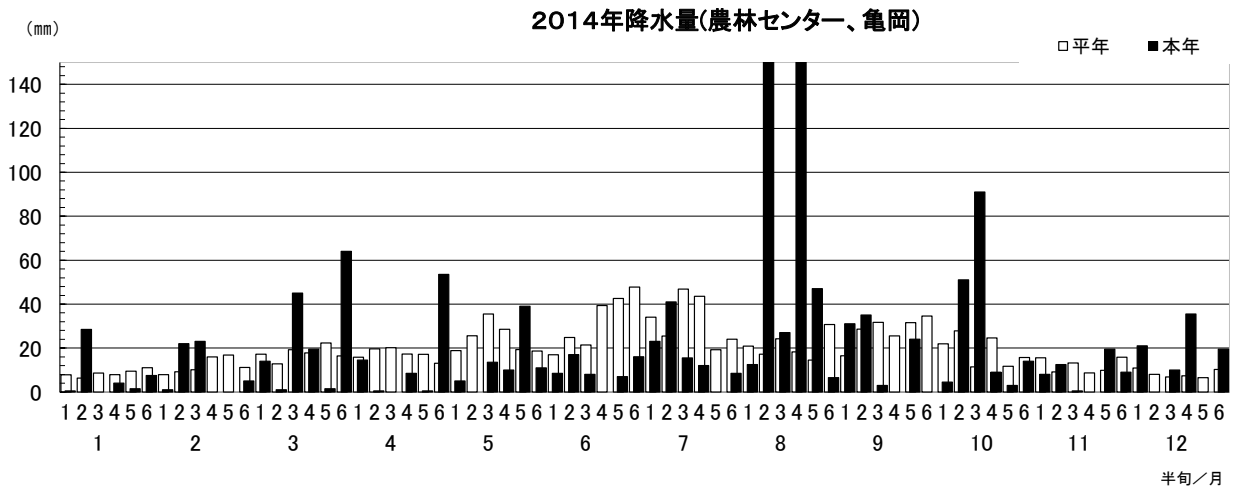
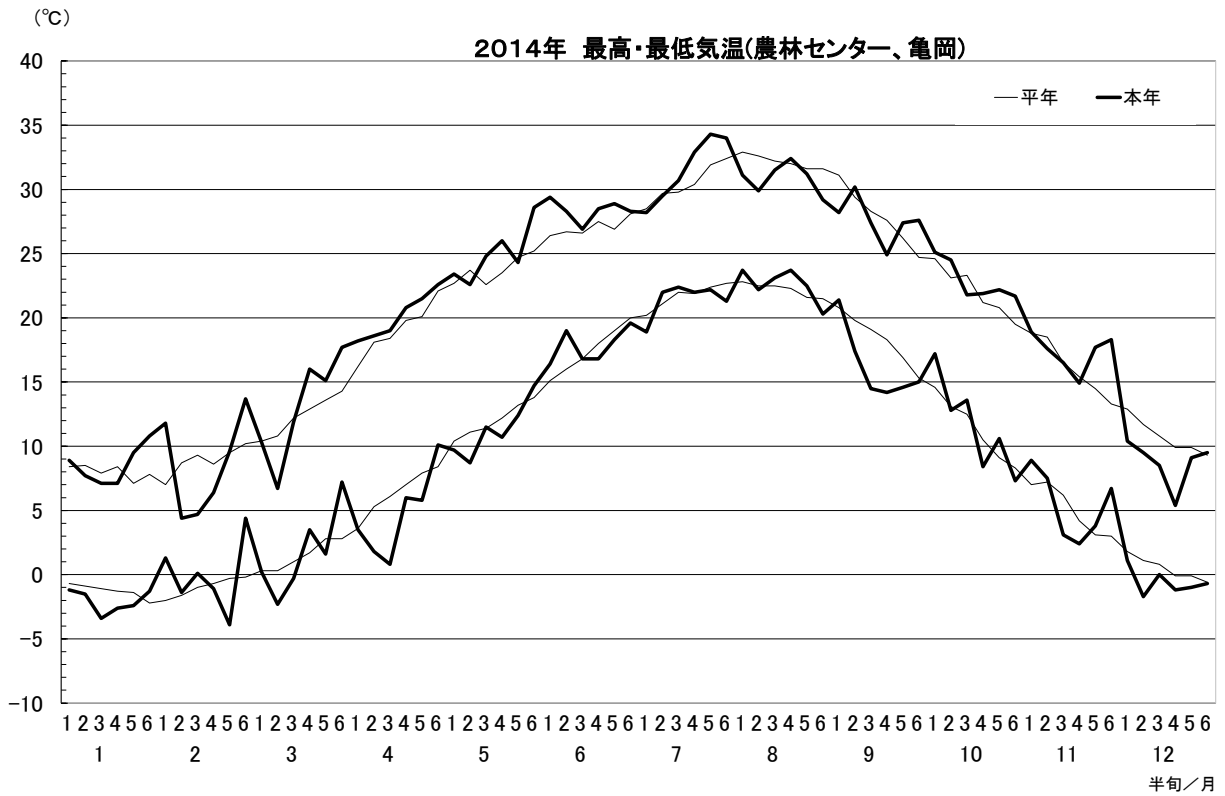
日照時間 …2005～2010年の平均値

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
1	1	8.9	8.4	-1.2	-0.7	2.7	3.5	0.5	7.8	18.8	19.2	6%	98%	0.5	-0.5
	2	7.7	8.5	-1.5	-0.9	2.5	3.2	28.5	6.3	23.2	17.8	452%	130%	-0.8	-0.6
	3	7.1	7.9	-3.4	-1.1	0.8	3.5	0.0	8.6	33.9	20.8	0%	163%	-0.8	-2.3
	4	7.1	8.4	-2.6	-1.3	1.7	3.5	4.0	7.9	27.1	20.6	51%	131%	-1.3	-1.3
	5	9.5	7.1	-2.4	-1.4	2.6	2.6	1.5	9.5	29.7	14.6	16%	204%	2.4	-1.0
	6	10.8	7.8	-1.3	-2.2	4.6	2.7	7.5	11.0	38.1	23.5	68%	162%	3.0	0.9
	平均・計	8.6	8.0	-2.0	-1.3	2.6	3.2	42.0	51.2	170.8	116.6	82%	146%	0.6	-0.7
2	1	11.8	7.0	1.3	-2.0	5.5	2.2	1.0	7.9	26.1	20.3	13%	129%	4.8	3.3
	2	4.4	8.7	-1.4	-1.6	1.2	3.4	22.0	9.2	28.3	20.8	238%	136%	-4.3	0.2
	3	4.7	9.3	0.1	-1.0	2.4	3.8	23.0	10.1	28.0	18.5	227%	152%	-4.6	1.1
	4	6.4	8.6	-1.1	-0.7	2.3	3.7	0.0	16.0	33.5	20.1	0%	167%	-2.2	-0.4
	5	9.6	9.5	-3.9	-0.3	1.8	4.9	0.0	16.8	42.6	24.8	0%	172%	0.1	-3.6
	6	13.7	10.2	4.4	-0.2	9.1	5.1	5.0	11.2	17.8	15.5	45%	115%	3.5	4.6
	平均・計	8.1	8.8	-0.4	-1.0	3.3	3.8	51.0	71.3	176.3	119.9	72%	147%	-0.7	0.6
3	1	10.3	10.4	0.2	0.3	5.9	5.3	14.0	17.2	25.3	22.0	81%	115%	-0.1	-0.1
	2	6.7	10.8	-2.3	0.3	1.7	5.8	1.0	12.8	40.3	21.8	8%	185%	-4.1	-2.6
	3	11.9	12.2	-0.3	1.0	5.5	6.3	45.0	19.2	39.5	26.1	234%	151%	-0.3	-1.3
	4	16.0	12.9	3.5	1.7	9.7	7.5	19.5	17.8	32.7	27.1	110%	121%	3.1	1.8
	5	15.1	13.6	1.6	2.8	7.7	8.0	1.5	22.3	43.3	25.5	7%	170%	1.5	-1.2
	6	17.7	14.3	7.2	2.8	12.3	8.6	64.0	16.4	35.8	32.3	390%	111%	3.4	4.4
	平均・計	13.1	12.4	1.8	1.5	7.3	7.0	145.0	105.8	216.9	154.8	137%	140%	0.7	0.3
4	1	18.2	16.2	3.5	3.6	10.8	9.4	14.5	15.8	48.9	26.2	92%	187%	2.0	-0.1
	2	18.6	18.1	1.8	5.3	9.4	11.5	0.5	19.6	49.7	33.6	3%	148%	0.5	-3.5
	3	19.0	18.4	0.8	6.1	9.7	12.2	0.0	20.2	53.5	22.1	0%	242%	0.6	-5.3
	4	20.8	19.8	6.0	7.0	13.0	13.8	8.5	17.2	42.6	26.4	49%	162%	1.0	-1.0
	5	21.5	20.1	5.8	7.9	13.5	14.4	0.5	17.2	50.6	26.1	3%	194%	1.4	-2.1
	6	22.6	22.1	10.1	8.4	16.0	14.9	53.5	13.1	43.2	39.5	409%	109%	0.5	1.7
	平均・計	20.1	19.1	4.7	6.4	12.1	12.7	77.5	103.1	288.5	173.9	75%	166%	1.0	-1.7
5	1	23.4	22.7	9.7	10.4	16.0	17.3	5.0	18.9	41.8	35.5	27%	118%	0.7	-0.7
	2	22.6	23.7	8.7	11.1	15.7	17.6	0.0	25.6	60.2	23.8	0%	253%	-1.1	-2.4
	3	24.8	22.6	11.5	11.4	18.0	16.9	13.5	35.5	45.2	33.1	38%	136%	2.2	0.1
	4	26.0	23.5	10.7	12.2	18.0	18.0	10.0	28.6	57.1	23.7	35%	241%	2.5	-1.5
	5	24.3	24.7	12.4	13.2	17.9	19.0	39.0	19.3	51.2	28.7	202%	179%	-0.4	-0.8
	6	28.6	25.2	14.7	13.8	21.2	19.5	11.0	18.7	58.7	33.1	59%	177%	3.4	0.9
	平均・計	25.1	23.8	11.4	12.1	17.9	18.1	78.5	146.5	314.2	177.9	54%	177%	1.3	-0.7
6	1	29.4	26.4	16.4	15.1	22.5	20.3	8.5	16.9	43.4	25.7	50%	169%	3.0	1.3
	2	28.3	26.7	19.0	16.0	22.6	20.9	17.0	24.8	44.5	22.3	69%	200%	1.6	3.0
	3	26.9	26.6	16.8	16.8	21.4	21.6	8.0	21.4	47.1	25.4	37%	185%	0.3	0.0
	4	28.5	27.5	16.8	18.0	22.2	22.8	0.0	39.4	49.0	22.9	0%	214%	1.0	-1.2
	5	28.9	26.9	18.3	19.0	22.8	22.8	7.0	42.6	46.5	14.4	16%	324%	2.0	-0.7
	6	28.3	28.1	19.6	20.0	23.3	24.3	16.0	47.7	41.7	13.7	34%	304%	0.2	-0.4
	平均・計	28.4	27.0	17.8	17.5	22.5	22.1	56.5	192.8	272.2	124.4	29%	219%	1.4	0.3

日照時間は2005年4月以降太陽電池式で測定

京都府農林センター(亀岡市余部町)

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
7	1	28.2	28.5	18.9	20.2	23.0	24.8	23.0	34.1	41.3	14.0	68%	295%	-0.3	-1.3
	2	29.5	29.7	22.0	21.1	25.1	25.2	41.0	25.4	37.0	11.2	161%	331%	-0.2	0.9
	3	30.7	29.8	22.4	22.0	25.7	25.8	15.5	46.8	35.9	14.2	33%	253%	0.9	0.4
	4	32.9	30.4	22.0	21.9	26.3	25.6	12.0	43.6	48.4	20.9	28%	231%	2.5	0.1
	5	34.3	31.9	22.2	22.4	27.9	27.0	0.0	19.3	53.3	31.8	0%	168%	2.4	-0.2
	6	34.0	32.4	21.3	22.7	27.3	27.0	8.5	24.0	67.7	30.7	35%	221%	1.6	-1.4
	平均・計		31.7	30.5	21.5	21.7	25.9	25.9	100.0	193.1	283.6	122.9	52%	231%	1.2
8	1	31.1	32.9	23.7	22.8	26.8	27.8	12.5	20.9	41.4	37.2	60%	111%	-1.8	0.9
	2	29.9	32.6	22.2	22.5	25.4	27.4	344.0	17.2	30.5	35.1	2002%	87%	-2.7	-0.3
	3	31.5	32.2	23.1	22.5	26.9	27.0	27.0	24.2	42.4	31.3	112%	135%	-0.7	0.6
	4	32.4	32.0	23.7	22.3	27.6	27.1	162.0	18.2	44.8	40.3	888%	111%	0.4	1.4
	5	31.2	31.6	22.5	21.6	25.6	26.0	47.0	14.5	39.1	33.4	324%	117%	-0.4	0.9
	6	29.2	31.6	20.3	21.5	23.6	25.7	6.5	30.7	52.4	31.6	21%	166%	-2.4	-1.2
	平均・計		30.8	32.1	22.5	22.2	25.9	26.8	599.0	125.7	250.6	208.8	476%	120%	-1.3
9	1	28.2	31.1	21.4	20.8	24.1	25.1	31.0	16.5	30.6	33.9	188%	90%	-2.9	0.6
	2	30.2	29.4	17.4	19.8	22.7	24.3	35.0	28.6	46.1	30.0	122%	154%	0.8	-2.4
	3	27.4	28.3	14.5	19.1	20.4	23.5	3.0	31.7	50.2	27.7	9%	181%	-0.9	-4.6
	4	24.9	27.6	14.2	18.3	19.0	22.9	0.0	25.5	42.6	31.3	0%	136%	-2.7	-4.1
	5	27.4	26.2	14.6	16.9	20.6	21.3	24.0	31.6	41.3	29.7	76%	139%	1.2	-2.3
	6	27.6	24.7	15.0	15.3	20.7	19.8	0.0	34.6	50.5	24.8	0%	204%	2.9	-0.3
	平均・計		27.6	27.9	16.2	18.4	21.3	22.8	93.0	168.4	261.3	177.4	55%	147%	-0.3
10	1	25.1	24.6	17.2	14.6	20.7	19.3	4.5	21.9	27.3	21.0	21%	130%	0.5	2.6
	2	24.5	23.1	12.8	13.1	18.0	17.8	51.0	27.8	39.5	25.2	183%	157%	1.4	-0.3
	3	21.8	23.3	13.6	12.5	17.5	17.6	91.0	11.4	31.5	29.9	797%	105%	-1.5	1.1
	4	21.9	21.2	8.4	10.5	14.1	15.8	9.0	24.6	36.1	32.1	37%	113%	0.7	-2.1
	5	22.2	20.8	10.6	9.1	15.3	15.0	3.0	11.7	32.4	21.4	26%	151%	1.4	1.5
	6	21.7	19.5	7.3	8.3	13.4	13.7	14.0	15.7	41.5	27.8	89%	149%	2.2	-1.0
	平均・計		22.8	22.0	11.5	11.3	16.4	16.4	172.5	113.1	208.3	157.4	152%	132%	0.8
11	1	18.9	18.8	8.9	7.0	13.6	12.3	8.0	15.5	26.0	26.3	51%	99%	0.1	1.9
	2	17.6	18.5	7.5	7.2	12.6	12.1	12.5	9.1	33.5	24.1	137%	139%	-0.9	0.3
	3	16.5	16.5	3.1	6.2	9.1	11.5	0.5	13.2	38.6	19.2	4%	201%	0.0	-3.1
	4	14.9	15.4	2.4	4.2	7.2	9.1	0.0	8.7	30.2	20.9	0%	145%	-0.5	-1.8
	5	17.7	14.5	3.8	3.1	9.1	8.1	19.5	9.9	26.5	19.2	197%	138%	3.2	0.7
	6	18.3	13.3	6.7	3.0	12.3	8.3	9.0	15.8	27.8	19.1	57%	146%	5.0	3.7
	平均・計		17.3	16.2	5.4	5.1	10.7	10.2	49.5	72.3	182.6	128.7	69%	142%	1.1
12	1	10.4	12.9	1.1	1.8	6.0	7.1	21.0	10.9	23.9	21.3	193%	112%	-2.5	-0.7
	2	9.5	11.7	-1.7	1.1	3.2	5.7	0.0	8.0	29.2	22.8	0%	128%	-2.2	-2.8
	3	8.5	10.8	0.0	0.8	4.2	5.4	10.0	6.8	22.7	14.0	146%	162%	-2.3	-0.8
	4	5.4	9.9	-1.2	-0.1	1.9	4.5	35.5	7.4	19.1	24.6	481%	78%	-4.5	-1.1
	5	9.1	9.9	-1.0	-0.1	3.5	4.1	0.0	6.5	30.5	17.1	0%	178%	-0.8	-0.9
	6	9.5	9.3	-0.7	-0.6	3.5	3.6	19.5	10.2	31.8	22.6	190%	141%	0.2	-0.1
	平均・計		8.8	10.7	-0.6	0.4	3.7	5.0	86.0	49.8	157.2	122.4	173%	128%	-1.9
年平均・計		20.3	19.9	9.2	9.5	14.2	14.5	1550.5	1393.1	2782.5	1785.1	111%	156%	0.4	-0.3



月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
1	1	8.7	8.0	-0.7	0.6	3.4	4.2	30.5	35.6	9.3	8.0	86%	116%	0.7	-1.3
	2	7.9	8.2	-1.2	0.0	2.8	4.0	51.5	40.4	10.4	9.0	128%	116%	-0.3	-1.3
	3	5.4	7.2	-1.9	0.1	1.3	3.6	29.5	46.6	5.4	6.8	63%	80%	-1.8	-2.0
	4	5.9	7.7	-0.3	-0.3	2.2	3.7	45.5	38.2	5.4	9.6	119%	56%	-1.9	-0.0
	5	9.2	6.6	-0.8	-1.1	3.6	2.7	30.0	38.7	13.1	8.2	77%	159%	2.6	0.3
	6	11.3	7.0	0.5	-1.1	5.8	2.9	12.5	49.4	21.8	11.9	25%	184%	4.4	1.6
	平均・計	8.2	7.4	-0.7	-0.3	3.3	3.5	199.5	248.9	65.4	53.5	80%	122%	0.8	-0.4
2	1	11.7	6.3	0.8	-1.2	5.5	2.5	20.5	31.2	11.4	8.2	66%	140%	5.3	2.0
	2	4.4	7.8	-0.8	-1.0	2.0	3.4	35.5	29.2	3.2	12.5	122%	26%	-3.4	0.2
	3	4.6	8.3	1.8	-0.2	3.4	4.0	34.0	27.8	0.2	12.7	122%	2%	-3.7	2.0
	4	5.1	7.9	-1.1	-0.4	2.5	3.7	0.5	29.6	8.5	11.2	2%	76%	-2.8	-0.7
	5	7.9	8.4	-2.1	-0.1	2.7	4.2	5.5	33.4	27.4	14.5	16%	188%	-0.5	-2.1
	6	14.4	9.1	3.6	-0.2	8.8	4.4	6.0	16.5	6.6	9.8	36%	68%	5.3	3.9
	平均・計	7.6	7.9	0.1	-0.5	3.8	3.7	102.0	167.6	57.3	68.8	61%	83%	-0.3	0.6
3	1	9.9	9.5	1.2	0.3	5.6	5.0	18.0	23.2	13.5	14.7	77%	92%	0.3	0.9
	2	5.2	10.0	-0.4	0.4	2.1	5.2	26.0	20.9	11.8	17.3	124%	68%	-4.8	-0.8
	3	11.4	11.6	0.5	0.8	5.7	6.3	28.0	20.1	26.6	19.7	139%	135%	-0.2	-0.3
	4	14.6	12.2	2.8	1.9	9.0	7.0	13.0	21.3	21.5	19.9	61%	108%	2.4	0.9
	5	14.6	12.7	1.8	2.3	7.9	7.5	6.0	26.0	29.2	18.6	23%	157%	1.9	-0.6
	6	18.1	13.3	7.2	2.5	13.0	7.9	37.0	23.2	23.7	25.1	159%	94%	4.8	4.7
	平均・計	12.5	11.6	2.3	1.4	7.4	6.5	128.0	134.7	126.3	115.2	95%	110%	0.9	0.9
4	1	17.1	15.0	3.5	3.0	9.9	9.0	8.5	17.8	36.2	26.2	48%	138%	2.1	0.4
	2	16.1	17.1	1.5	4.7	8.3	10.9	9.5	21.4	35.9	25.6	44%	140%	-0.9	-3.2
	3	17.2	16.9	-0.8	5.3	7.8	11.1	0.0	21.6	44.6	23.8	0%	187%	0.4	-6.1
	4	18.7	18.8	5.6	6.2	12.0	12.5	3.0	17.7	23.5	29.6	17%	79%	-0.1	-0.7
	5	18.9	19.3	4.8	7.2	11.7	13.3	3.0	17.8	37.1	26.9	17%	138%	-0.4	-2.4
	6	23.3	21.2	10.7	7.3	16.6	14.2	7.5	12.0	28.4	32.6	62%	87%	2.2	3.4
	平均・計	18.6	18.0	4.2	5.6	11.0	11.8	31.5	108.4	205.7	164.7	29%	125%	0.6	-1.4
5	1	21.4	21.6	7.4	9.1	14.6	15.4	13.5	18.4	31.0	28.2	73%	110%	-0.2	-1.8
	2	20.5	22.8	7.8	9.9	14.2	16.3	7.5	22.9	51.2	29.3	33%	175%	-2.3	-2.1
	3	23.6	21.5	11.1	10.6	17.9	16.1	10.5	34.5	25.0	25.5	30%	98%	2.1	0.6
	4	23.4	22.4	8.7	11.3	16.3	16.9	2.5	25.4	46.1	26.3	10%	175%	1.0	-2.6
	5	22.2	23.2	12.4	12.1	17.4	17.7	21.0	18.0	16.8	28.7	116%	58%	-0.9	0.3
	6	27.7	24.0	13.7	12.6	20.5	18.3	15.5	17.3	46.5	33.3	90%	140%	3.7	1.1
	平均・計	23.3	22.6	10.3	11.0	17.0	16.8	70.5	136.6	216.6	171.3	52%	126%	0.7	-0.7
6	1	28.6	24.9	15.6	13.5	22.1	19.1	3.0	14.7	19.9	29.6	20%	67%	3.7	2.1
	2	26.3	25.1	17.8	14.6	21.4	19.8	4.5	16.5	13.4	24.1	27%	56%	1.2	3.2
	3	24.5	25.6	16.8	15.4	20.2	20.5	66.0	19.8	17.2	23.3	333%	74%	-1.1	1.4
	4	25.5	26.4	15.5	16.7	20.5	21.5	0.0	26.3	26.6	22.0	0%	121%	-0.9	-1.2
	5	25.3	26.1	16.7	17.6	20.8	21.8	16.5	41.1	28.0	15.5	40%	180%	-0.8	-0.9
	6	28.0	26.8	19.1	18.5	23.1	22.6	6.5	40.4	19.1	15.5	16%	123%	1.2	0.5
	平均・計	26.4	25.8	16.9	16.0	21.4	20.9	96.5	158.9	124.2	130.0	61%	96%	0.6	0.9

京都府丹後農業研究所(京丹後市弥栄町)

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
7	1	26.9	27.5	18.8	19.3	22.5	23.3	24.0	35.8	18.3	17.3	67%	106%	-0.6	-0.5
	2	29.4	28.6	22.2	19.8	25.6	24.1	25.5	31.0	9.9	20.0	82%	50%	0.8	2.4
	3	28.4	28.9	18.9	20.8	23.6	24.8	26.5	45.4	21.0	14.8	58%	142%	-0.5	-1.9
	4	30.6	29.4	21.9	20.7	25.3	25.0	10.5	40.0	21.8	23.3	26%	94%	1.2	1.2
	5	31.9	30.8	21.8	21.3	26.4	26.0	0.0	23.9	35.9	30.2	0%	119%	1.1	0.5
	6	33.1	31.2	21.2	21.8	26.8	26.4	0.0	19.7	54.2	36.3	0%	149%	1.9	-0.6
	平均・計	30.1	29.5	20.8	20.7	25.1	25.0	86.5	195.8	161.1	141.8	44%	114%	0.6	0.1
8	1	31.7	31.6	24.8	21.9	28.2	26.7	0.5	21.6	12.2	35.0	2%	35%	0.1	2.9
	2	29.0	32.1	22.3	21.9	25.0	26.9	144.0	15.8	3.4	33.5	911%	10%	-3.0	0.4
	3	29.5	31.5	21.1	21.9	24.8	26.7	36.0	17.2	12.8	29.8	209%	43%	-2.0	-0.8
	4	30.9	31.4	23.1	21.6	26.5	26.4	50.0	21.1	26.1	31.3	237%	84%	-0.5	1.5
	5	30.8	30.8	21.8	21.0	25.7	25.8	13.5	31.4	16.5	28.1	43%	59%	0.1	0.9
	6	26.8	30.5	19.4	20.7	22.6	25.6	2.0	24.2	18.1	35.5	8%	51%	-3.8	-1.3
	平均・計	29.7	31.3	22.0	21.5	25.4	26.3	246.0	131.2	89.1	193.2	187%	46%	-1.6	0.5
9	1	28.1	29.5	19.7	20.0	23.8	24.7	69.0	27.7	11.0	28.5	249%	39%	-1.4	-0.3
	2	28.1	28.0	16.8	18.9	21.6	23.4	6.0	34.8	44.1	20.2	17%	219%	0.1	-2.1
	3	26.2	27.2	14.4	18.2	19.6	22.6	0.5	38.1	32.7	20.3	1%	161%	-1.0	-3.8
	4	24.9	26.9	13.7	17.4	18.3	22.1	0.0	37.5	22.0	22.3	0%	99%	-1.9	-3.7
	5	25.4	25.5	13.2	16.0	19.6	20.7	9.0	36.4	29.5	18.4	25%	160%	-0.1	-2.8
	6	26.0	23.9	14.5	14.5	19.7	19.2	0.5	35.6	38.9	17.9	1%	217%	2.2	-0.0
	平均・計	26.5	26.8	15.4	17.5	20.4	22.1	85.0	210.1	178.2	127.6	40%	140%	-0.3	-2.1
10	1	23.1	23.9	16.0	14.0	20.0	18.9	15.5	24.9	6.3	19.4	62%	33%	-0.8	2.0
	2	22.7	22.5	12.4	12.4	17.5	17.4	65.5	29.2	25.8	20.1	225%	128%	0.2	-0.0
	3	20.7	22.5	12.1	11.8	16.5	17.1	86.5	25.2	15.8	21.9	343%	72%	-1.8	0.3
	4	21.1	20.8	7.3	10.1	14.1	15.3	7.5	32.8	33.1	22.3	23%	148%	0.3	-2.7
	5	21.3	20.1	10.6	8.6	15.3	14.3	30.0	18.7	22.1	21.9	160%	101%	1.2	2.0
	6	20.7	19.3	7.0	8.2	13.2	13.7	5.5	30.1	34.8	24.0	18%	145%	1.4	-1.2
	平均・計	21.6	21.4	10.8	10.8	16.0	16.0	210.5	160.9	137.9	129.6	131%	106%	0.2	0.0
11	1	19.8	18.3	9.1	7.2	13.9	12.7	20.5	29.4	19.9	18.7	70%	106%	1.5	1.9
	2	16.6	18.0	6.4	7.6	11.7	12.4	13.0	25.1	12.0	18.6	52%	64%	-1.3	-1.2
	3	14.4	16.3	4.7	6.7	9.0	11.1	22.5	28.1	12.3	13.8	80%	89%	-1.9	-1.9
	4	14.8	14.7	3.4	5.3	8.4	10.0	5.5	29.4	13.0	13.6	19%	95%	0.1	-1.9
	5	17.8	14.4	4.4	4.0	10.2	9.1	22.5	28.7	28.4	14.4	78%	198%	3.4	0.4
	6	18.0	13.0	7.5	4.4	13.1	8.7	15.0	41.0	17.3	10.8	37%	160%	5.0	3.1
	平均・計	16.9	15.8	5.9	5.9	11.0	10.7	99.0	181.6	102.9	90.0	55%	114%	1.1	0.0
12	1	10.0	13.0	1.8	2.8	6.1	7.8	66.5	36.1	7.4	13.4	184%	55%	-3.0	-1.0
	2	8.0	12.0	0.0	2.4	3.4	7.1	70.5	35.7	11.0	12.7	197%	86%	-4.0	-2.4
	3	6.6	10.8	2.3	1.9	4.0	6.4	97.5	44.9	0.8	9.9	217%	8%	-4.2	0.3
	4	6.0	9.9	-0.5	1.1	2.5	5.4	58.0	35.1	2.9	10.4	165%	28%	-3.8	-1.6
	5	6.9	9.9	-0.6	1.1	3.2	5.5	61.0	32.3	4.7	9.6	189%	49%	-2.9	-1.8
	6	9.6	9.4	0.5	0.6	4.8	5.0	30.0	46.2	15.1	11.3	65%	133%	0.2	-0.1
	平均・計	7.9	10.8	0.6	1.6	4.0	6.2	383.5	230.4	41.9	67.4	166%	62%	-2.9	-1.0
年平均・計	20.3	19.9	9.2	9.5	14.2	14.5	1738.5	1393.1	1506.6	1785.1	125%	84%	0.4	-0.3	

